

第3次大分市国際化推進計画

Third Oita City Internationalization Promotion Plan

めざそう！

東九州の国際都市“OITA”

2016年度
(平成 28)

2020年度
(平成 32)

ひろげよう！ 国際交流
つなげよう！ 世界と

大分市中学生サッカー選抜チーム
アベイロ市派遣事業の様子



<http://oita-kokusai.jp/>



はじめに

現在、わが国は、超高齢社会、人口減少社会を迎え、経済を支える生産年齢人口の減少、市場の縮小が懸念されており、ますます海外市場への展開に活路を見出そうとする動きが目立ってきています。さらに、2019(平成31)年ラグビーワールドカップや2020(平成32)年東京オリンピック・パラリンピック競技大会など、世界的イベントの開催により、海外から多くの観光客が日本へ、そして大分を訪れることが予想され、おもてなし力のアップや本市の魅力発信に向けた取組の必要性がますます高まっています。

こうした中、本市におきましては、大分市総合計画の個別計画として「大分市国際化推進計画」を策定し、市民が国際化の進展によるメリットを享受できる環境づくりを進めるとともに、市民の心と生活の豊かさ、地域社会を元気にする新たな夢や活力をはぐくんでまいりました。

このたび、さらなる国際化の進展に対応し、国際感覚を持ち、広い視野に立って考え活躍できるグローバル人材の育成や、「南蛮文化発祥都市 おおいた」の魅力発信し活力あるまちづくりを行うなど、新たな時代にふさわしい大分市の「創造」と市民をはじめ、あらゆる主体との「連携」を基調に、本市の国際化を「着実」に進めるため、平成28年度から32年度を計画期間とした「第3次大分市国際化推進計画」を策定いたしました。

本計画の策定に当たりまして、これまで熱心に議論を重ねていただきました第3次大分市国際化推進計画策定委員会の委員の皆さまと、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

2016(平成28)年3月

大分市長 佐藤 樹一郎

目次

1章	計画策定の趣旨	3
2章	計画の位置付け	3
3章	国際化の現状	4
	1. 日本の現状	4
	2. 大分市を取りまく状況	4
4章	統計で見る国際化の現状	6
	1. 世界の人口	6
	2. 日本・大分の人口	7
	3. 日本に住む外国人数	8
	4. 大分県に住む外国人数	10
	5. 大分市に住む外国人数	11
	6. 日本、大分県、大分市の外国人宿泊客数	13
5章	市民意識調査の実施	15
6章	国際化の進展によるチャンスと課題	16
7章	計画の体系	17
8章	施策と目標	18
9章	国際化事業の紹介	22
10章	国際関係団体紹介	28
11章	大分市の海外の姉妹・友好・交流促進都市	29
	姉妹都市 ポルトガル共和国 アベイロ市	29
	友好都市 中華人民共和国 武漢市	30
	交流促進都市 中華人民共和国 広州市	31
	姉妹都市 アメリカ合衆国 オースチン市	32

◎大分市国際化推進計画改定の経緯

◎第3次大分市国際化推進計画策定委員会設置要綱

◎大分市国際化推進計画策定委員会委員名簿

資料 第3次大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査～報告書～

1 章 計画策定の趣旨

本市では、2011（平成23）年に策定した「第2次大分市国際化推進計画（2011年度～2015年度）」に基づき、「めざせ！東九州の国際都市“OITA”」を掲げ、国際化を推進するための人づくりやまちづくりを進めてきました。

この間、少子高齢化や高度情報化、社会経済のグローバル化、ボーダレス化が急速に進み、私たちの生活を取り巻く環境は日々大きく変化しており、その影響は、産業や経済のみならず、教育、文化などさまざまな分野に及んでいます。

今後、一層の進展が見込まれる国際化の時代において、本市が持続して発展を続けるためには、さまざまな文化的・歴史的背景を持った人々との相互理解と交流を促進し、国籍等に限らず全ての市民が持てる力を最大限に発揮できる地域社会を築いていくことが望まれています。

新しい計画では、「めざそう！東九州の国際都市“OITA” ～ひろげよう！国際交流 つなげよう！世界と～」を掲げ、時代に則した先見性のあるビジョンを描きながら、計画的、戦略的に国際化を進めることを目指しており、これまで以上に、本市の特徴、個性を盛り込み、市民のみなさまに分かりやすい計画となるよう心がけ策定いたしました。

本計画に定めた方針に基づき、市民と行政がそれぞれの役割に応じた連携を図るなかで、本市の国際化を進めてまいります。

2 章 計画の位置付けと期間

位置付け

大分市総合計画を上位計画とする個別計画。国際化推進のための市政運営の指針であるとともに市民共有の指針。

期 間

2016（平成28）年度を初年度とし、2020（平成32）年度を目標年次とする5年間の計画とします。なお、本市を取り巻く状況や、経済、社会、地域の状況が大きく変化した場合には、計画期間途中においても必要な見直しを行うこととします。

2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
前計画 2011～2015 年度	本計画	2016（平成28）年度～2020（平成32）年度			
					次期計画策定

3章 国際化の現状

海外、国内の動きから、日本・大分市を取り巻く現状を紹介します。

1. 日本の現状

日本では人口減少と高齢化が加速し、これから10年以内に600万人近くの生産年齢人口が減少し、このままでは社会システムが成り立っていかなくなると危惧されています。また、インターネットや交通ネットワークなどの飛躍的な発展により世界の出来事が私たちの日々の生活や活動に大きな影響を及ぼしています。海外旅行が身近になり、輸入品が身の回りにあふれるようになりました。また、最近では訪日観光客数が過去最高になるなど地方においても外国人と接する機会が多くなっています。



海外

- 経済のグローバル化（TPP、RCEP など）
- アジア諸国の台頭
- さまざまなリスク要因（感染症、地球温暖化、サイバー攻撃、国際テロ） など

※TPP……環太平洋戦略的経済連携協定
※RCEP……東アジア地域包括的経済連携

国内

- 少子高齢化の加速
- 生産年齢人口の減少
- 訪日観光客の急増
- ラグビーワールドカップ2019（平成31年）、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（平成32年）の開催 など

2. 大分市を取りまく状況

【動向と課題】

本市においても、グローバル化^{*}の進展に対応するため、国際感覚を持ち、広い視野に立って考え活躍できるグローバル人材の育成やあらゆる国籍の市民^{*}がそれぞれの持てる力を最大限に発揮できる人権尊重を基調とした多文化共生^{*}によるまちづくりなど、より積極的な国際化の推進が必要とされています。

併せて、国際協力や都市間連携など、本市が国際社会の一員としての役割を果たすことも求められています。

※グローバル化

人の往来、貿易、金融、サービスが地球規模に広がり、個人、企業、団体などさまざまな主体が海外に広く合理的な選択を求めて行動しようとする事から、地理的に広範な市場やネットワークが進展すること。また、個々の立場がその動きに影響を受けること。

※あらゆる国籍の市民

国籍を問わず大分市にかかわる人のこと

※多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

【大分市の特徴や現状】

人口減少社会の到来・超高齢社会の到来

本市では、2015(平成27)年を境に人口減少が始まり、今後30年間で3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測されています。全国に比べ出生率は高く推移しているものの、人口置換水準^{*}には及ばない状況です。このように少子化に伴う人口減少は、社会の根幹を揺るがす危機的状況を招くおそれがあり、定住人口の増加を図るための住みやすい環境を整備していくことが必要です。

大分市に住む外国籍を有する市民数

本市に住む外国籍を有する市民数は2016(平成28)年2月現在で2,649人となり、国籍別では中国(982人)韓国(678人)、フィリピン(306人)、ネパール(141人)、その他(542人)の順となります。また、外国籍を有する市民の割合は0.57%であり、全国平均の1.6%と比較しても割合は低くなっています。

留学生

大分県は人口10万人当たりの留学生数は全国2位であり、特に大分市と別府市には多くの留学生が暮らしています。

訪日外国人観光客の急増

ビザ発給要件の緩和や、円安などの影響により、日本全体の訪日外国人観光客数は急増しており、2015(平成27)年上半期では914万人を数え、過去最高の2014(平成26)年上半期626万人の1.5倍となっています。

大分県では、2015(平成27)年の外国人宿泊客数は約53万人で前年と比べ60.1%増となり、50万人超えは過去はじめてとなります。また、宿泊客の国・地域別では、韓国、台湾、香港、中国の順で多くなっています。

※人口置換水準

現在の人口を維持できる合計特殊出生率^{*}の目安。国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2014)」によると、2012(平成24)年現在では2.07となっている。



ラグビーワールドカップイングランド大会



多くの留学生が参加したおおいたワールドフェスタ



ガレリアア竹町ドーム広場で行われた中国の祭「春節祭」

大友宗麟とフランシスコ・ザビエル

戦国大名大友宗麟は、聖フランシスコ・ザビエルを豊後府内に招き、海外との貿易を積極的に進めました。府内のまちは海外の品々があふれ、異国の人々が行き交い、西洋の医学、天文学、音楽、演劇をはじめとする南蛮文化がいち早く花開き、日本を代表する国際色豊かな貿易都市として繁栄しました。本市はこのような特色のあるキリシタン・南蛮文化の魅力を国内外へ発信するとともに、市民の郷土意識の高揚へ活用しています。

ラグビーワールドカップ2019の開催

2015(平成27)年のラグビーワールドカップイングランド大会では日本代表の大活躍により日本中に感動とラグビー熱が広がりました。2019(平成31)年にはラグビーワールドカップ日本大会が12都市を舞台に開催されます。大分県も開催都市のひとつであり、本市にある大分スポーツ公園総合競技場が会場となります。世界から多くの観客や観光客が訪れることが期待されます。

市民意識調査

2015(平成27)年1月末～2月にかけて、市民2,000人及び留学生、国際関係団体などへ「第3次大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査」を行いました。「普段の生活の中で、国際化を身近に感じる機会は少ない」など、本市の国際化に関する多くのご意見をいただきました。

※調査結果の詳細は巻末の資料「大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査～報告書～」をご覧ください。

※合計特殊出生率

15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に産むとした時の子どもの数に相当。

4章 統計で見る国際化の現状

統計から世界、日本、大分県、大分市の現状を紹介します。

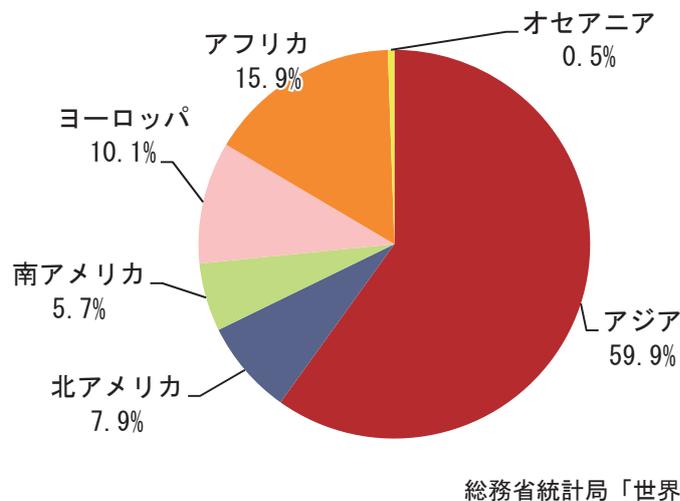
1. 世界の人口

世界の人口の推移



一貫して増加しており、近年は1.2%程度の増加を維持しています。

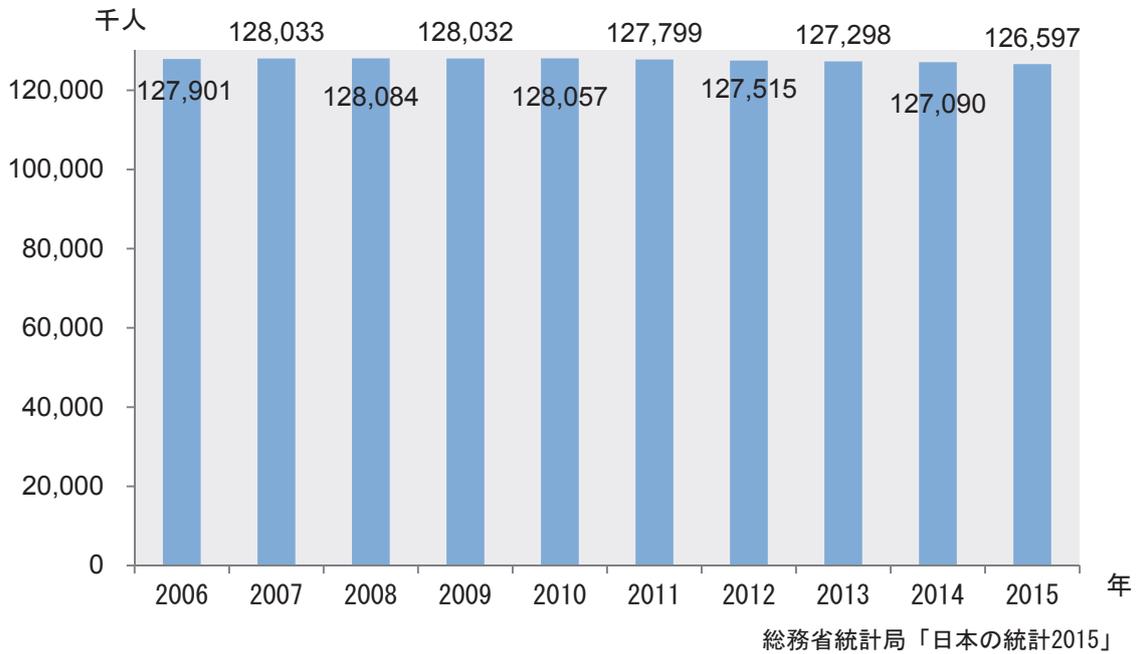
2015年 地域別の世界の人口構成



世界の人口の半数以上をアジアが、次いでアフリカが1/6程度を占めます。

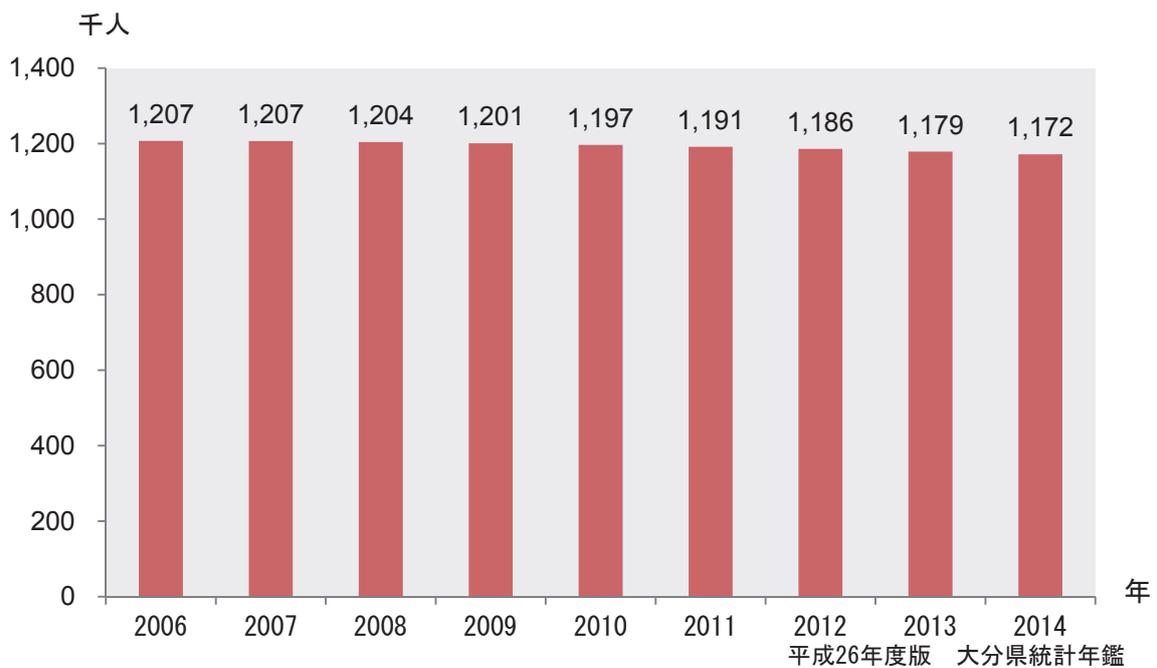
2. 日本・大分の人口

日本の人口の推移



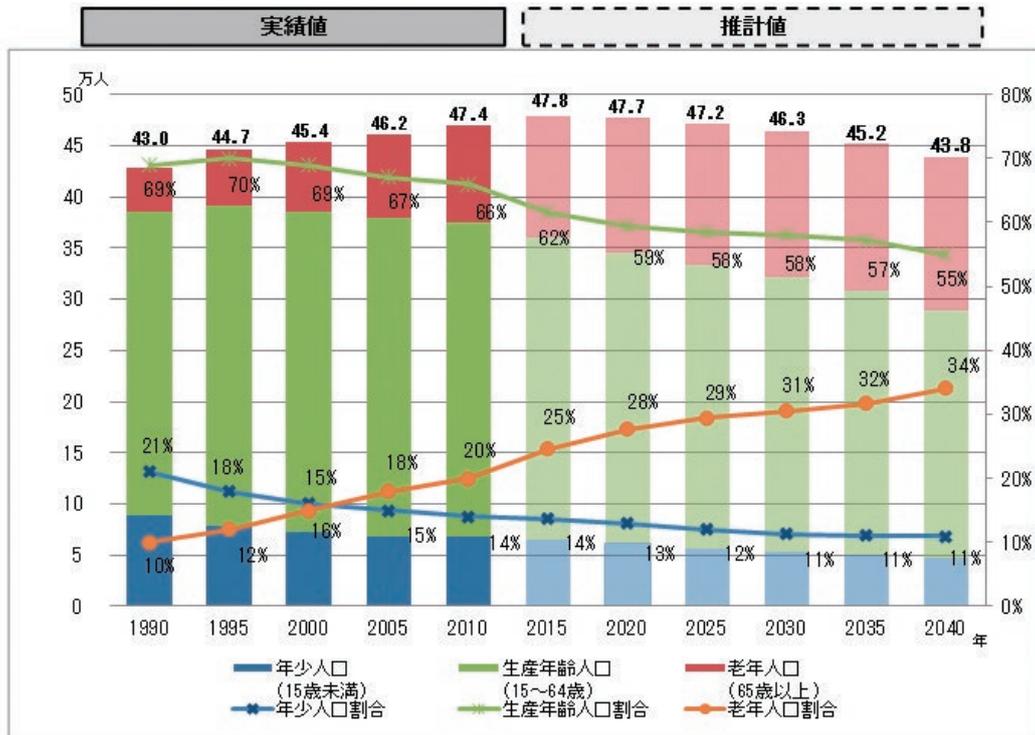
微増傾向が続いていましたが、2008(平成20)年をピークに減少傾向に転じています。

大分県の人口推移



近年は減少傾向にあり、2010(平成22)年には35年ぶりに120万人を下回っています。

大分市の人口推移と予測

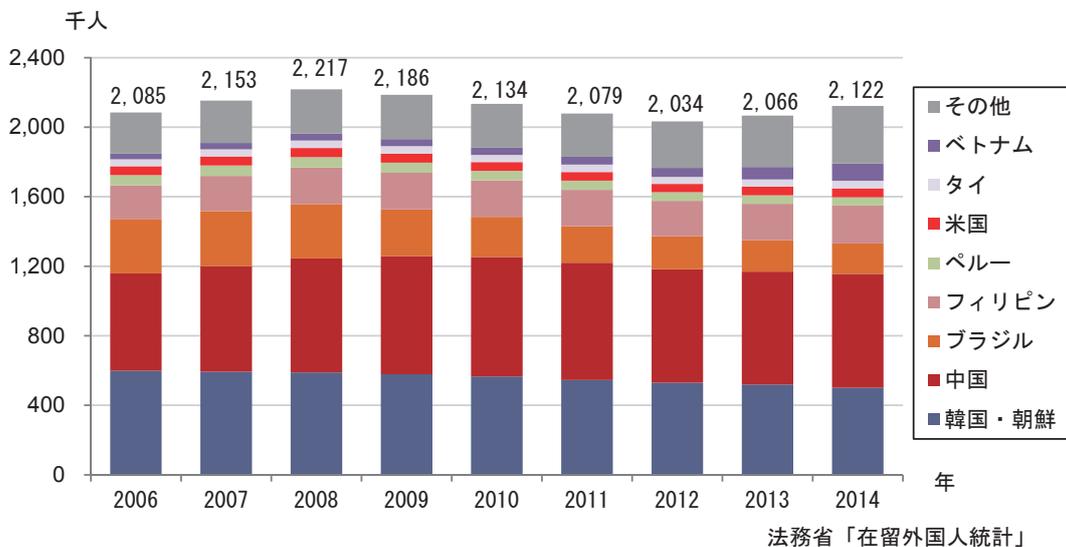


※2010（平成22）年まで総務省統計局「国勢調査」（2015（平成27）年以降は国立社会保障・人口問題研究所推計）
2000（平成12）年以前の人口は、旧佐賀関町、野津原町の人口を含む

人口は2015(平成27)年をピークに減少が予測されています。1990(平成2)年には7割近かった生産年齢人口も2020(平成32)年には6割を切ることが予測されています。

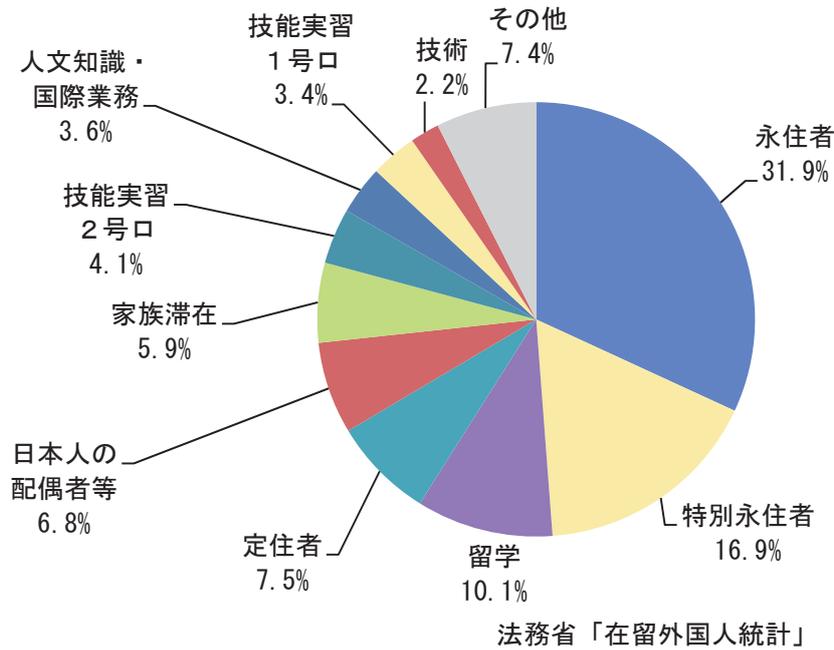
3. 日本に住む外国人数

日本に住む外国人数の推移



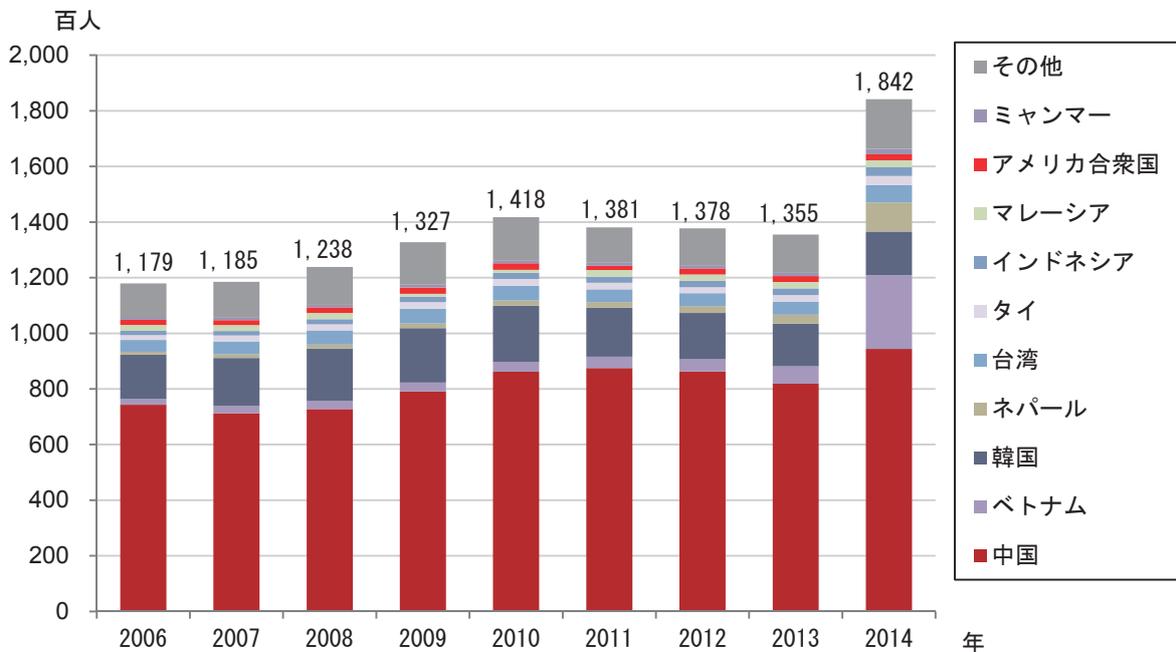
近年は増加傾向にあり、半数以上を中国、韓国・朝鮮が占めます。

2014年 在留資格別外国人数の割合



永住者が約3割を占め、特別永住者、留学が続きます。

外国人留学生数の推移



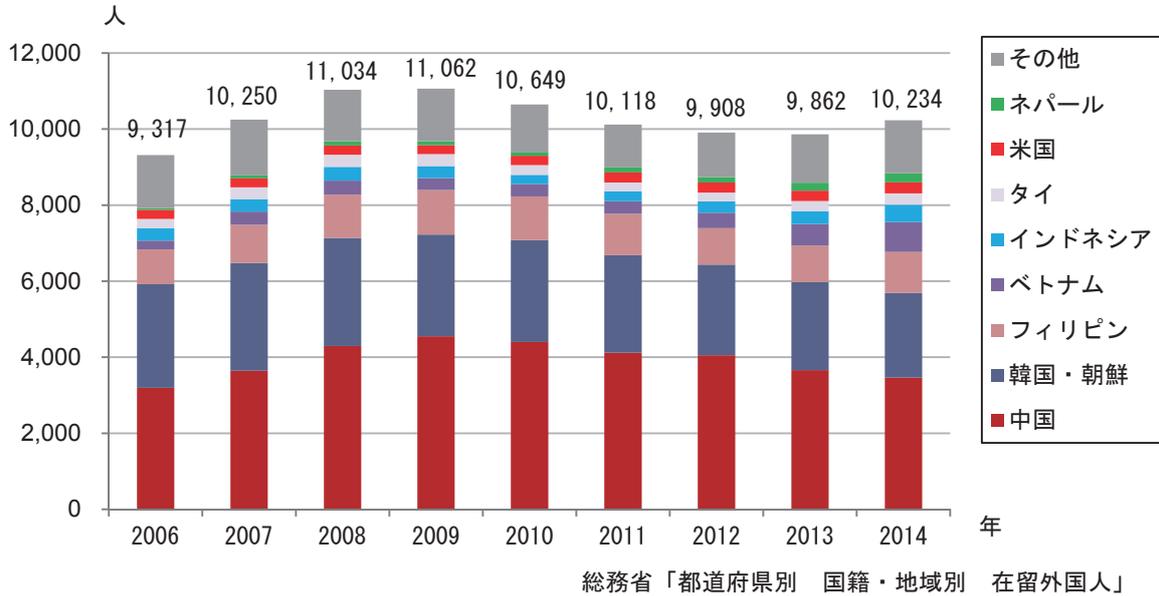
※2014年は44,970人の「日本語教育機関」の数字が含まれています。

独立行政法人 日本学生支援機構

近年は大きく伸びており、中国からの留学生が最も多くなっています。

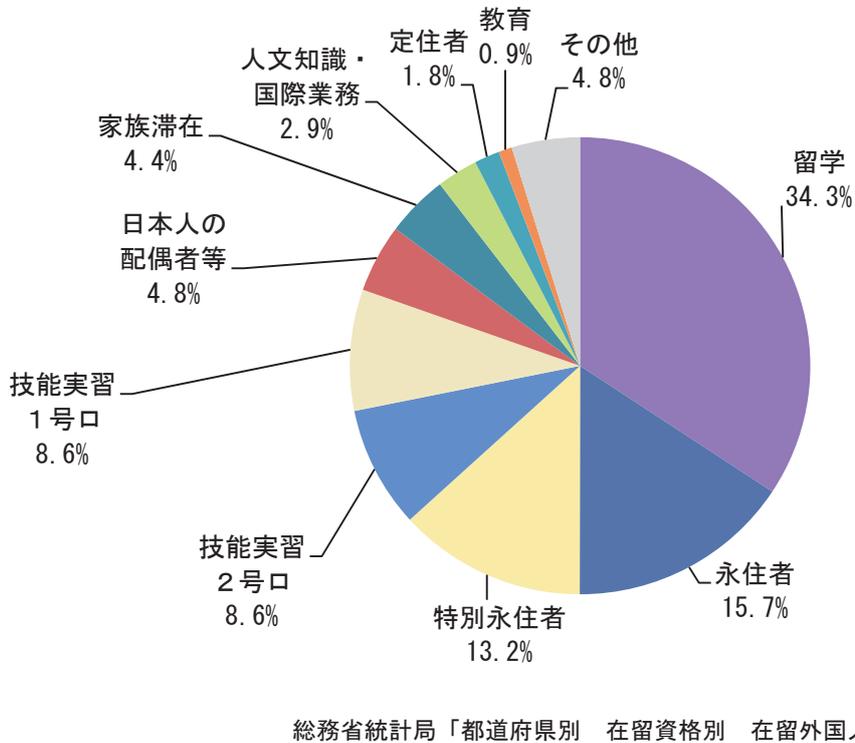
4. 大分県に住む外国人数

大分県に住む外国人数の推移



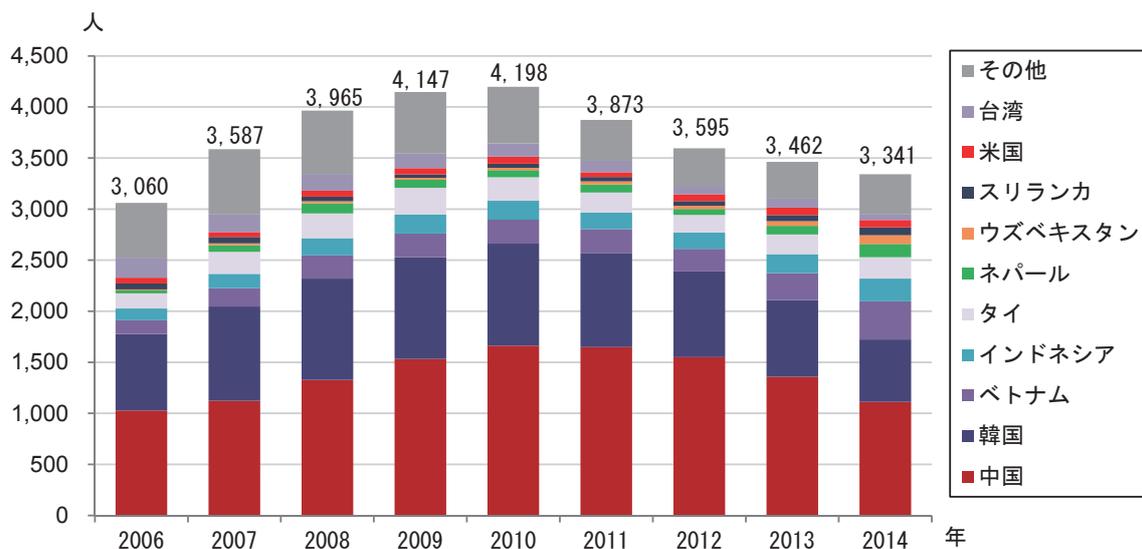
2009(平成21)年以降減少傾向にありましたが、2013(平成25)年以降徐々に増加しています。

2014年 大分県の在留資格別外国人数の割合



「留学」が最も多く全体の3割以上を占めます。次いで、「永住者」「特別永住者」が続きます。

外国人留学生数の推移

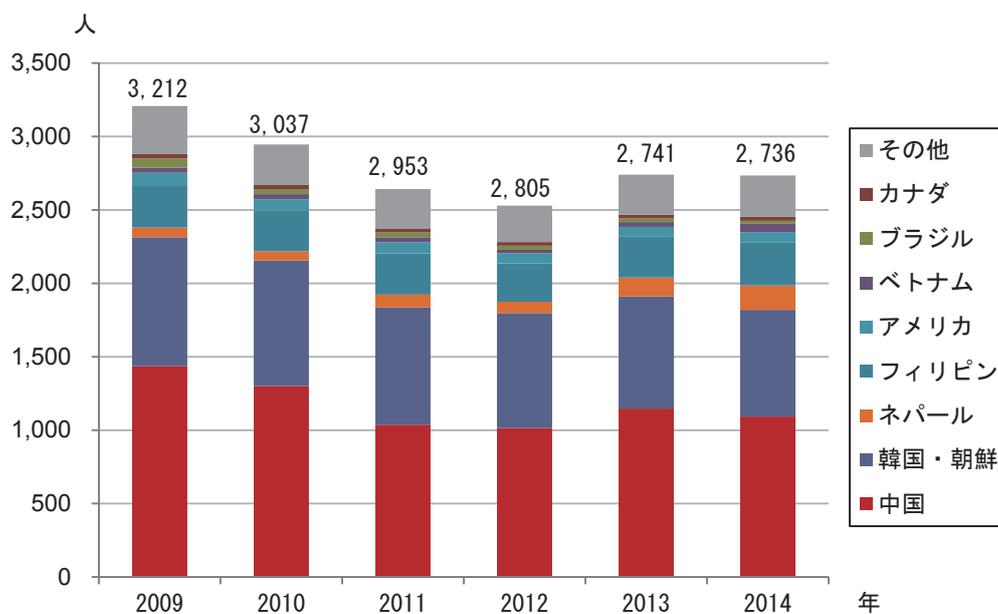


日本学生支援機構「留学生調査」

2010(平成22)年をピークに減少しています。国別では中国・韓国が減少する中、ベトナムが増加しています。

5. 大分市に住む外国人人数

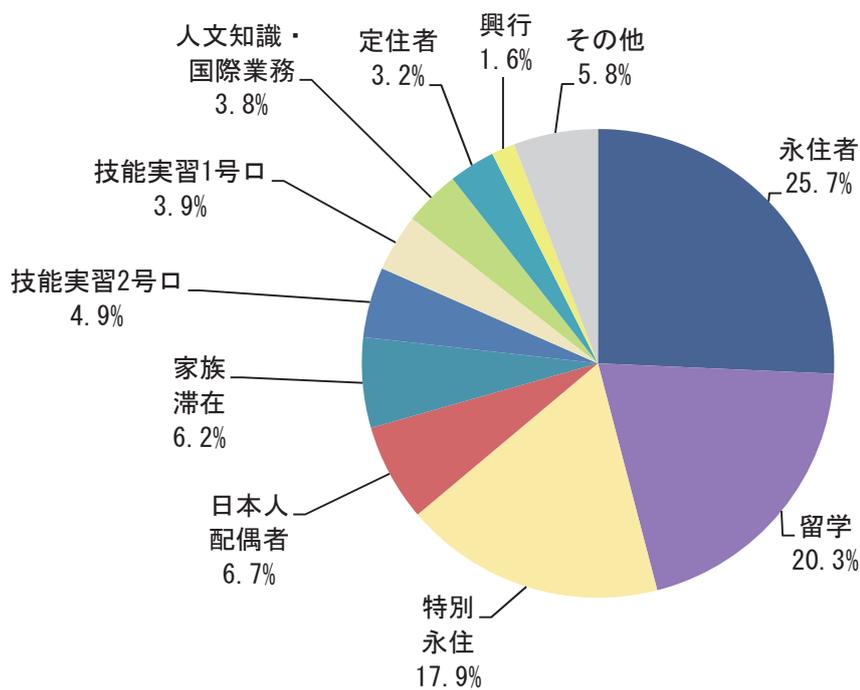
大分市に住む外国人数の推移



大分市住民基本台帳

2009(平成21)年以降、一貫して減少していましたが、2013年から停滞傾向にあります。

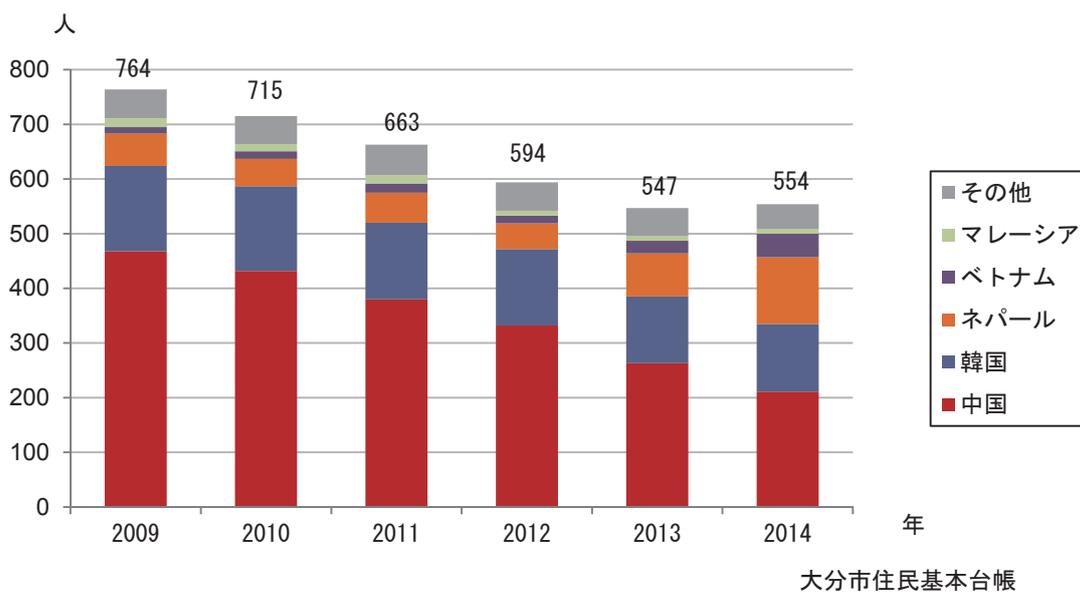
大分市の在留資格別外国人数の割合



大分市住民基本台帳2014（平成26）年

「留学」の割合が20%と、全国の10.4%に比べ高くなっています。

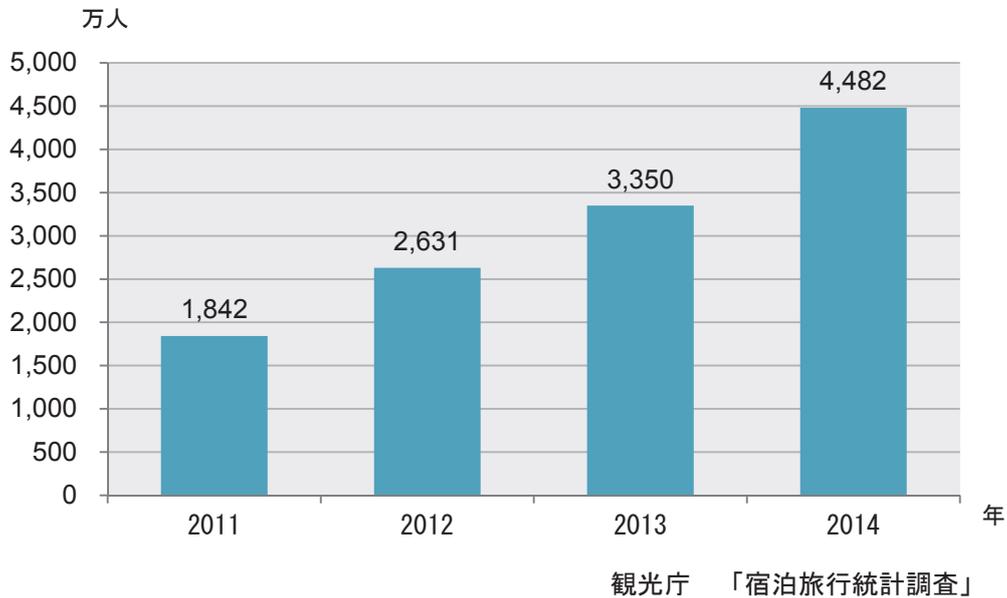
大分市の外国人留学生数の推移



アジアからの留学生が大部分を占めますが、近年は停滞傾向にあります。

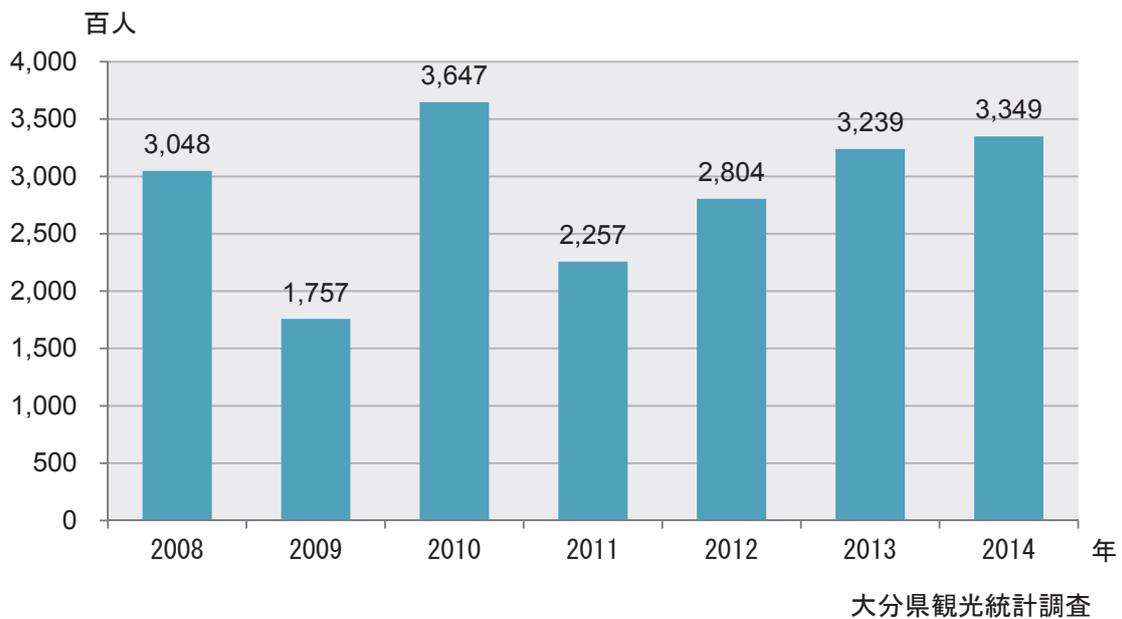
6. 日本、大分県、大分市の外国人宿泊客数

日本の外国人宿泊客数



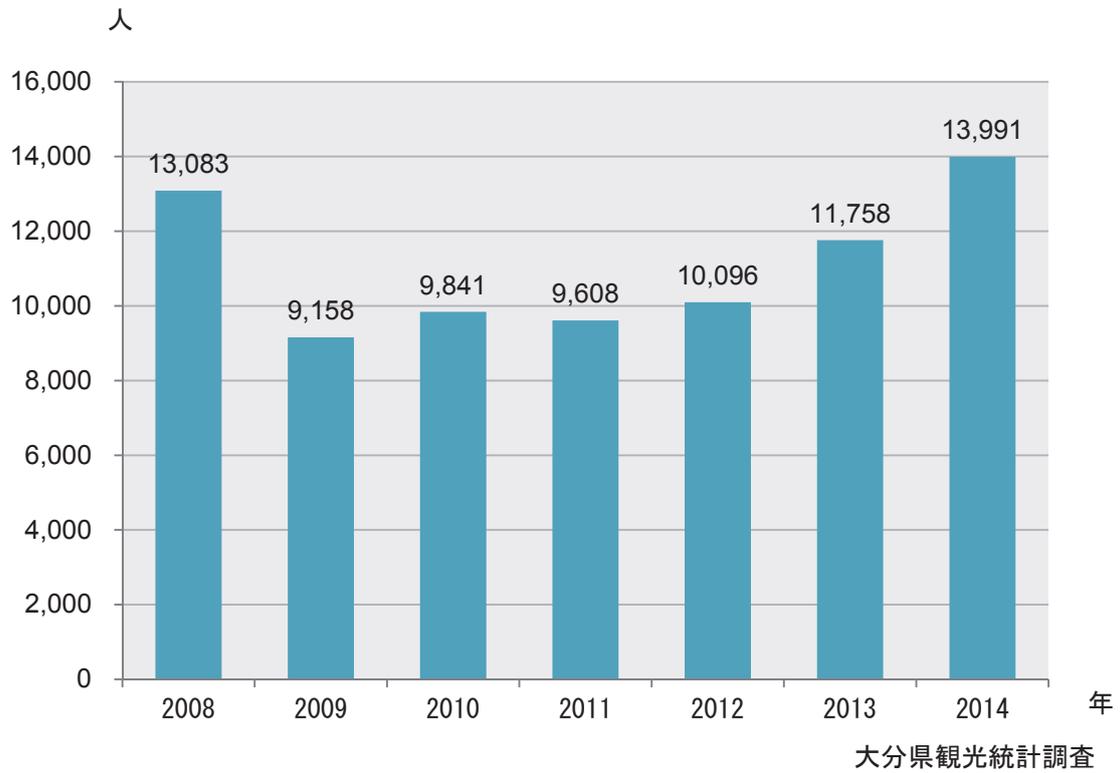
近年は急激に増加しており、3年間で2倍以上になっています。

大分県の外国人宿泊客数



新型インフルエンザ(2009年)や東日本大地震(2011年)などの影響などから減少している年もありますが概ね30万人を超えており、2015(平成27)年には過去初めて50万人を超えます。

大分市の外国人宿泊客数



新型インフルエンザなどの影響で2009(平成21)年に落ち込んだものの、その後、増加傾向にあります。

5章 市民意識調査の実施

第3次大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査を実施しました。この結果については本計画の施策や目標に反映させています。

【期間】

■ 2015(平成27)年1月末～2月28日

【調査対象】

■ 個人：3,314人

(内訳) 市民(20歳以上、無作為抽出)2,000人、留学生600人、自治委員688人 など

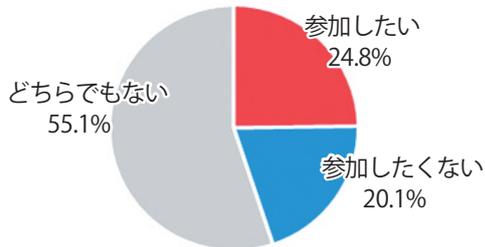
■ 団体：129 団体

(内訳) NPO法人、国際交流団体77団体、大学10団体、大分市国際都市交流親善会議会員40団体 など

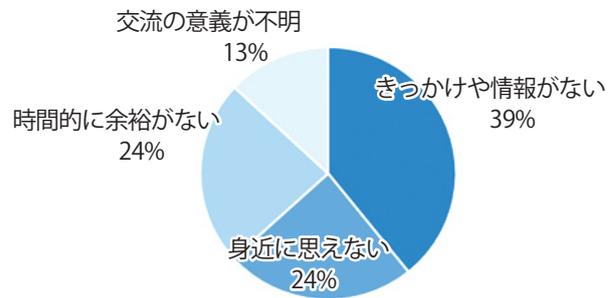
【調査結果】

■ 回収率：44.43%

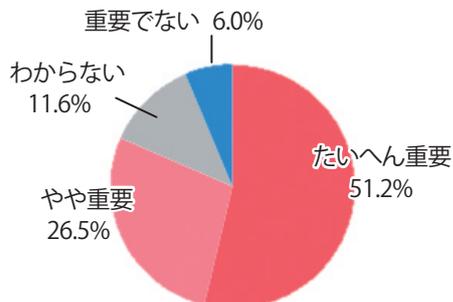
(内訳) 個人：44.10%、団体：48.06%、留学生：43.66% など



外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)に参加してみたいですか？



「外国人との交流や国際交流の経験がない・参加したくない」または、「どちらでもない」とお答えした方におたずねします。その主な理由は何ですか？



「国籍などに関係なく地域住民が暮らしやすいと思われる都市づくりをどのように思いますか？」

※調査結果の詳細は巻末の
資料「大分市国際化推進計画策定に係る
市民意識調査～報告書～」
をご覧ください。

6章 国際化の進展によるチャンスと課題

3章～5章にかけて国際化の現状などを紹介しましたが、ここでは、「なぜ、国際化は必要なのか？」を考えるために国際化の進展を「チャンス到来」と「さまざまな課題」に分類し考えてみます。

国際化の進展を生かして、市全体の活力の維持・向上、市民の豊かさの向上につなげていくことができます。

例えば① 外国人と触れ合う機会が増えると…



外国に行ってみよう！
外国人と話してみよう！



それは

- 子ども達の世界への関心拡大のチャンス！
- 市民のコミュニケーション能力の向上のチャンス！
- 自分が住む地域の文化や歴史の再評価（郷土意識の高揚）のチャンス！



チャンス到来

- 多文化にふれる機会の増大
- 新たな文化や外国人の流入による地域の活性化
- 外国人の持つ文化や能力の活用
- ビジネス市場の拡大
- 外国人購買力など…



活用例

- 子ども達の世界への関心拡大
- 市民のコミュニケーション能力の向上
- 地域の文化や歴史の再評価（市民の郷土意識の高揚）
- 市ブランドを世界に向け発信
- 観光客や海外ビジネスによる販路拡大など…

国際化の進展に伴って生じている（あるいは将来生じるであろう）課題に市民とともに取り組む必要があります。

例えば② 外国籍を有する市民が増えると…



言葉が通じない
日本の生活ルールは難しい



対応

- 多言語化や教育課題などの外国籍を有する市民へのサポート
- 市民に対する多文化理解の推進

課題の解決



さまざまな課題

- 外国人の定住化による教育課題（言葉、習慣、人権）や生活問題（地域とのコミュニケーション、住環境、治安）
- 国際間競争の激化による地域経済の停滞
- 環境・食糧・都市問題などの地球規模の課題など…



対応例

- 市民に対する多文化理解の推進
- 「共生・協働社会」の実現に向けた人権教育・啓発の推進
- 多言語化や教育課題などの外国籍を有する市民へのサポート
- 訪日外国人観光客誘致、市内企業の海外展開への支援
- 世界の平和や発展に関する学習
- 国際協力事業への参加など…

7章 計画の体系

計画全体の体系図です。基本方針・推進テーマ・施策と目標を設定し推進していきます。

本計画は、国外、国内の動向を注視し、日本、大分県、大分市の現状を分析するなかで、市民意識調査による市民の声を取り込み体系化しています。

基本方針では、国際化を担う人づくりをすすめるなかで、民間の活動支援や市民との連携を進めることを定め、推進テーマを「国際交流・国際協力」と「多文化共生」の2つに分類し、それぞれに施策と目標を設定することにより着実に国際化を推進していきます。

基本方針

広く市民がグローバル化のメリットを享受できるよう、多様な文化とあらゆる国籍の人々との共生や国際交流、国際協力を通じて、国際化を担う人づくりに努めます。また、民間の活動を積極的に支援するなど、市民との連携により、本市の個性や魅力を生かした国際化を推進します。

推進テーマ

推進テーマ① 国際交流・国際協力

多彩な国際交流・国際協力による
まち・ひとの元気の創出

国際交流の主役である市民や団体、企業などが多彩な国際交流・国際協力を通じて相互に長所を活かし、それぞれが魅力を高めることにより、新たな地域活力を創出します。

推進テーマ② 多文化共生*

外国籍を有する市民も暮らしやすいまちづくり

外国籍を有する市民も含めた全ての市民が地域社会の一員として支え合い、多様な文化や価値観を尊重しながら、持てる力を最大限に発揮できるまちづくりを目指します。

施策と目標

施策1 国際感覚豊かなひとづくりの推進

- 目標① 外国人と直接触れ合い、世界へ目を向けよう
- 目標② 国際化の情報に関心をもとう

施策2 まちの活性化につながる国際交流の推進

- 目標① 海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう
- 目標② 海外ビジネスにチャレンジしよう
- 目標③ 国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくろう

施策3 国際協力の推進

- 目標 身近でできる「国際協力」からはじめてみよう

施策4 多文化理解の促進

- 目標 国際化、多文化共生イベントに参加しよう

施策5 外国籍を有する市民への支援と共生への体制整備

- 目標 外国籍を有する市民も暮らしやすいまちにしよう

※多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

8章 施策と目標

本計画を推進するために重点的に取り組む施策と目標を紹介します。

施策1 国際感覚豊かなひとづくりの推進

目標① 外国人と直接触れ合い、世界へ目を向けよう



ALTが参加した授業風景



宿泊体験「リトル・オースチン村」

■大分市の現状

子どもたちが世界に目を向け、コミュニケーション能力を高める機会として、学校では、外国語指導助手（ALT）が授業へ参加し直接交流を行っています。また、外国人が参加した宿泊体験や、ホームステイを実施しています。

※外国語指導助手（ALT）とは

小学校、中学校における外国語等の授業や活動の補助を行う外国人

■目標に向けて取り組もう！

外国人と直接触れ合う機会を増やし、視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性を受け入れる力を身につけよう！

※多様性とは

ここでは、多国の文化や習慣などのさまざまな違い

◆「リトル・オースチン村」に参加してみたい
大分市国際化推進室 TEL (097) 537-5719

実現に向けた大分市の取組例

『外国人と直接触れ合える機会の創出』

- ◎小学校低学年へのALT事業の拡大
- ◎青少年国際理解推進事業「リトル・オースチン村」の定員拡大（小学校5・6年）
- ◎幼稚園・保育園を対象とした留学生交流事業

など…

数値目標

★外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数

実績 22,772人
(2014年度)



目標 40,000人
(2020年度)

目標② 国際化の情報に関心を持とう



大分市国際交流WEB



市報の国際化特集

■大分市の現状

国際化情報ホームページである「大分市国際交流WEB」や市報を使い、イベント情報、語学教室の開催案内などさまざまな情報を発信しています。

■目標に向けて取り組もう！

テレビや新聞、インターネットなどにある身近な国際化の情報に関心を持ち、大分市と世界とのつながりを意識しよう！

◆大分市国際交流WEB（日・英・中・韓）
<http://oita-kokusai.jp/>

実現に向けた大分市の取組例

『身近な魅力ある情報の発信』

- ◎「大分市国際交流WEB」のリニューアル
- ◎Facebookの活用

など…

数値目標

★「大分市国際交流WEB」のアクセス数

実績 63,364アクセス/年
(2014年度)



目標 100,000アクセス/年
(2020年度)

施策2 まちの活性化につながる国際交流の推進

目標① 海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう



大型クルーズ船による観光客



ラグビーワールドカップ
交流スペース「ファンゾーン」

■大分市の現状

増加する外国人観光客に対して、外国人向け旅行情報誌への特集記事の掲載や外国語版観光パンフレット製作のほか、大分市観光協会や県などと連携し、国外の旅行会社及び国際観光展でのプロモーション活動、外国語版ホームページへの情報掲載などに取り組んでいます。

■目標に向けて取り組もう！

ラグビーワールドカップ2019（平成31年）の大分開催や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（平成32年）などを好機ととらえ、本市の伝統文化の紹介やボランティアに参加するなど、海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう！

◆通訳・翻訳ボランティアの登録・紹介について
おおいた国際交流プラザ TEL (097) 533-4021

実現に向けた大分市の取組例

『おもてなし力のアップ』

- ◎看板などの多言語化
- ◎無料公衆無線LANの設置
- ◎ボランティアなどの育成
など…

数値目標

★ラグビーワールドカップ2019
大分開催で設置する交流スペース「ファンゾーン」等への
来場者数

目標 50,000人
×
大分市開催試合数
(開催年2019年度)

※「ファンゾーン」等とは
パブリックビューイングでの試合観戦や文化体験などを通じ、国内外からの観光客や観光客が交流する場所のこと。

目標② 海外ビジネスにチャレンジしよう



県市合同 中国・武漢ビジネスセミナー



海外向け食品等輸出商談会 in 大分

■大分市の現状

中国武漢市との友好都市関係を生かし、中小企業の武漢市進出をサポートしてきました。加えて2015（平成27）年度には「中小企業販路拡大応援事業」を創設し、世界各地へ進出しようとする中小企業を後押ししています。

■目標に向けて取り組もう！

海外ビジネスに関する情報や、さまざまなビジネスサポート制度を活用し、国内外を問わず活躍する元気な企業になろう！

◆企業の海外ビジネスのサポートについて
大分市創業経営支援課 TEL (097) 537-7014
ジェトロ大分 TEL (097) 513-1868

実現に向けた大分市の取組例

『企業の海外ビジネスのサポート』

- ◎海外向け輸出商談会の開催
- ◎展示会等への参加に対する支援
など…

数値目標

★海外への経済交流支援企業数

実績 335件
(2003～2014年度累計)

目標 575件
(2016～2020年度累計)

目標 ③

国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくろう



外国人によるステージ

■大分市の現状

「大分七夕まつり」や「大分生活文化展」などに出演している外国人による特色あふれる多国籍料理は異国情趣を醸し出し、イベントににぎわいをもたらしています。また、国際イベントを開催する民間団体への支援も行っています。



お祭りへの多国籍屋台の参加

■目標に向けて取り組もう！

国際色や外国人の持つ文化や能力を中心部のイベントや地域のお祭りなどにプラスし、新たなにぎわいや魅力を生みだそう！

◆イベント支援事業について

(国際イベント)

大分市国際化推進室 TEL (097) 537-5719

(中心市街地でのイベント)

大分市商工労働課 TEL (097) 537-5625

実現に向けた大分市の取組例

『国際色あるイベントの開催促進』

◎国際イベントの開催を支援する「夢アクティブ21 イベント支援事業」のリニューアル

◎イベントへの外国人参加の呼び掛け

など…

数値目標

★外国人が参加したイベント数

実績

16 イベント
(2014年度)

目標

20 イベント
(2016～2020年度期間の平均)

施策 3

国際協力の推進

目標

身近でできる「国際協力」からはじめてみよう



ボランティア活動

■大分市の現状

JICA九州との共催により、毎年10月に「おおいた国際協力啓発月間事業」を開催し、大分で国際協力を進める団体の紹介や活動発表の場の支援を行っています。

※JICAとは

開発途上国への国際協力を行う機関。独立行政法人国際協力機構のこと。

実現に向けた大分市の取組例

『国際協力事業の実施及びサポート』

◎「おおいた国際協力啓発月間事業」の内容の充実

◎市民が気軽に参加できる国際協力事業のサポート

など…



国際協力イベント

■目標に向けて取り組もう！

海外に出て国際協力に取り組むこともできます。また、県内には、世界平和と発展に貢献するため、環境・食糧・教育などの地球環境の課題に取り組んでいる団体があります。まずは、イベントへの参加など身近でできる「国際協力」からはじめてみよう！

◆国際協力に参加してみたい

JICA デスク大分 TEL (097) 533-4021

(おおいた国際交流プラザ内)

数値目標

★国際協力事業のサポート件数

実績

14 件
(2014年度)

目標

20 件
(2016～2020年度期間の平均)

施策4 多文化理解の促進

目標 国際化、多文化共生イベントに参加しよう



おおいたワールドフェスタ



外国人との料理教室

■大分市の現状

さまざまな国の文化や習慣に気軽にふれることができるイベント「おおいたワールドフェスタ」を多くの留学生と一緒に開催しています。また、公民館等では外国の料理教室や多文化理解講座などを行っています。

■目標に向けて取り組もう!

これからは、外国人と接する機会が多くなり、文化的な違いを理解し、地域でともに暮らしていくことが必要となります。まずは、国際化や多文化共生に関するイベントや講座に参加し、異文化に触れてみよう!

◆県内の留学生の地域参加について
大学コンソーシアムおおいた
TEL (097) 578-7400

実現に向けた大分市の取組例

- 『国際イベントへの市民の参加促進』
- ◎「おおいたワールドフェスタ」の内容の充実
 - ◎国際化、多文化共生に関する出張講座の開催
- など…

数値目標

★国際化、多文化共生イベントへの参加者数

実績 20,538人
(2014年度)



目標 25,000人
(2016～2020年度期間の平均)

施策5 外国籍を有する市民への支援と共生への体制整備

目標 外国籍を有する市民も暮らしやすいまちにしよう



地域の祭りへ参加する外国人



防災訓練へ参加する外国人

■大分市の現状

本市には、2,649人(2016年2月)の外国人が暮らしています。外国籍を有する市民の割合は全国平均と比べても高くありませんが、地域や学校においてはさまざまな問題が起こっています。市では「生活情報ガイド」や「多言語防災ガイド」を作成しホームページなどでお知らせするとともに、国際交流員2名(英語、中国語)を配置し、外国籍を有する市民へさまざまなサポートを行っています。

■目標に向けて取り組もう!

外国籍を有する市民が抱えている、言葉、生活、子どもの教育などの課題や人権問題を、みんなで考え、サポートしていくことで、ともに地域を支える仲間として暮らしていこう!

実現に向けた大分市の取組例

- 『外国籍を有する市民へのサポート』
- ◎国際交流員による生活サポートの充実
 - ◎留学生などへの生活オリエンテーションの実施
 - ◎日本語の学習支援が必要な子どもへの初期対応
- など…

数値目標

★外国籍を有する市民への生活オリエンテーション等の実施数

実績 35件
(2014年度)



目標 50件
(2016～2020年度期間の平均)

9章 国際化事業の紹介

大分市ではさまざまな国際化事業を行っています。ここでは主なものを紹介します。

青少年国際理解推進事業(リトル・オースチン村)

姉妹都市アメリカ合衆国 オースチン市の生活を疑似体験する交流会。ゲームや歌などグループ活動を英語で行い、外国語を使ってコミュニケーションする楽しさや異文化に対する関心をはぐくむことを目的とします。各グループのリーダーとして大分市ALTが参加(12名程度)。対象は市内の小中学校5、6年で一般募集。参加費あり(食事代程度)。日帰りコース(定員40名)、宿泊コースあり(定員36名)。※2010(平成22)年度開始。



武漢市学校交流事業

武漢外国語学校と大分市内の公立中学校が、生徒3名程度と引率教員1名を1年間のうちに相互派遣し文化や習慣を学ぶ事業。宿泊はホームステイ等にて行います。国際航空運賃は生徒負担、滞在費は両市負担。※2012(平成24)年度開始、2012(平成24)年度は上野ヶ丘中学校、2013(平成25)年度は碩田中学校、2014(平成26)年度は王子中学校、2015(平成27)年度は大分西中学校



姉妹・友好都市を活用した国際交流の促進

●主な交流

【姉妹都市】ポルトガル共和国 アベイロ市

- ・親善訪問団の相互派遣
- ・鶴崎踊り、モダンダンススタジオのアベイロ市公演
- ・大分市中学生サッカー選抜チームのアベイロ市派遣 など



【友好都市】中華人民共和国 武漢市

- ・友好訪問団の相互派遣
- ・大分国際車いすマラソン大会参加選手の招待
- ・おおいた夢色音楽祭参加ミュージシャンの招待
- ・大分市美術館にて大分・武漢合同美術展の開催
- ・武漢雑技団の大分市特別公演
- ・大分交響楽団の武漢公演
- ・青少年サッカー交流 など



【姉妹都市】アメリカ合衆国 オースチン市

- ・親善訪問団の相互派遣
- ・大分国際車いすマラソン大会参加選手の招待
- ・おおいた夢色音楽祭参加ミュージシャンの招待
- ・鐵心太鼓のオースチン公演 など



外国語指導助手 (ALT) 招聘事業

大分市教育委員会において以下の業務を進めるため「外国語指導助手 (ALT)」を採用しています。

- ① 中学校における外国語等の授業の補助
- ② 小学校における外国語活動等の授業の補助
- ③ 幼稚園、小学校、中学校における国際理解教育の補助
- ④ 外国語教材作成の補助
- ⑤ 外国語担当教員等に対する現職研修の補助
- ⑥ 特別活動や部活動等への協力
- ⑦ 外国語担当指導主事や外国語担当教員等に対する語学に関する情報の提供
- ⑧ 外国語スピーチコンテスト等への協力
- ⑨ 地域における国際交流活動への協力 など

◇採用状況：15名



各種語学講座

本市の施設（コンパルホール、ホルトホール大分、地区公民館など）で施設の自主事業として市民を対象に語学教室（英語、韓国語など）を実施しています。

国際化・国際交流イベント支援事業（地球市民・夢アクティブ21）

●国際化・国際交流イベント支援事業

市民の皆さんが提案する国際交流事業に対して最大100万円を助成する事業を行っています。毎年、5月に募集し、「選定委員会（有識者）」を開催し助成事業を決定しています。



留学生生活用事業（おでかけENGLISH ～留学生と英語と遊ぼう～）

平成28年度より、留学生を大分市内の幼稚園、保育所、認定こども園に派遣し、就学前の子供たちが英語を使った歌やゲームを通じて英語でコミュニケーションする楽しみを体験できる事業を開始します。大分市内の公立幼稚園、私立幼稚園、公立保育所、私立認可保育所（園）、認定こども園が派遣の対象です。



おおいた国際協力啓発月間

大分市とJICA九州は10月6日の「国際協力の日」に合わせ、毎年10月の一か月間を「おおいた国際協力啓発月間」と定めています。

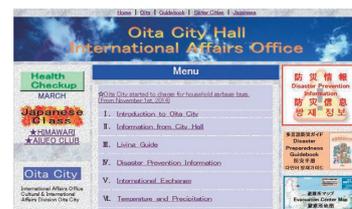
この期間中に、大分市、JICA九州の呼び掛けにより、さまざまな国際関係団体が、市民の皆さんに“国際交流”や“国際協力”を身近に感じていただくための事業を開催しています。また、平成27年度よりおおいた国際協力啓発月間のなかで「おおいたワールドフェスタ」を開催し、さまざまな国の音楽や伝統文化に触れていただくことで多くの市民に世界を身近に感じていただいています。



大分市国際交流WEB

大分市公式ホームページとは別に、大分市国際化推進室で運営するホームページが「国際交流WEB」です。

市民への国際化イベントの紹介や、海外に向けた本市の情報発信、外国語（英語・中国語・韓国語）による外国籍を有する市民への生活情報、防災情報などを提供しています。



大分市武漢事務所

2006（平成18）年5月に大分市が武漢市に「大分市武漢事務所」を開設しました。両市の市民の交流サポート、経済交流サポート、企業進出・企業誘致、農業交流サポート、観光交流サポートなどを行っています。

武漢市国際交流サービスセンターに事業委託し、現在は所長1名、所員2名（全て日本語が話せる現地中国人を採用）で運営しています。



友好都市間交流ビジネスチャンス創出事業

本市は、2003（平成15）年度から、中国武漢市との友好交流で培われた市民レベルの相互理解と信頼関係を基盤に、グローバル時代における地場企業の新たな活性化策として武漢市政府、ジェトロ大分等関係機関と連携し事業を行っています。2016（平成28）年度は、これまで培われた友好都市関係は本市にとって強みであると認識しつつ、それら以外の地域へも事業展開します。



インバウンド推進事業

2013(平成25)年の夏にビザ要件が緩和された東南アジア5カ国(タイ、マレーシア、ベトナム、フィリピン、インドネシア)から多くの観光客が見込まれるため、それぞれの国・地域に適した観光商品の開発・販売、本市内の宿泊・観光施設・飲食店の利用を条件としたインセンティブ(補助金)を付与し、外国人旅行者数の増加を図っています。

「インセンティブ付与による旅行商品造成事業」を大分市観光協会へ事業委託し、大分市への旅行を実施した旅行業者に対し人数に応じ補助金を支給しています。

海外への観光PR、観光客誘致

現地旅行社へのセールスの実施(韓国、台湾など)、外国人向け情報誌への大分市の掲載、外国語パンフレット作成、国際観光展への出展を行っています。

アジア太平洋都市サミット

アジア太平洋地域の諸都市の首長が一堂に会し、これまでの都市行政を進めてきた立場からお互いの経験を交えて率直な意見交換等を行うことにより、都市の友好親善はもとより、都市問題の解決に向けた相互協力、さらには、相互都市の一層の発展に向けたネットワークの構築を図ることを目的として毎年開催されています。首長会議、実務者会議を隔年で行い、2015(平成27)年で、会員都市は海外13カ国、21都市、国内は9都市となります。

◇近年の開催状況：2014(平成26)年度実務者会議(タイ バンコク)、2013(平成25)年度首長会議(熊本)、2012(平成24)年度首長会議(韓国 浦項)

大分国際車いすマラソン大会への姉妹・友好都市選手参加

●姉妹都市 オースチン市の選手参加

大会のレベルアップ及び国際交流やにぎわい創出のため、オースチン大分姉妹都市委員会の推薦により1994(平成6)年からオースチン市の選手が参加しています。



●友好都市 武漢市の選手参加

大会のレベルアップ及び国際交流やにぎわい創出のため、武漢市の推薦により1984(昭和59)年から武漢市の選手が参加しています。



おおいた夢色音楽祭への姉妹・友好都市ミュージシャン参加

●姉妹都市 オースチン市のミュージシャンの参加

音楽祭のレベルアップ及び国際交流やにぎわい創出のため、オースチン大分姉妹都市委員会の推薦により、2010(平成22年)度からオースチン市のミュージシャンが参加しています。



●友好都市 武漢市のミュージシャンの参加

音楽祭のレベルアップ及び国際交流やにぎわい創出のため、武漢市の推薦により2014(平成26)年度から武漢市のミュージシャンが参加。



各種異文化理解講座

現本市の施設(コンパルホール、ホルトホール大分、地区公民館など)の自主事業として市民を対象に実施しています。

多言語への対応(人員の配置)

国際交流や翻訳、公式行事の通訳、外国籍を有する市民への言語サポートなどを行うため、英語、中国語に堪能な国際交流嘱託職員2名を配置しています。(文化国際課国際化推進室内)

また、創業経営支援課には海外ビジネスサポートのため中国語対応2名、福祉保健課には中国からの帰国者のため中国語対応1名、JR大分駅構内にある大分市観光案内所には英語対応2名を配置しています。

「多言語防災ガイド」の作成

2011(平成23)年度に一般財団法人自治体国際化協会の助成金を利用し、外国籍を有する市民のために英語、中国語、韓国語によるガイドを作成しています。(避難所MAP付)



職員の国際化

1984(昭和59)年から友好都市武漢市へ8名の職員を、1992(平成4)年から姉妹都市オースチン市へ5名の職員を語学研修生として各1年間派遣しています。また、職員を対象に外国語講座や国際文化アカデミーでの国際化や多文化共生に関する研修も実施しています。

情報の多言語化

- ・外国語表記ごみ収集カレンダー(英・中・韓)を作成しています。
- ・ローマ字併記の街区表示版を設置しています。
- ・高崎山自然動物園の看板などを多言語化しているほか、市内中心部を中心にQRコードを活用した多言語対応を実施しています。
- ・ホームページ「国際交流WEB」を日、英、中、韓の4ヶ国語で運営しています。
- ・高崎山自然動物園などの観光施設については英語、中国語、韓国語のパフレットを作成しています。また、英語表記による観光ガイド、食のパフレットも作成しています。
- ・英語併記の母子健康手帳の販売を行っています。

留学生への支援

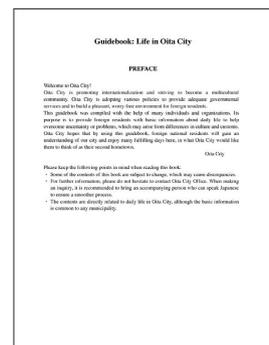
市営住宅の空き室を住居として提供しています。

外国籍を有する市民への支援

●外国籍を有する市民向け「生活情報ガイド」の作成

本市で生活するうえで必要な情報(各種手続き、住宅、医療、仕事など)を、英語、中国語、韓国語に翻訳し国際交流WEB(ホームページ)で公開しています。

●日本語の学習支援が必要な子どもへの翻訳機の貸出



生活情報ガイド(英語版)

国際関係団体、県、周辺自治体などとのネットワークの構築

「おおいた国際交流プラザ」と協調し、市内を中心に活動する国際関係団体をはじめ周辺自治体等にも呼び掛け、「多文化共生の地域づくり」をテーマとした研修会を2015(平成27)年度から実施することにより、市民のみならずの国際理解を深めるとともに、大分市と関係団体、さらには大分県や各市町村等とのネットワーク構築を進めています。

10章 国際関係団体紹介

大分市にはさまざまな国際関係団体があります。ここでは主な団体を紹介します。

おおいた国際交流プラザ



主な事業

「おおいた国際交流プラザ」では日本人と在在外国人がお互いを理解しながら共に住み良い県を目指す「多文化共生社会」の実現に向け、さまざまな講座やイベント、外国人のための無料相談会等を開催するとともに、登録ボランティアによる通訳・翻訳の支援や、国際交流・協力等に関するさまざまな情報の提供などを行っています。

住所：〒870-0029 大分市高砂町2番33号(B1F)

電話：097-533-4021 FAX：097-533-4052

大学コンソーシアムおおいた

主な事業

特定非営利活動法人大学コンソーシアムおおいたは、県内の大学と、経済界、行政、民間団体等が加盟しているNPO法人です。地域と留学生の共生、そして留学生のチカラを活かした魅力ある地域づくりを目的としています。留学生による語学教室や料理交流などの地域交流のほか、留学生の地域活動の支援、就業支援などさまざまなプログラムを行っています。



住所：〒870-0839

大分市金池南1丁目5番1号 ホルトホール大分2F

電話：097-578-7400 FAX：097-578-7401

JICAデスク大分

主な事業

独立行政法人国際協力機構(JICA)は、日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。



「すべての人々が恩恵を受けるダイナミックな開発」というビジョンを掲げ、多様な援助手法のうち最適な手法を使い、地域別・国別アプローチと課題別アプローチを組み合わせ、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

住所：〒870-0029

大分市高砂町2番33号(B1F) おおいた国際交流プラザ内

電話：097-533-4021 FAX：097-533-4052

ジェトロ大分



主な事業

日本貿易振興機構(ジェトロ)は、70カ所を超える海外事務所ならびに本部(東京)、大阪本部、アジア経済研究所および国内事務所をあわせ約40の国内拠点から成る国内外ネットワークをフルに活用し、対日投資の促進、農林水産物・食品の輸出や中堅・中小企業等の海外展開支援に機動的かつ効率的に取り組むとともに、調査や研究を通じ我が国企業活動や通商政策に貢献します。

住所：〒870-0037 大分市東春日町17-19 大分ソフィアプラザビル4階

電話：097-513-1868 FAX：097-513-1881

11章 大分市の海外の姉妹・友好・交流促進都市

姉妹・友好都市関係を結ぶ海外の4都市を紹介します。

姉妹都市 ポルトガル共和国 アベイロ市



ポルトガル共和国 アベイロ市

人口：約8万人(2011年国勢調査)

面積：199.7km²

姉妹都市提携日：1978(昭和53)年10月10日

位置：ポルトガルの首都リスボンの北方約250km

主な産業：卸売業、観光産業、石油化学工業、製鉄業

アベイロ市の概要

アベイロ市は、ポルトガルの首都リスボンの北方約250kmに位置する大西洋に面した人口約8万人、面積は199km²の街です。気候が穏やかで、また海が入り江まで入り込み、運河となって四方に流れ込む地形から、ポルトガルのベニスと呼ばれており、観光地として世界各国から観光客が訪れています。歴史ある町で、郊外には中世の城や修道院の遺跡といった文化的遺産も数多く残っています。産業は、卸売業や観光産業が中心で、石油化学工業や製鉄業も盛んです。また、重要な漁港もあり、塩の生産地としても有名です。

2015(平成27)年7月には本市の中学生サッカー訪問団がアベイロ市を訪問し、交流試合やホームステイを通じた青少年交流が行われました。



大分市中学生サッカー選抜チームアベイロ市派遣

友好都市 中華人民共和国 武漢市



中華人民共和国 湖北省 武漢市

人口：約1,022万人

面積：8,494.4km²(市街地176km²)

友好都市締結日：1979(昭和54)年9月7日

位置：中国の華南 東経113度41分-115度05分
北緯29度58分-31度22分

気候：亜熱帯の大陸性気候

2009年武漢市GDP：4,620.86億人民幣

武漢市の概要

武漢市は、中国の華中、長江(揚子江)中流域の漢水と交わるところに位置し、武昌・漢陽・漢口の3つの地域からなり、人口は約1,022万人、面積は約8,494.41km²(市街地176km²)を有する中国中部最大の都市です。

気候は、亜熱帯の大陸性気候で、四季がはっきりしており、特に夏は、最高気温が40度を超えることがあり、重慶・南京と並んで中国の三大ストーブと呼ばれ、その暑さは有名です。歴史的には、大詩人屈原を輩出した春秋戦国時代の楚の国として、また三国志の舞台としても悠久の歴史をもち多くの名勝旧跡に恵まれています。

現在では、湖北省の省都として省の政治・経済・文化の中心としてだけでなく、北京・上海・広州・重慶からほぼ1,000kmから1,200kmの距離にあることから、中国における経済・貿易・金融・交通・科学技術の主要な拠点として重要な役割を果たしています。基幹産業としては、光エレクトロニクス分野の開発・製造企業が世界規模で集積しており、この他にも自動車を中心とする機械製造業、製鐵を中心とする素材型製造業、製薬開発をはじめとする生物バイオ産業等が盛んです。化学技術イノベーション(特許)件数は国内都市ランキング第3位です。また、これらの先端産業を支える主な人材としては、市内78校の大学等高等教育機関に88万人を越す学生がいます。武漢市は中国でも有数の人材養成拠点ともなっています。

大分市と武漢市は農業実習生の受入れや、中学生相互派遣、大分交響楽団武漢公演、武漢雑技団大分公演、ビジネス交流などさまざまな分野で交流を行っています。

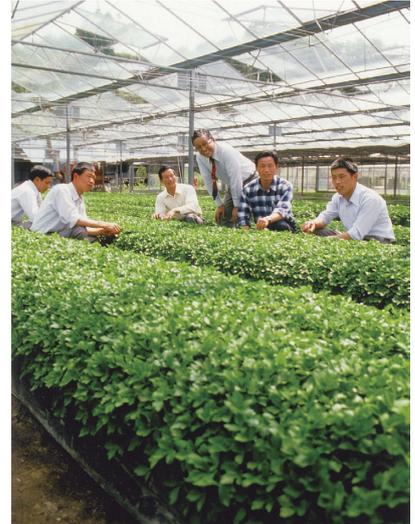




武漢市学校交流事業



大分市交響楽団武漢公演



武漢市農業実習生の大分市研修



大分市・武漢市による女流書道交流

交流促進都市 中華人民共和国 広州市



中華人民共和国 広東省 広州市

人口：約1,270万人（2010年 第6次人口調査）

面積：7,434.4km²（市街地3,719km²）

交流促進都市覚書交換：1997（平成9）年10月9日

位置：中国華南地区

気候：亜熱帯モンスーン気候

年平均気温：21.7℃

年間降水量：1,982.7mm

平均湿度：77%

アジア太平洋都市サミットが縁で、アジア太平洋地域のネットワークの構築並びにオープンな国際交流の展開のため、交流促進都市締結の覚書の交換を行いました。

姉妹都市 アメリカ合衆国 オースチン市



アメリカ合衆国 テキサス州 オースチン市

人口：約80万人(2011年国勢調査)

面積：771.6km²

姉妹都市提携日：1990(平成2)年10月30日

平均気温：冬7～14度、夏26～38度前後

主な産業：IT産業、音楽産業等

オースチン市の概要

オースチン市は、アメリカ合衆国の南西部に位置し、テキサス州のほぼ中央にあり、面積は771.6km²、人口は約80万人で、国内では11番目の人口を誇ります。大変教育水準の高い都市で、8校ある大学の学生総人口は10万人を超え、特に全米屈指の規模を誇るテキサス大学の本校には、世界各国から集まった5万人近い学生や研究者が学んでいます。そのために市民の平均年齢は30代前半と若く、またその人種の比率はコーカシャン53%、ラテン・アメリカ系31%、アフリカン・アメリカン系10%、アジア系5%、日本人0.18%となっています。気候は1年のうち約300日が晴天で平均気温は、冬7～14℃・夏26～38℃前後。特に夏は5月から9月まで続き、湿度も高めです。緩やかに丘陵地に囲まれた市の中心部にはロッキー山脈を水源とするコロラド川が悠然と流れており、自然や緑にも恵まれています。経済の中心であるIT産業は、全米からも注目されており、多数存在するマイクロチップ、ハード・ソフトの両面の関連会社での雇用者数は12万人にもものぼります。また、テキサスの州都ということもあり、公共機関で働く人口も145,000人と多く、総労働人口の20%を占めています。その他、全米有数のレストラン密集地のため、飲食関係産業の年間売上が2,400億円、また、ライブハウスが200以上軒を連ねるほど音楽産業も盛んで、関連産業も含めた総売り上げは年間720億円に達しています。

2016(平成28)年2月にはオースチンマラソンに大分市の選手が参加し、レースやホームステイを通じた交流が行われました。



オースチンマラソンへの参加



姉妹都市提携25周年記念
鐵心太鼓のオースチン公演

◎大分市国際化推進計画改定の経緯

年 月 日	内 容
2014(平成26)年 10月	第3次大分市国際化推進計画策定委員会設置要綱施行
2015(平成27)年 1月23日	委嘱状交付 ◇第1回策定委員会
1月末～2月28日	大分市の現状、計画の概要
5月7日～15日	市民意識調査
5月27日	第1回 国際化推進計画庁内会議 ◇第2回策定委員会
8月26日	計画骨子 ◇第3回策定委員会
10月5日～16日	計画骨子、施策の体系
11月9日～13日	策定委員への個別ヒアリング
12月15日	第2回 国際化推進計画庁内会議 ◇第4回策定委員会
2016(平成28年) 2月1日～29日	市民意見公募手続(パブリックコメント)実施
3月24日	◇第5回策定委員会
3月30日	市長へ最終提言
3月31日	第3次大分市国際化推進計画 決定

<市民意識調査概要>

調査目的: 第3次大分市国際化推進計画に反映させるため、市民の国際化に対する意識の調査を行いました。

期 間: 2015(平成27)年1月末～2月28日

調査対象: 個人/3,314人

(内訳) 市民(20歳以上、無作為抽出) 2,000人、留学生 600人、自治委員 688人など

団体/129団体

(内訳) NPO法人、国際交流団体 77団体、大学 10団体、大分市国際都市交流親善会議会員 40団体

調査結果: 回収率 44.43%(内訳) 個人: 44.10%、団体: 48.06%、留学生: 43.66%

<市民意見公募手続概要>

募集期間: 2016(平成28)年2月1日～2月29日

閲覧方法: 文化国際課国際化推進室、情報公開室、各支所、明野出張所もしくは市ホームページ

応募資格: ①市内に住所がある方 ②市内に事務所又は事業所を有する個人及び法人その他の団体の方

③市内の事務所又は事務所に勤務する方 ④市内の学校に在学する方

⑤その他の市民意見公募手続に係る事案に利害関係を有する方

応募様式: 様式は自由

必須記入事項: 氏名又は名称 住所又は事務所もしくは事業所の所在地

法人その他の団体にあつては代表者の氏名

応募方法: 直接又は郵送、ファックス、Eメール

応募件数: 3件

◎第3次大分市国際化推進計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 第3次大分市国際化推進計画(以下「推進計画」という。)の策定に当たり、広く市民の意見を聴くため、第3次大分市国際化推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、市長に意見を述べるものとする。

- (1) 推進計画の策定に関すること。
- (2) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が参画依頼する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係団体の代表者
- (3) その他市長が必要と認める者

(参画依頼の期間)

第4条 参画依頼の期間は、参画依頼の日から推進計画が策定される日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(報償金等)

第7条 委員に対する報償金等は、予算の範囲内で、市長が決定し、これを支払うことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、企画部文化国際課国際化推進室において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成26年9月5日から施行する。

(この要綱の失効)

2 この要綱は、推進計画が策定される日限り、その効力を失う。

◎大分市国際化推進計画策定委員会委員名簿

<第1次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	五十嵐 副 夫	大分大学経済学部教授、大分大学経済学部教育支援室長	
副委員長	児 玉 貞 夫	社会福祉法人永生会理事長、特別養護老人ホーム清流苑苑長 大分県社会福祉施設経営者協議会会長	
	足 立 紀 男	特定非営利活動法人技術サポートネットワーク大分設立発起人 財団法人大分県産業創造機構前コーディネーター	
	池 邊 和 壽	有限会社日本建装工業代表取締役、大分県ベンチャー協議会副会長	
	印 成 銀	有限会社総合企画A・E代表	
	加 納 照 彦	Japan Ecology Logistics株式会社取締役 前大分市国際化推進懇話会委員	
	後 藤 一 裕	大分市議会副議長	H17.3.9まで
	佐 藤 真 紀	大分交響楽団コンサートミストレス	
	下 郡 友 子	有限会社下郡園芸社長	
	ジュリー・ヌートバー	おおいた都心まちづくり会議委員、初代大分市国際交流員 別府大学短期大学部講師、大分大学非常勤講師	
	秦 康 雄	大分市自治員連絡協議会副会長	
	田 島 アンナ	前大分市国際化推進懇話会委員、大分外国人妻の会会長	
	開 静 子	大分市都市計画審議委員、大分県不動産鑑定士協会広報委員	
	安 枝 楠 游	雪舟国際美術協会理事、国連平和大使	
	幸 健	学校法人城南学園理事長	
	渡 部 義 美	大分市議会副議長	H17.3.10から

<第2次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	五十嵐 副 夫	大分大学経済学部教授、大分大学経済学部教育支援室長	
副委員長	高 橋 英 子	大分市教育委員(委員長職務代理者)、別府大学非常勤講師	
副委員長	橋 本 均	株式会社マリーンパレス代表取締役社長	
	井 澤 蓮 象	大分市生涯学習指導者、元駐スーダン大使、国際協力事業団室長	
	太 神 みどり	特定非営利法人大学コンソーシアムおおいた総合マネージャー	
	甲 斐 豊 子	大分温室協同組合	
	郭 麗 莎	大分市国際交流囑託職員	
	加 島 兼 芳	大分市自治委員連絡協議会副会長	H22.4.8まで
	ジュリー・ヌートバー	大分県立芸術文化短期大学専任講師、初代大分市国際交流員	
	白 沢 史 子	財団法人大分県文化スポーツ振興財団理事、大分交響楽団副理事長	
	谷 口 世志子	青年海外協力隊員OG 特定非営利法人活動法人森と海の共生・ネットワーク事務局長	
	姫 野 恭 志	大分市自治委員連絡協議会幹事	H22.11.17から
	本 庄 剛	独立行政法人日本貿易振興機構大分貿易情報センター所長	
	リチャードソン・マカエス	大分トリニータ育成部 U-15 コーチ	

<第3次大分市国際化推進計画>

役職	氏名	所属	備考
委員長	安岡正義	国立大学法人大分大学経済学部教授(国際教育研究センター長)	
副委員長	橋本均	株式会社マリーンパレス代表取締役社長	
	足立恵理	大分人権教育ワークショップ研究会 代表	
	井澤蓮象	元駐スーダン大使	
	太神みどり	特定非営利法人大学コンソーシアムおおいた総合マネージャー	
	岡野祐介	独立行政法人日本貿易振興機構 大分貿易情報センター長	H27.8.26から
	小野久美子	市民公募委員	
	甲斐武彦	おおいた産品等海外ビジネス促進協議会 副会長	
	清田芳弘	学校法人文理学園 日本文理大学別科日本語課程 別科長	
	白沢史子	NPO国際チェロアンサンブル協会 理事長	
	玉井昇	大分県立芸術文化短期大学国際総合学科 准教授	
	トメック・ジェンバ	独立行政法人国立高等専門学校機構 大分工業高等専門学校助教	
	松村亮	独立行政法人日本貿易振興機構 大分貿易情報センター長	H27.7.14まで

※委員長、副委員長、それ以降は50音順、敬省略
(所属等は委員在任当時のもの)



第3次大分市国際化推進計画策定委員会の様子



大分市国際化推進計画策定に係る市民意識調査

— 報告書 —

平成27年3月

大分市企画部文化国際課

目 次

I 調査計画	1
II 個人調査結果	3
【1】回答者の属性	3
1. 性別構成比	3
2. 年齢別構成比	3
3. 居住年数	4
【2】国際交流の実態や意識について	5
1. 海外旅行・海外生活経験	5
2. 外国人との交流・国際交流・国際協力経験	6
3. 外国人との交流・国際交流・国際協力への参加意向	7
4. 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと	8
5. 「国際交流に参加したくない」「どちらでもない」理由	11
6. 大分市と関係の深い地域	13
7. 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと	15
【3】外国籍市民との共生について	18
1. 地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりについて	18
2. 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりに必要と思うこと	20
3. 外国籍市民に望むことや期待すること	23
【4】その他について	26
1. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと	26
2. 現在、実施している事業について	29
3. 姉妹・友好都市との交流において、望ましいこと	31
4. 新たな都市間提携について	34
III 留学生調査結果	36
【1】回答者の属性	36
1. 性別構成比	36
2. 年齢別構成比	36
3. 留学生の種類	37
4. 専攻	37
5. 居住年数	38

【2】国際交流の実態や意識について	39
1. 1カ月の生活費	39
2. 奨学金や住宅助成金の受給状況	40
3. 1カ月当たり奨学金・住宅助成金の受給額	41
4. アルバイト経験	42
5. アルバイトの種類	43
6. アルバイトに対する希望	43
7. 住居形態	44
8. 同居者(ルームシェア等)の有無	45
9. 1カ月の家賃	46
10. 住居の不満	47
11. 勉強や仕事以外での日本人との交流	49
【3】国際交流に対する意識や意向などについて	51
1. 市民との国際交流の希望	51
2. 国際交流やボランティア活動への関心	52
3. 必要な生活情報の入手先	54
4. 現在、最も欲しいと思う情報	56
5. 大分市の好きなおところ	59
6. 卒業後の進路希望	62
IV 国際交流団体調査結果	64
【1】団体の属性	64
1. 団体の形態	64
2. 会員数	64
3. 会員の主な職業	65
4. 団体運営の主な財源	65
【2】活動について	66
1. 国際交流・協力活動	66
2. 活動上の問題点や課題	69
3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと	72
4. 国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望	75
V フリーアンサー集約結果	78
【1】個人／現在、実施している事業に対する意見等	78
【2】留学生／アルバイトに対する希望	89
【3】国際交流団体／国際化や国際交流に関する意見	92

I 調査計画

【調査の目的】

本調査は、本市の国際化諸施策に関する市民や留学生、関連団体等の意見やニーズ等を把握し、「第3次大分市国際化推進計画（平成28年度～平成32年度）」を策定するための基礎資料を得るとともに、国際化諸施策を総合的・計画的に推進することを目的として実施した。

【調査対象】

1. 個人／市内に居住する20歳以上の市民
(内訳)
 - ・自治委員 …………… 688人
 - ・市政記者 …………… 26人
 - ・無作為抽出…………2,000人

 - ・合計……………2,714人
2. 留学生／市内に居住する留学生
3. 国際交流団体／市内に所在する国際交流事業を行う各種団体

【調査方法】

郵送配布・郵送回収（留学生については大学等への持ち込み配布・依頼）

【調査期間】

平成26年2月

【回収結果】

	配布数	有効回収数	有効回収率
1. 個人	2,714人	1,206人	44.4%
2. 留学生	600人	262人	43.7%
3. 国際交流団体	129人	62人	48.1%

【報告書の見方について】

1. 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
2. 2つ以上の回答が可能な複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
3. 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数^{*}を「n」で表記している。
4. 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合がある。
5. 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合がある。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合がある。
6. 設問によっては、選択肢が大きく異なる場合を除き、平成21年度に実施した同様の調査(「前回調査」と表記)との比較を行っている。
7. この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

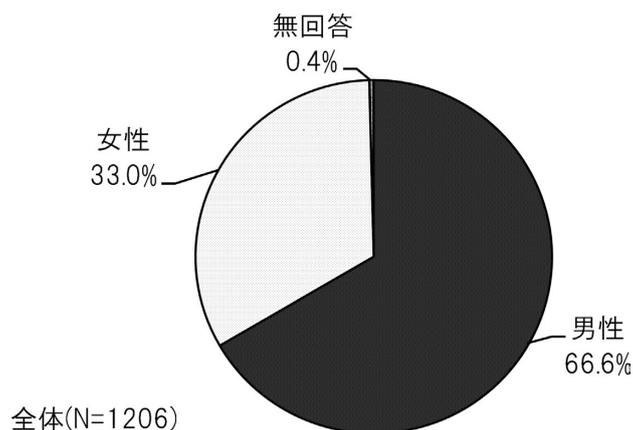
※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性(「男性」や「●歳代」・・・)など、限定された回答者数

Ⅱ 個人調査結果

1 回答者の属性

1. 性別構成比(問1)

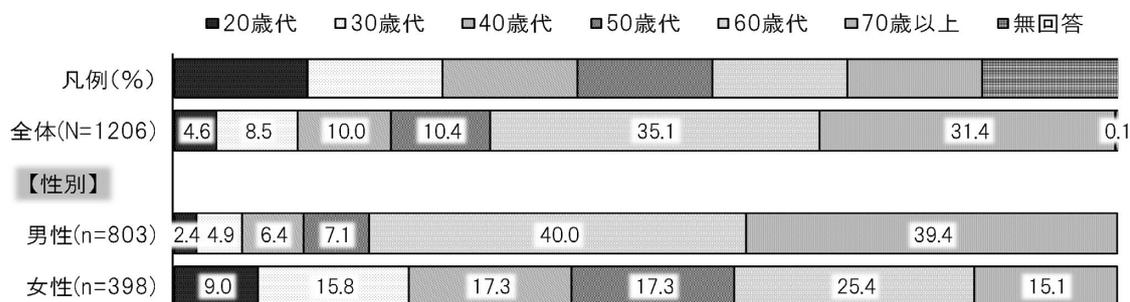
対象者の性別構成比は、男性が66.6%、女性が33.0%と、およそ7:3の構成となっている。



2. 年齢別構成比(問2)

対象者の年齢別構成比は、「60歳代」の割合が35.1%と最も高く、近い割合で「70歳以上」が31.4%で続き、次いで「50歳代」(10.4%)、「40歳代」(10.0%)の順となっている。『60歳以上』の合計で、全体の7割近く(66.5%)を占めている。

性別では、男性は『60歳以上(合計)』で全体の約8割を占めているが、女性は『50歳以下(合計)』で全体の約6割を占め、男性に比べ相対的に年齢の若い層が多くなっている。

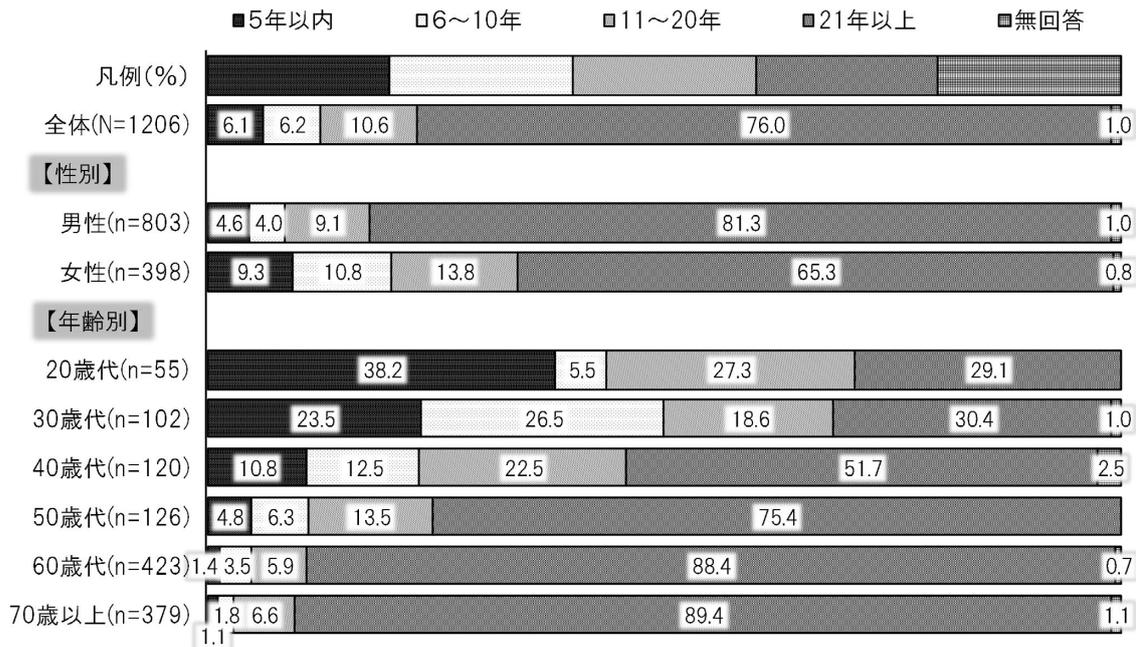


3. 居住年数(問3)

市内での居住年数は、「21年以上」の割合が76.0%と最も高く、次いで「11～20年」が10.6%で続いている。

性別では、男性は「21年以上」が女性を大きく上回っている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「5年以内」が高くなる傾向にあり、20歳代では約4割を占めている。また、年齢が上がるほど「21年以上」が高くなり、居住年数は年齢におおむね比例している。



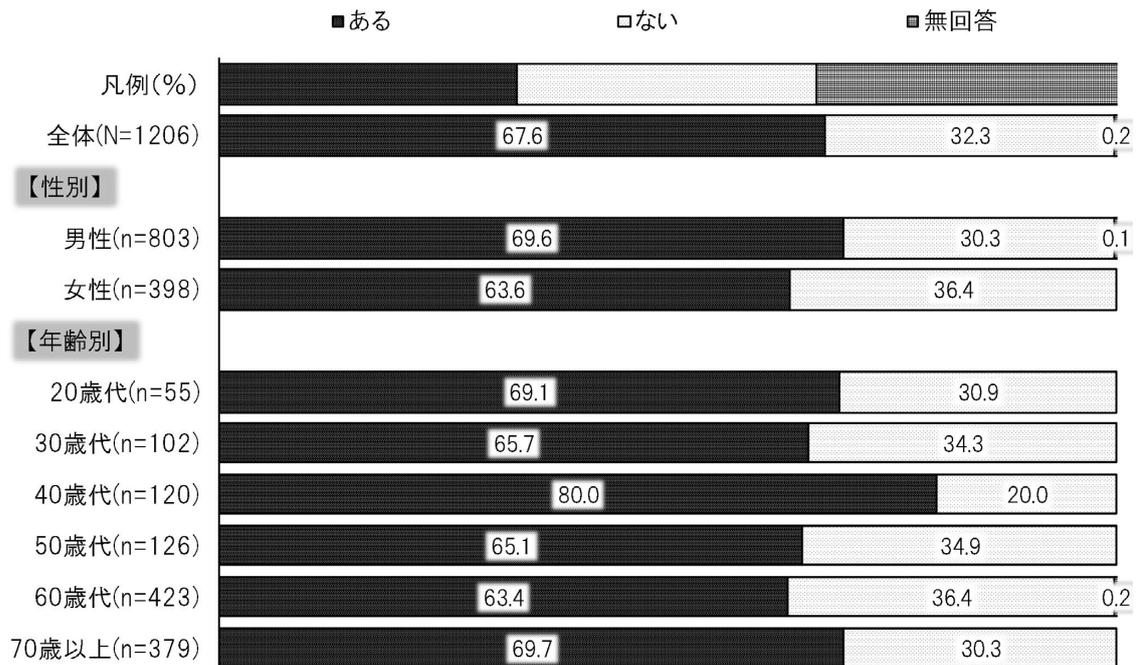
2 国際交流の実態や意識について

1. 海外旅行・海外生活経験(問4)

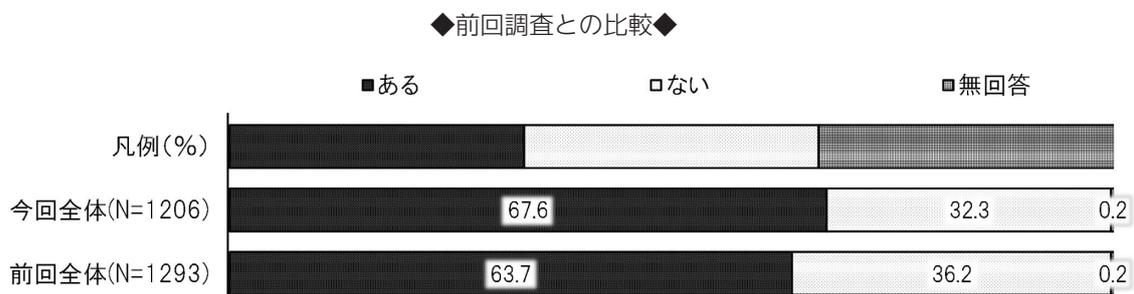
問4 海外旅行経験、または海外生活経験がありますか？

海外旅行・海外生活経験については、「ある」が7割近く(67.6%)を占めている。

「ある」の割合は、性別では男性、年齢別では特に40歳代で8割を占め他の年齢層を大きく上回っている。



前回調査との比較をみると、今回調査では海外旅行・海外生活経験者はやや増加した。

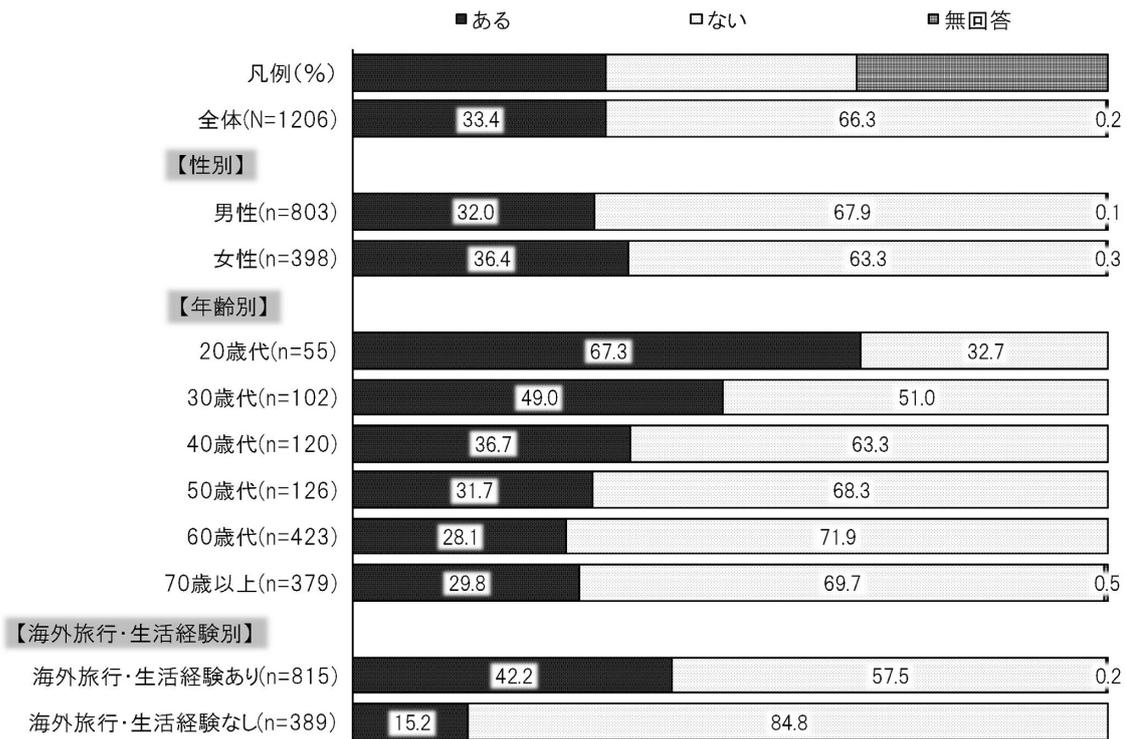


2. 外国人との交流・国際交流・国際協力経験(問5)

問5 外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)の経験がありますか？

外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)の経験については「ある」が33.4%であった。性別では、女性は男性に比べて「ある」がやや高く、年齢別では年齢が若い層ほど経験者が多くなっており、特に20歳代では6割以上を占めている。

海外旅行・生活経験別で見ると、海外旅行・生活経験がある層で4割以上が「ある」と回答している。



前回調査との比較をみると、大きな差は目立たない。

◆前回調査との比較◆



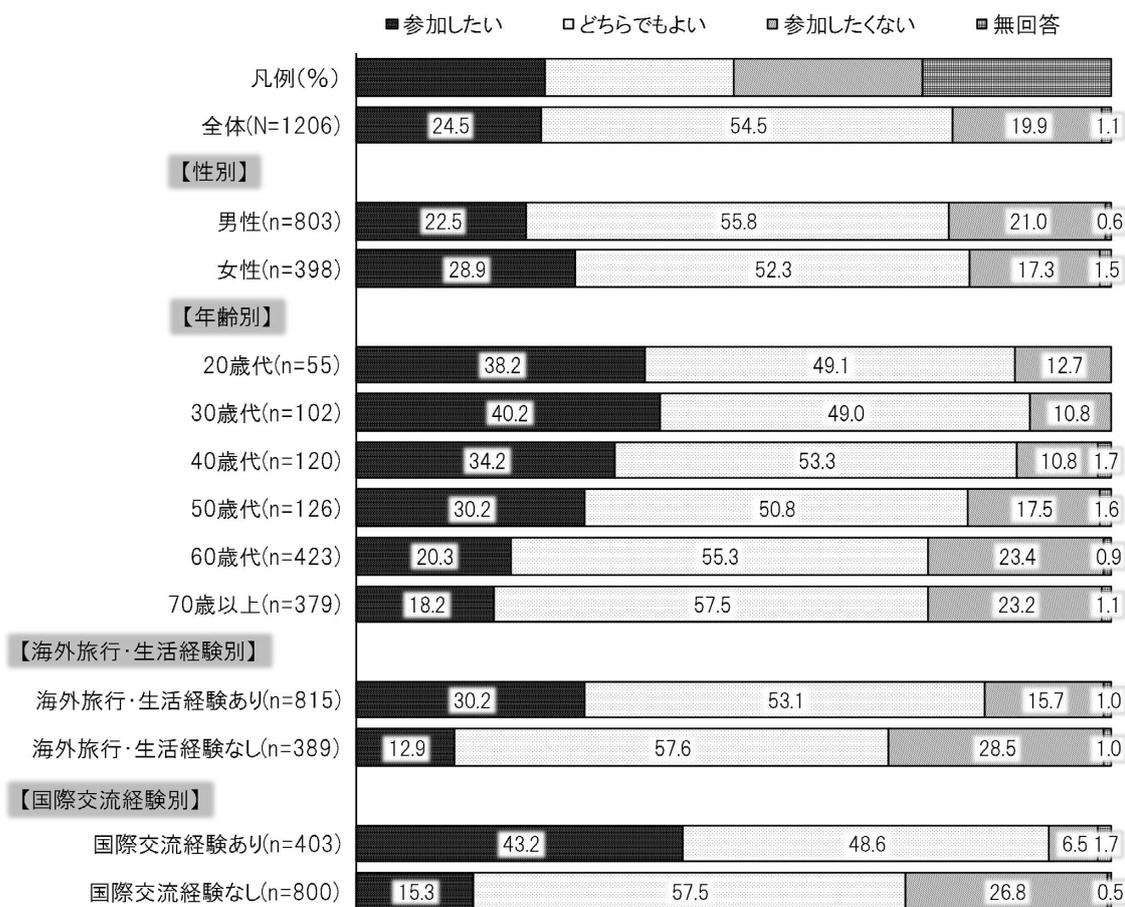
3. 外国人との交流・国際交流・国際協力への参加意向(問6)

問6 外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)に参加してみたいですか？

外国人との交流や国際交流(国際協力を含む)への参加意向については、およそ4人に1人(24.5%)が「参加したい」と回答しており、「参加したくない」は約2割(19.9%)となっている。

性別では、女性は男性に比べて参加意向がやや高く、年齢別ではおおむね年齢が若い層ほど参加意向も高くなる傾向にある。

また、海外旅行・生活経験がある層や国際交流経験がある層ほど参加意向は高く、特に国際交流経験がある層の参加意向は4割以上を占めている。



前回調査との比較では、今回調査では「どちらでもよい」が増加し、参加意向が低下した。

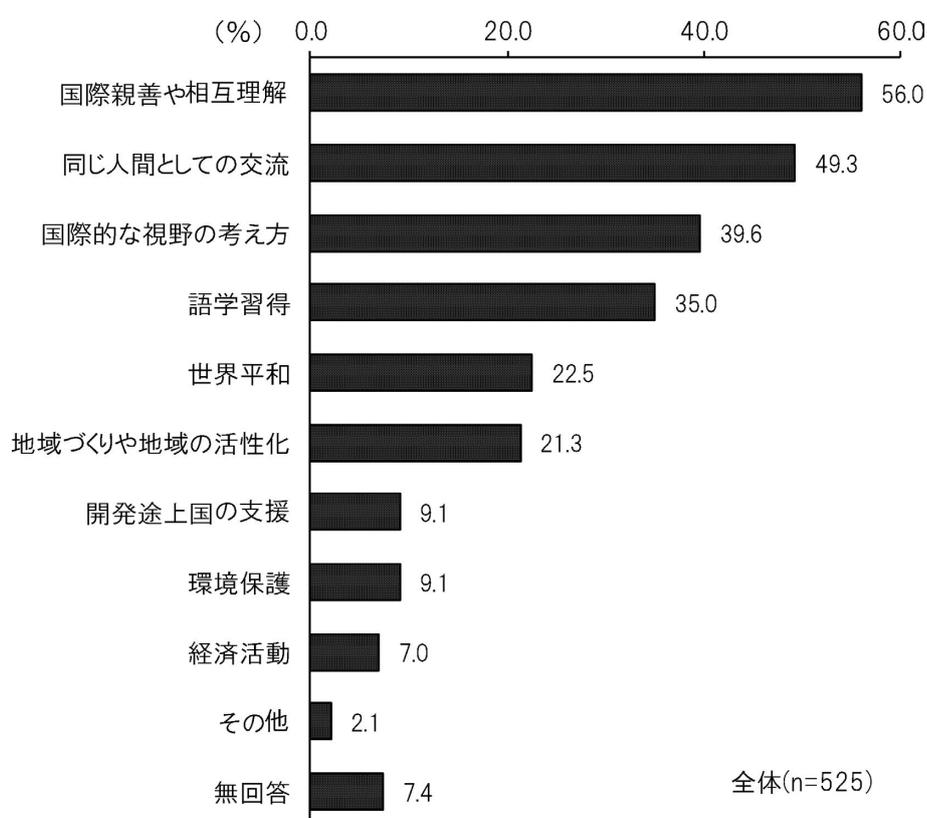
◆前回調査との比較◆



4. 外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいこと(問7)

問7 問5で「外国人との交流や国際交流の経験がある」とお答えした方、または、問6で「外国人との交流や国際交流に参加してみたい」とお答えした方におたずねします。外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいことは何ですか？
(複数回答可)

外国人との交流や国際交流・協力で大切にしたいことについては、「国際親善や相互理解」が56.0%と最も高く、次いで「同じ人間としての交流」(49.3%)、「国際的な視野の考え方」(39.6%)、「語学習得」(35.0%)の順となっている。



性別では、男性は「地域づくりや地域の活性化」「環境保護」がやや高く、女性は特に「語学習得」が高くなっている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「語学習得」が高くなる傾向にある。また、50歳代で「同じ人間としての交流」「国際的な視野の考え方」、70歳以上で「地域づくりや地域の活性化」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

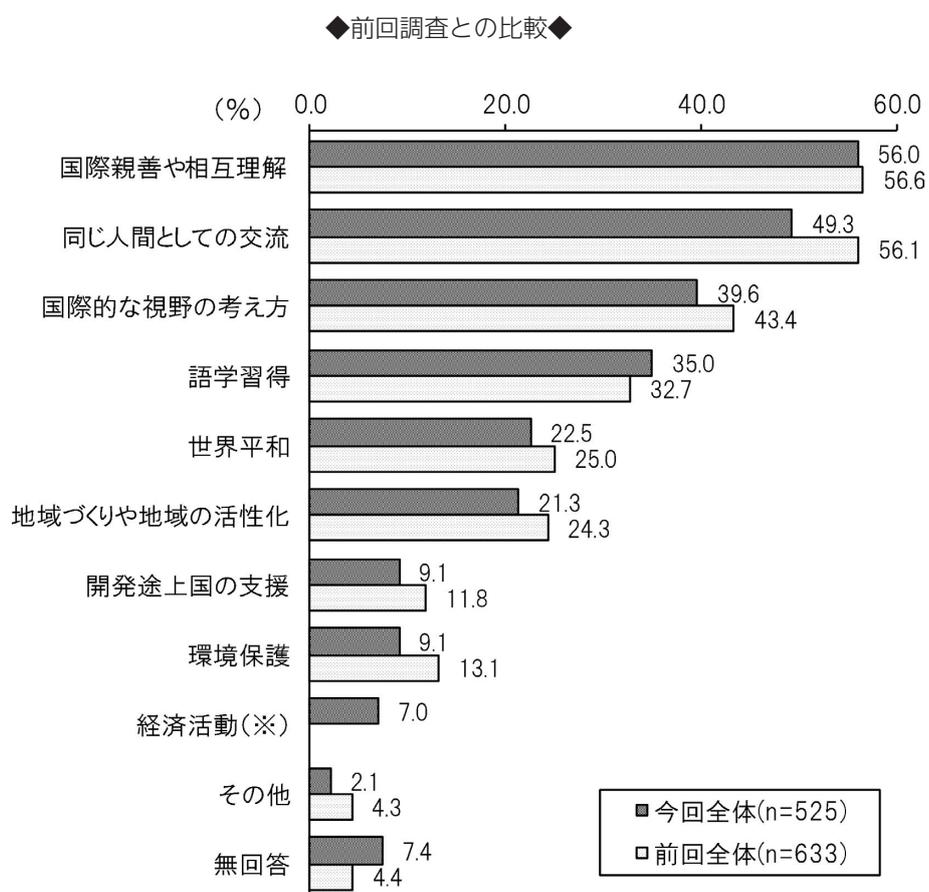
単位(%)		国際親善や相互理解	同じ人間としての交流	国際的な視野の考え方	語学習得	世界平和	地域づくりや地域の活性化	開発途上国の支援	環境保護	経済活動	その他
全体(n=525)		56.0	49.3	39.6	35.0	22.5	21.3	9.1	9.1	7.0	2.1
性別	男性(n=340)	55.0	45.6	35.3	26.8	19.7	23.2	8.5	10.3	9.1	1.5
	女性(n=184)	57.6	56.0	47.3	50.5	27.2	17.9	10.3	7.1	3.3	3.3
年齢別	20歳代(n=40)	55.0	40.0	40.0	52.5	22.5	17.5	12.5	10.0	7.5	2.5
	30歳代(n=64)	51.6	43.8	43.8	62.5	18.8	15.6	9.4	7.8	4.7	0.0
	40歳代(n=61)	52.5	52.5	44.3	42.6	19.7	16.4	11.5	4.9	11.5	1.6
	50歳代(n=57)	61.4	61.4	59.6	29.8	29.8	21.1	8.8	3.5	5.3	3.5
	60歳代(n=159)	59.1	49.7	31.4	28.3	20.1	17.6	10.7	11.3	10.7	3.1
	70歳以上(n=144)	54.2	47.9	36.8	24.3	25.0	31.3	5.6	11.1	2.8	1.4

注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示している。（例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、20歳代から70歳以上のうち、最も割合が高い年齢層に網掛け。）

但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていない。また「無回答」は表記から省略している。

（本報告書においては以下同様）

前回調査との比較をみると、今回調査では「同じ人間としての交流」「国際的な視野の考え方」「環境保護」などが低下した。

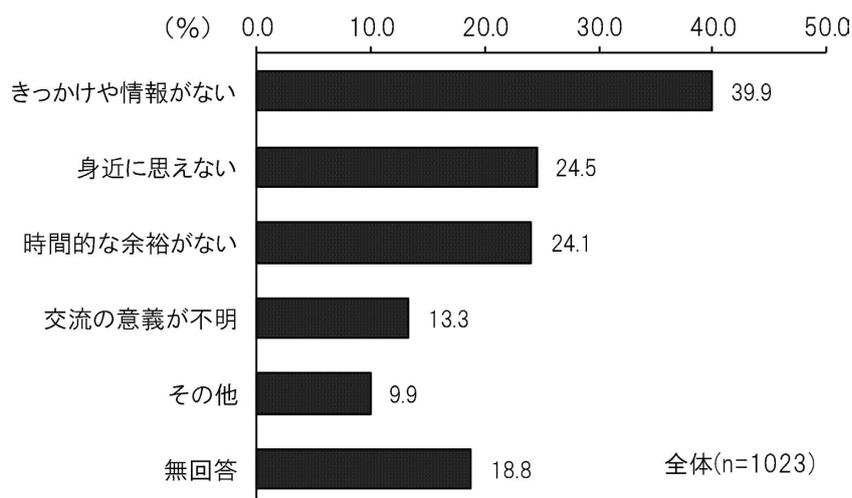


※前回調査では選択肢に無い

5. 「国際交流に参加したくない」「どちらでもない」理由(問8)

問8 問5で「外国人との交流や国際交流の経験がない」、または、問6で「外国人との交流や国際交流に参加したくない」、もしくは、「どちらでもない」とお答えした方におたずねします。その主な理由は何ですか？(2つ以内で回答)

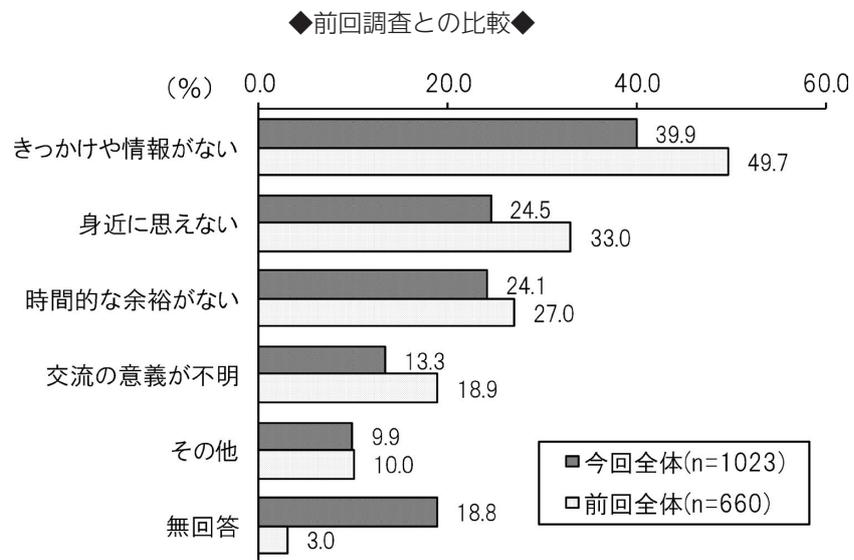
「国際交流に参加したくない」「どちらでもない」理由については、「きっかけや情報がない」が39.9%と最も高く、次いで「身近に思えない」(24.5%)、「時間的な余裕がない」(24.1%)の順となっている。



性別では、男性は「交流の意義が不明」、女性は「きっかけや情報がない」がそれぞれ高くなっている。年齢別では、20歳代と50歳代で「時間的な余裕がない」が他の年齢層に比べ高い。

単位(%)		きっかけや情報がない	身近に思えない	時間的な余裕がない	交流の意義が不明	その他
全体(n=1023)		39.9	24.5	24.1	13.3	9.9
性別	男性(n=701)	37.8	24.1	23.8	15.7	10.1
	女性(n=318)	45.0	25.8	25.2	7.9	9.4
年齢別	20歳代(n=37)	40.5	24.3	40.5	10.8	2.7
	30歳代(n=75)	30.7	12.0	30.7	13.3	17.3
	40歳代(n=94)	45.7	24.5	25.5	9.6	3.2
	50歳代(n=104)	46.2	19.2	37.5	11.5	5.8
	60歳代(n=374)	41.2	31.0	18.7	14.7	9.4
	70歳以上(n=339)	36.9	21.8	22.4	13.6	12.7

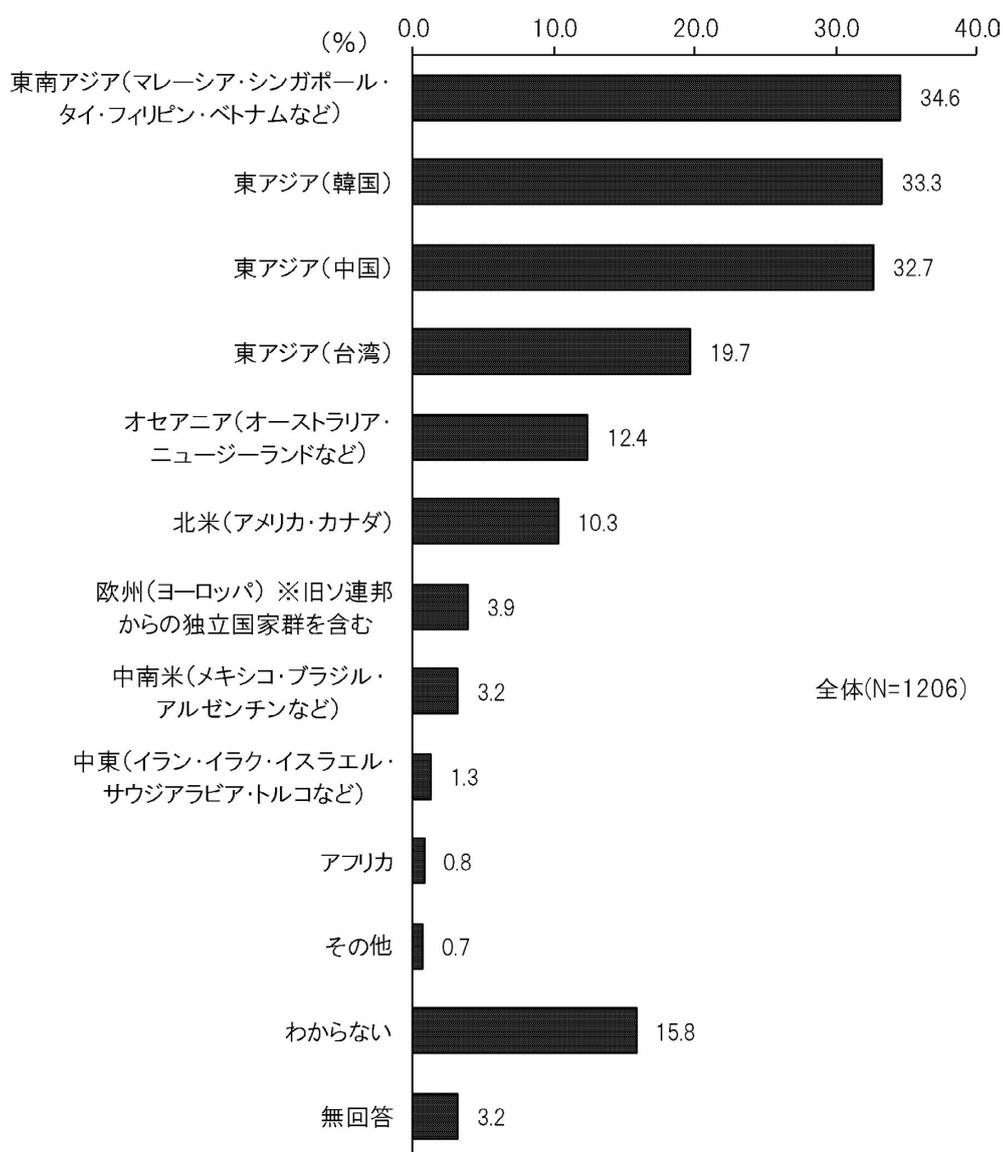
前回調査との比較をみると、今回調査では「きっかけや情報がない」「身近に思えない」「交流の意義が不明」などが低下した。



6. 大分市と関係の深い地域(問9)

問9 大分市にとって関係の深い地域、または将来的に深くなると思われる地域はどこですか？(2箇所以内で回答)

大分市と関係の深い地域、将来的に深くなると思われる地域については、「東アジア(マレーシア・シンガポール・タイ・フィリピン・ベトナムなど)」が34.6%と最も高く、ほぼ並んで「東アジア(韓国)」が33.3%、「東アジア(中国)」が32.7%が続いている。以下「東アジア(台湾)」(19.7%)、「オセアニア(オーストラリア・ニュージーランドなど)」(12.4%)、「北米(アメリカ・カナダ)」(10.3%)の順となっている。



性別では、男性は女性に比べて特に「東南アジア(マレーシア・シンガポール・タイ・フィリピン・ベトナムなど)」が高くなっている。

年齢別では、40歳代で「東アジア(韓国)」、70歳以上で「東アジア(中国)」「東アジア(台湾)」、20歳代で「北米(アメリカ・カナダ)」が他の年齢層に比べそれぞれ高い。

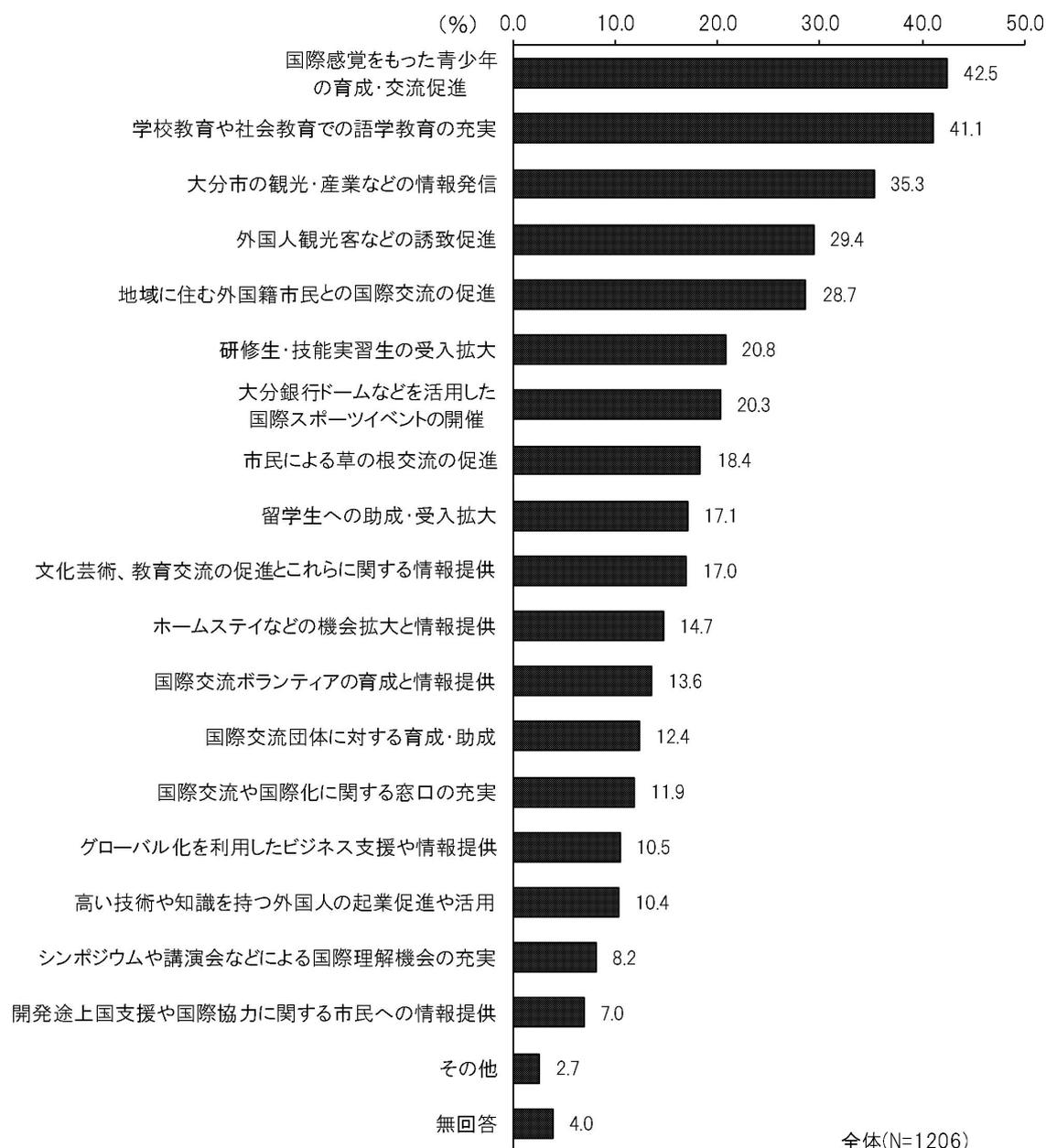
単位(%)		東南アジア(マレーシア・シンガポール・ベトナムなど)	東アジア(韓国)	東アジア(中国)	東アジア(台湾)	オセアニア(オーストラリア・ニュージーランドなど)	北米(アメリカ・カナダ)	含ソ連邦からの独立国家群を	欧州(ヨーロッパ) ※旧	中南米(メキシコ・ブラジル・アルゼンチンなど)	中東(イラン・サウジアラビア・トルコなど)	アフリカ
全体(N=1206)		34.6	33.3	32.7	19.7	12.4	10.3	3.9	3.2	1.3	0.8	
性別	男性(n=803)	39.7	32.4	35.4	21.8	13.9	10.3	4.0	3.6	1.6	0.7	
	女性(n=398)	24.4	35.4	27.6	15.3	9.3	10.3	3.8	2.3	0.8	1.0	
年齢別	20歳代(n=55)	32.7	34.5	25.5	12.7	10.9	18.2	5.5	1.8	1.8	0.0	
	30歳代(n=102)	23.5	30.4	28.4	17.6	5.9	9.8	5.9	2.0	2.0	0.0	
	40歳代(n=120)	25.8	39.2	27.5	20.0	7.5	6.7	5.0	3.3	0.0	0.8	
	50歳代(n=126)	38.1	34.1	27.0	15.1	17.5	3.2	3.2	0.8	2.4	2.4	
	60歳代(n=423)	39.7	31.0	33.1	18.2	13.2	9.5	3.8	4.3	1.2	0.9	
	70歳以上(n=379)	33.8	34.6	38.0	24.5	13.5	13.7	3.2	3.2	1.3	0.5	

単位(%)		その他	わからない
全体(N=1206)		0.7	15.8
性別	男性(n=803)	0.9	10.7
	女性(n=398)	0.5	26.1
年齢別	20歳代(n=55)	0.0	18.2
	30歳代(n=102)	2.0	25.5
	40歳代(n=120)	0.0	25.0
	50歳代(n=126)	0.0	18.3
	60歳代(n=423)	0.7	14.7
	70歳以上(n=379)	1.1	10.6

7. 国際交流・協力で今後、力を入れるべきこと(問10)

問10 国際交流・協力で今後、力を入れるべきことはどれであると考えますか？
(5つ以内で回答)

国際交流・協力で今後、力を入れるべきことについては、「国際感覚をもった青少年の育成・交流促進」が42.5%と最も高く、次いで「学校教育や社会教育での語学教育の充実」(41.1%)、「大分市の観光・産業などの情報発信」(35.3%)、「外国人観光客などの誘致促進」(29.4%)、「地域に住む外国籍市民との国際交流の促進」(28.7%)の順となっている。



性別では、男性は「外国人観光客などの誘致促進」「国際交流団体に対する育成・助成」、女性は「学校教育や社会教育での語学教育の充実」がそれぞれ高くなっている。

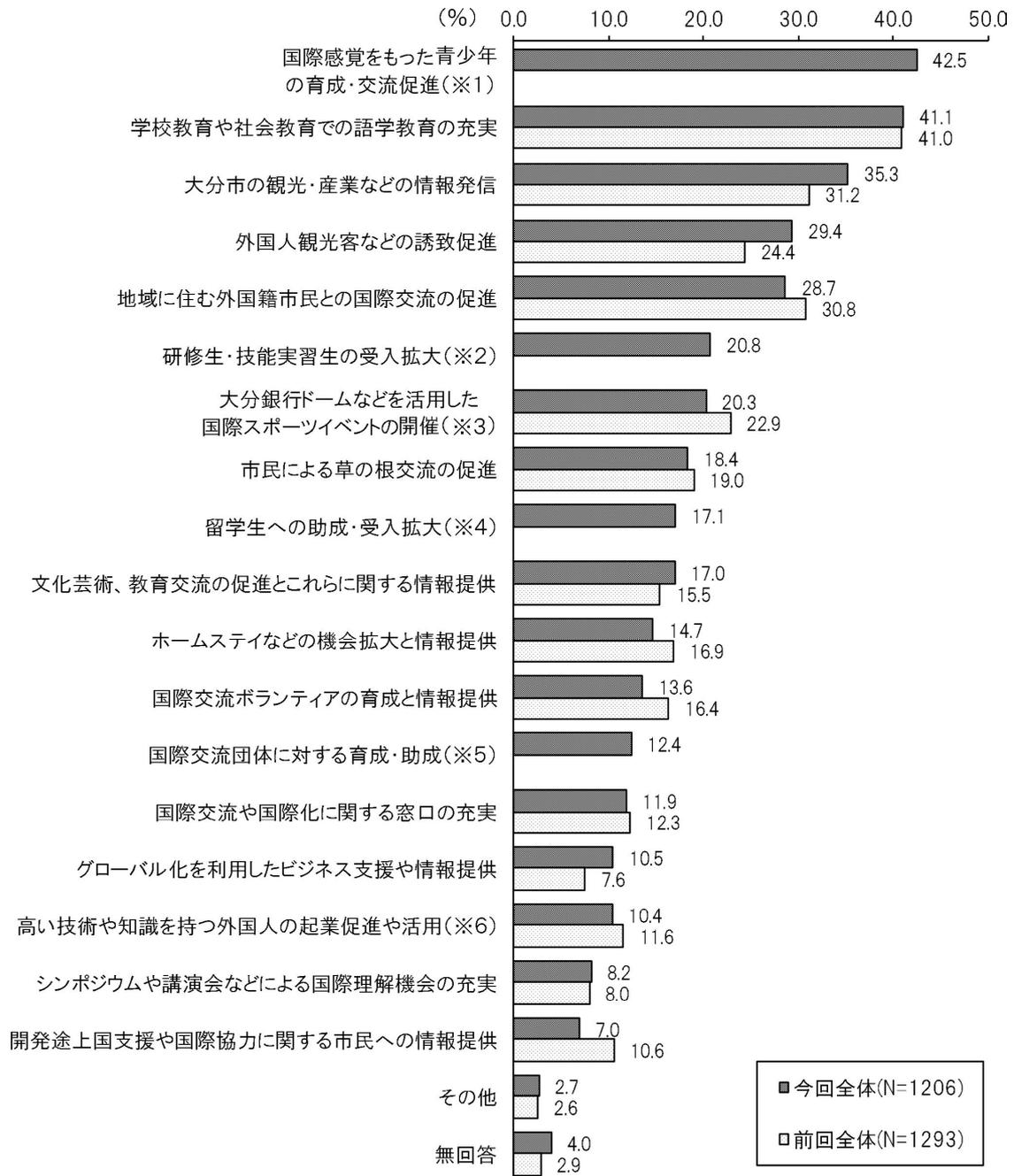
年齢別では、20歳代で「留学生への助成・受入拡大」「ホームステイなどの機会拡大と情報提供」「グローバル化を利用したビジネス支援や情報提供」、30歳代で「高い技術や知識を持つ外国人の起業促進や活用」、50歳代で「文化芸術、教育交流の促進とこれらに関する情報提供」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

単位(%)		年の育感をもった青少年の育成・交流促進	の語学教育や社会教育での充実	ど大分市の観光・産業などの情報発信	致外国人観光客などの誘致	と地域の国際交流の促進	受研修生・技能実習生の受入拡大	イ活用した国際スポーツ大会の開催	の市民による草の根交流の促進	留大生への助成・受入	文化芸術、教育交流の促進とこれらに関する情報提供
全体(N=1206)		42.5	41.1	35.3	29.4	28.7	20.8	20.3	18.4	17.1	17.0
性別	男性(n=803)	44.8	38.2	37.0	33.7	28.1	22.7	20.2	20.0	17.9	17.1
	女性(n=398)	37.9	46.7	32.2	20.6	29.6	17.1	20.4	15.1	15.3	16.8
年齢別	20歳代(n=55)	18.2	43.6	34.5	20.0	25.5	20.0	29.1	14.5	27.3	18.2
	30歳代(n=102)	30.4	41.2	31.4	28.4	26.5	14.7	24.5	6.9	12.7	10.8
	40歳代(n=120)	41.7	36.7	34.2	24.2	29.2	12.5	28.3	11.7	15.8	14.2
	50歳代(n=126)	27.8	41.3	37.3	17.5	30.2	19.8	16.7	22.2	19.0	30.2
	60歳代(n=423)	46.6	43.3	33.8	29.6	30.0	21.3	16.3	20.6	16.3	16.5
	70歳以上(n=379)	50.1	39.8	38.0	36.4	27.7	25.1	21.1	20.6	17.4	15.6

単位(%)		会ホームステイなどの機会拡大と情報提供	の国際交流ボランティアの育成と情報提供	育国際交流団体に対する育成・助成	す国際交流の窓口の充実	提たグローバル化を支援や情報提供	用外国人の起業知識や活用	会などの充実	シンポジウムや講演会	情報提供	開発途上国や市民への国際協力に関する支援	その他
全体(N=1206)		14.7	13.6	12.4	11.9	10.5	10.4	8.2	7.0	2.7		
性別	男性(n=803)	13.9	12.5	15.2	11.0	10.5	10.5	9.5	7.8	2.4		
	女性(n=398)	16.3	15.8	6.8	13.8	10.8	10.1	5.8	5.5	3.3		
年齢別	20歳代(n=55)	30.9	10.9	9.1	10.9	29.1	14.5	7.3	1.8	0.0		
	30歳代(n=102)	15.7	10.8	12.7	11.8	19.6	22.5	1.0	6.9	2.9		
	40歳代(n=120)	11.7	18.3	3.3	13.3	14.2	16.7	5.8	6.7	2.5		
	50歳代(n=126)	15.9	16.7	11.9	15.9	19.8	6.3	8.7	7.9	3.2		
	60歳代(n=423)	14.2	13.5	9.7	10.2	7.6	8.0	8.7	7.1	2.8		
	70歳以上(n=379)	13.2	12.4	19.0	12.4	4.5	8.4	10.3	7.7	2.6		

前回調査との比較をみると、今回調査では「大分市の観光・産業などの情報発信」「外国人観光客などの誘致促進」などが増加し、「地域に住む外国籍市民との国際交流の促進」などがやや低下した。

◆前回調査との比較◆



※1：前回調査では「青少年交流の促進」(29.9%)、「国際感覚をもった青少年の育成」(25.3%)
 ※2、4：前回調査では「留学生、研修生の受入拡大」(20.7%)、「留学生、研修生への助成」(11.5%)
 ※3：前回調査では「九州石油ドームなどを活用した国際スポーツイベントの開催」
 ※5：前回調査では「国際交流団体の育成」(14.8%)、「国際交流に対する助成」(11.9%)
 ※6：前回調査では「高い技術や知識を持つ留学生などの企業促進や活用」
 注：今回調査には「国際交流を行う施設の整備」(前回調査：12.8%)の選択肢が無い

3 外国籍市民との共生について

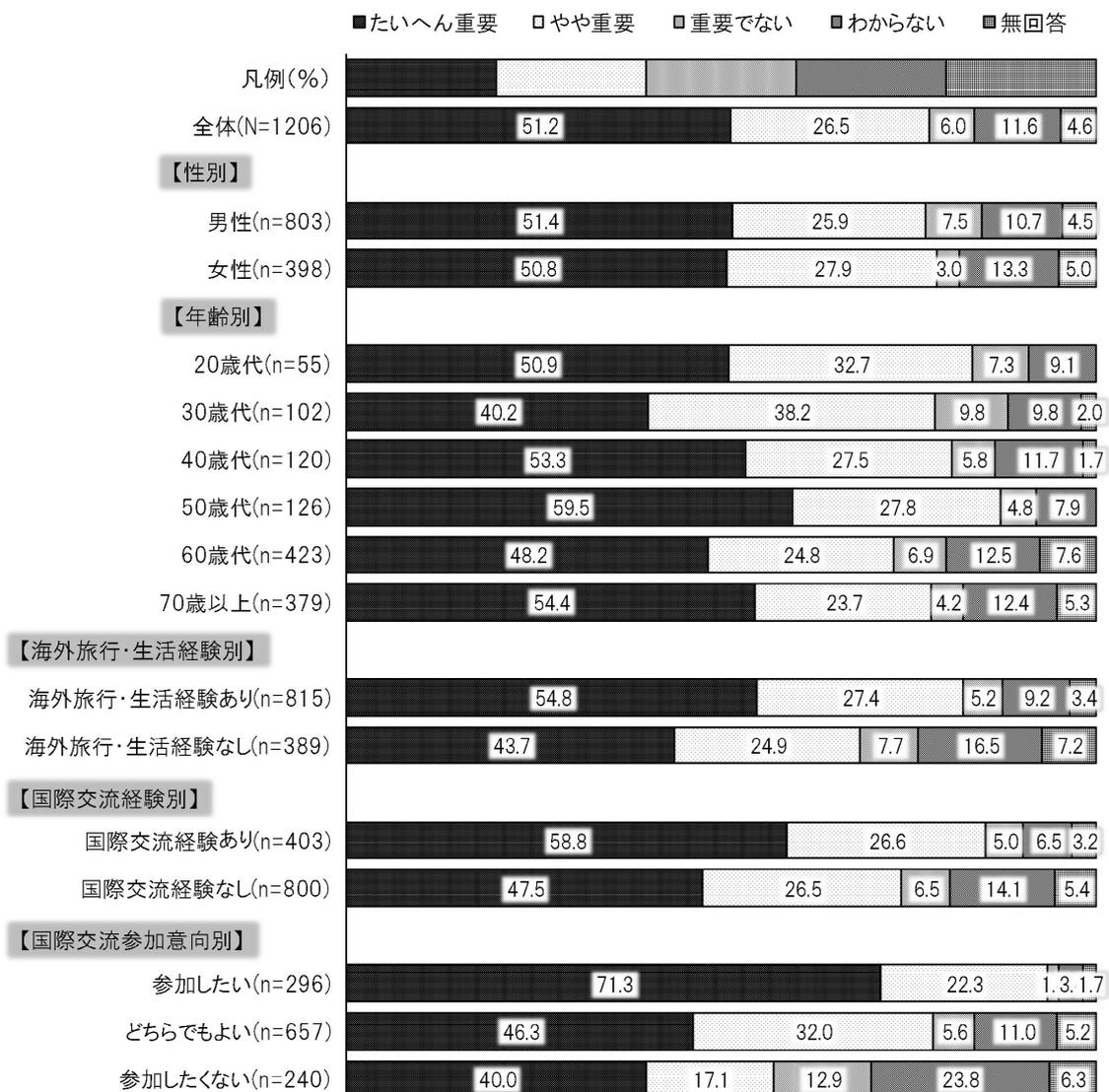
1. 地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりについて(問11)

問11 国籍などに関係なく地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりをどのように思いますか？

地域住民が暮らしやすいと思える都市づくりについては、「たいへん重要」が過半数(51.2%)を占め最も高く、「やや重要」(26.5%)を合わせると合計8割近く(77.7%)が『重要』という意識を示している。

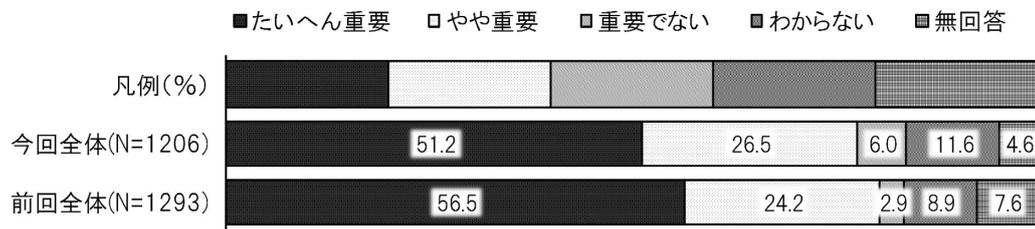
性別では大きな差は目立たないが、年齢別では、ほぼすべての年齢層において『重要』の占める割合が高く、特に50歳代で「たいへん重要」が6割近くを占め、他の年齢層を上回っている。

海外旅行・生活経験がある層、国際交流経験がある層、外国人との交流・国際交流・国際協力への参加意向がある層ほど「たいへん重要」が高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「たいへん重要」が低下した。

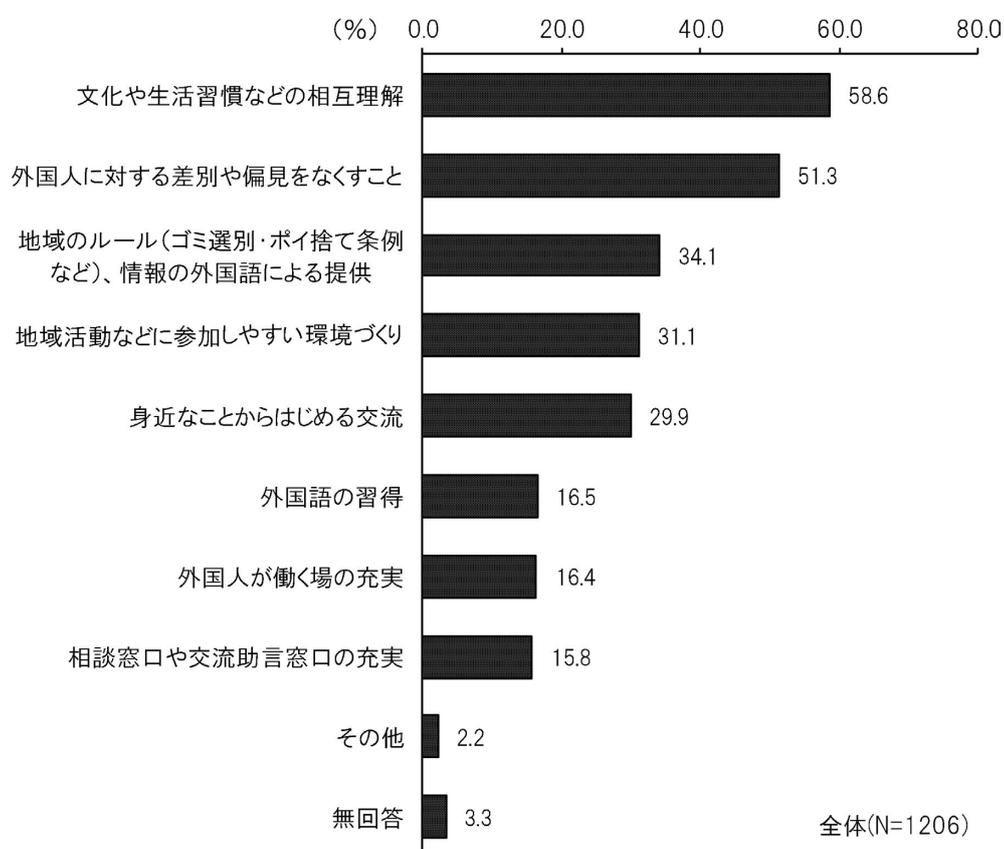
◆前回調査との比較◆



2. 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりに必要と思うこと(問12)

問12 外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりをするうえで必要と思われることは何ですか？(3つ以内で回答)

外国籍市民とともに暮らしやすい地域づくりに必要と思うことについては、「文化や生活習慣などの相互理解」が58.6%と最も高く、次いで「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」(51.3%)、「地域のルール(ゴミ選別・ポイ捨て条例)など、情報の外国語による提供」(34.1%)、「地域活動などに参加しやすい環境づくり」(31.1%)、「身近なことからはじめる交流」(29.9%)の順となっている。



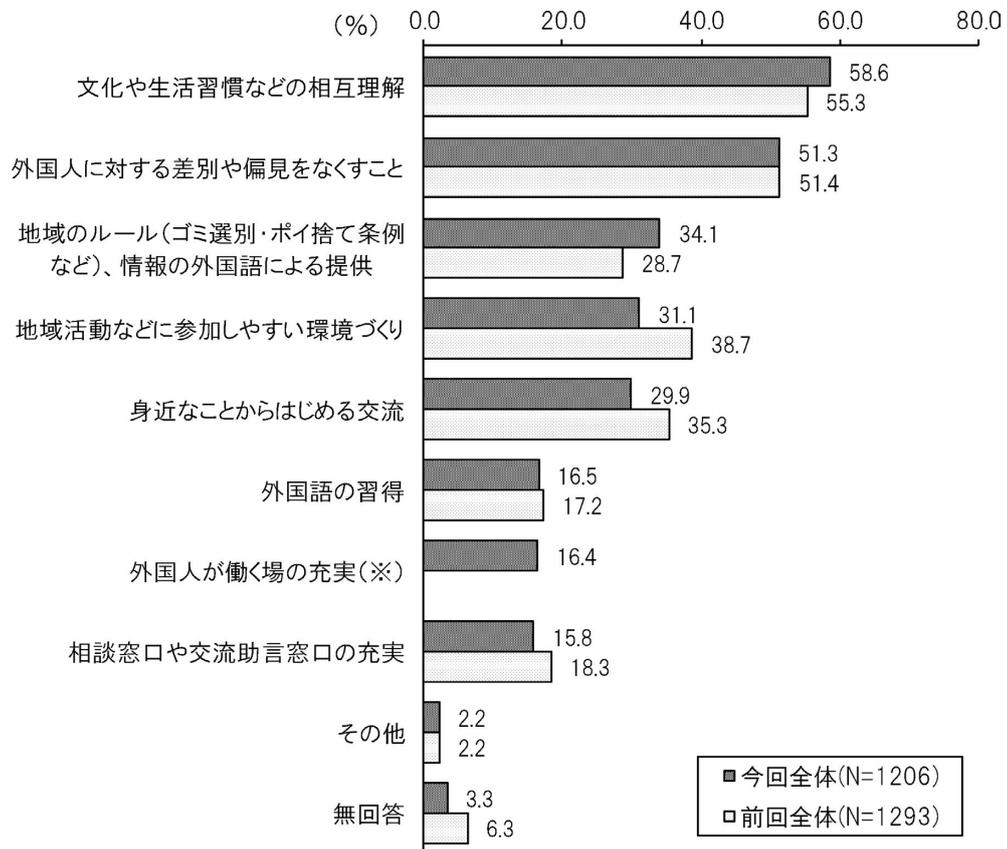
性別では、男性は「地域活動などに参加しやすい環境づくり」、女性は「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、30歳代で「地域のルール(ゴミ選別・ポイ捨て条例など)、情報の外国語による提供」、50歳代で「外国人に対する差別や偏見をなくすこと」などが他の年齢層に比べて高くなっている。

単位(%)		理解文化や生活習慣などの相互	外国人に対する差別や偏見をなくすこと	地域のルール(ゴミ選別・ポイ捨て条例など)による提供	地域活動などに参加しやすい環境づくり	身近なことから始める交流	外国語の習得	外国人が働く場の充実	相談窓口や交流助言窓口の充実	その他
全体(N=1206)		58.6	51.3	34.1	31.1	29.9	16.5	16.4	15.8	2.2
性別	男性(n=803)	58.2	48.4	32.3	35.1	30.3	16.8	17.4	14.4	2.5
	女性(n=398)	60.1	57.0	37.7	23.1	29.1	15.8	14.1	18.3	1.5
年齢別	20歳代(n=55)	69.1	47.3	36.4	25.5	21.8	16.4	29.1	18.2	0.0
	30歳代(n=102)	60.8	49.0	51.0	11.8	23.5	14.7	19.6	21.6	2.9
	40歳代(n=120)	65.8	42.5	41.7	25.8	23.3	16.7	20.8	21.7	1.7
	50歳代(n=126)	61.1	61.9	33.3	22.2	31.7	13.5	11.1	24.6	4.0
	60歳代(n=423)	57.2	47.0	31.7	35.0	31.0	17.0	15.4	11.8	1.9
	70歳以上(n=379)	54.9	56.7	29.8	37.5	33.2	17.2	15.3	13.2	2.1

前回調査との比較をみると、今回調査では「文化や生活習慣などの相互理解」「地域のルール（ゴミ選別・ポイ捨て条例など）、情報の外国語による提供」がやや増加し、「地域活動などに参加しやすい環境づくり」「身近なことからはじめる交流」が低下した。

◆前回調査との比較◆

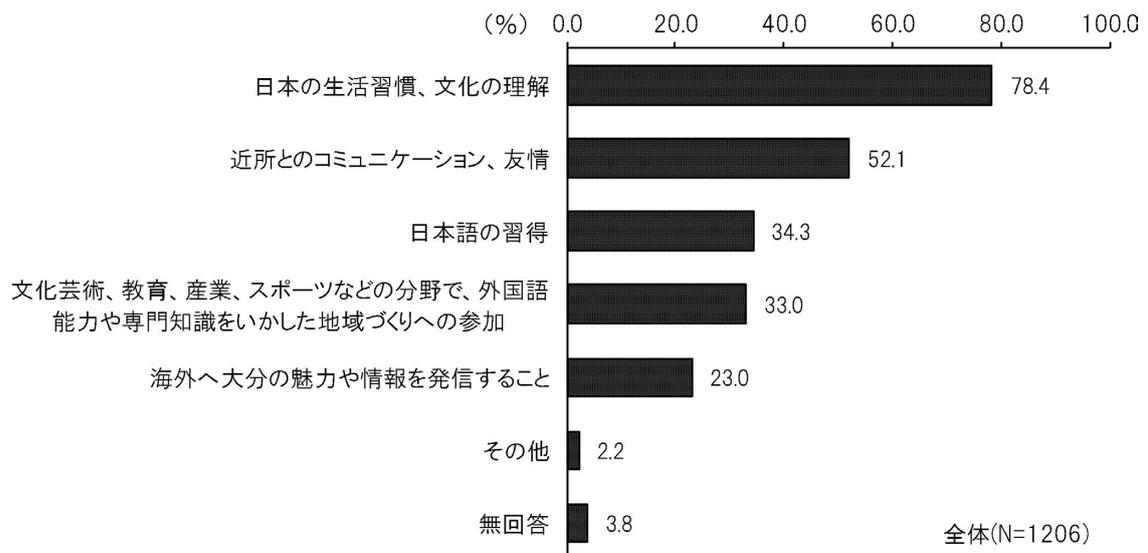


※前回調査では選択肢に無い

3. 外国籍市民に望むことや期待すること(問13)

問13 外国籍市民に望むことや期待することは何ですか？(3つ以内で回答)

外国籍市民に望むことや期待することについては、「日本の生活習慣、文化の理解」が78.4%と最も高く、次いで「近所とのコミュニケーション、友情」(52.1%)、「日本語の習得」(34.3%)「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」(33.0%)の順となっている。



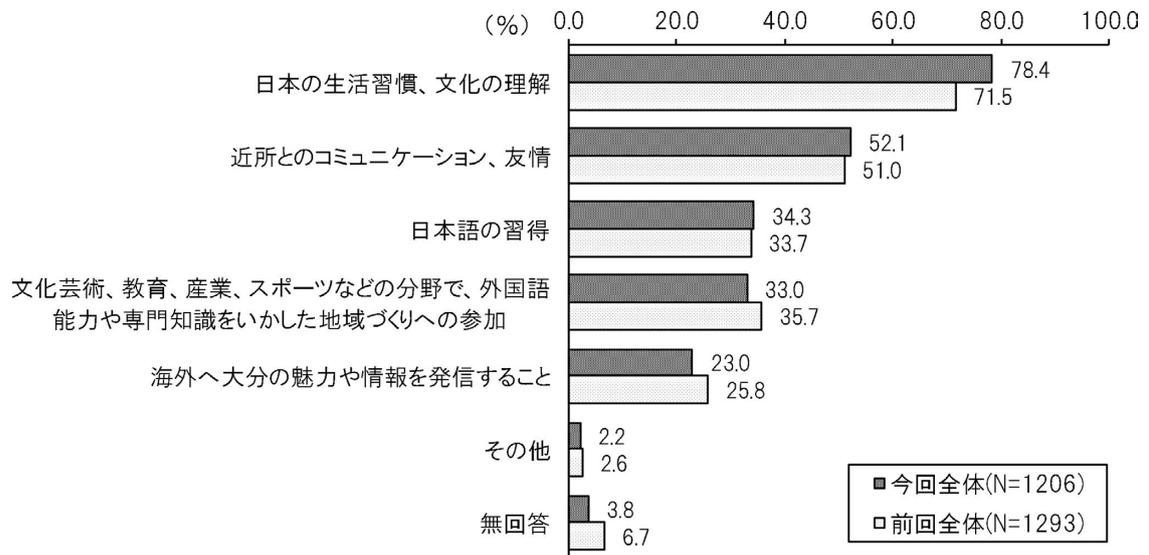
性別では、男性は女性に比べて「近所とのコミュニケーション、友情」「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」がやや高くなっている。

年齢別では、20歳代で「海外へ大分の魅力や情報を発信すること」、50歳代で「日本の生活習慣、文化の理解」、70歳代で「文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加」が他の年齢層に比べてそれぞれやや高い。

単位(%)		日本の生活習慣、文化の理解	近所とのコミュニケーション、友情	日本語の習得	文化芸術、教育、産業、スポーツなどの分野で、外国語能力や専門知識をいかした地域づくりへの参加	海外へ大分の魅力や情報を発信すること	その他
全体(N=1206)		78.4	52.1	34.3	33.0	23.0	2.2
性別	男性(n=803)	78.2	53.4	34.9	34.1	23.4	2.0
	女性(n=398)	78.9	48.7	33.2	30.7	22.1	2.5
年齢別	20歳代(n=55)	78.2	38.2	25.5	30.9	32.7	1.8
	30歳代(n=102)	68.6	47.1	34.3	27.5	17.6	4.9
	40歳代(n=120)	75.8	48.3	30.8	36.7	22.5	1.7
	50歳代(n=126)	84.1	54.0	38.1	33.3	20.6	4.0
	60歳代(n=423)	77.8	52.0	35.5	29.1	20.3	1.9
	70歳以上(n=379)	80.7	55.9	34.0	38.0	26.9	1.3

前回調査との比較では、今回調査では「日本の生活習慣、文化の理解」が増加した。

◆前回調査との比較◆

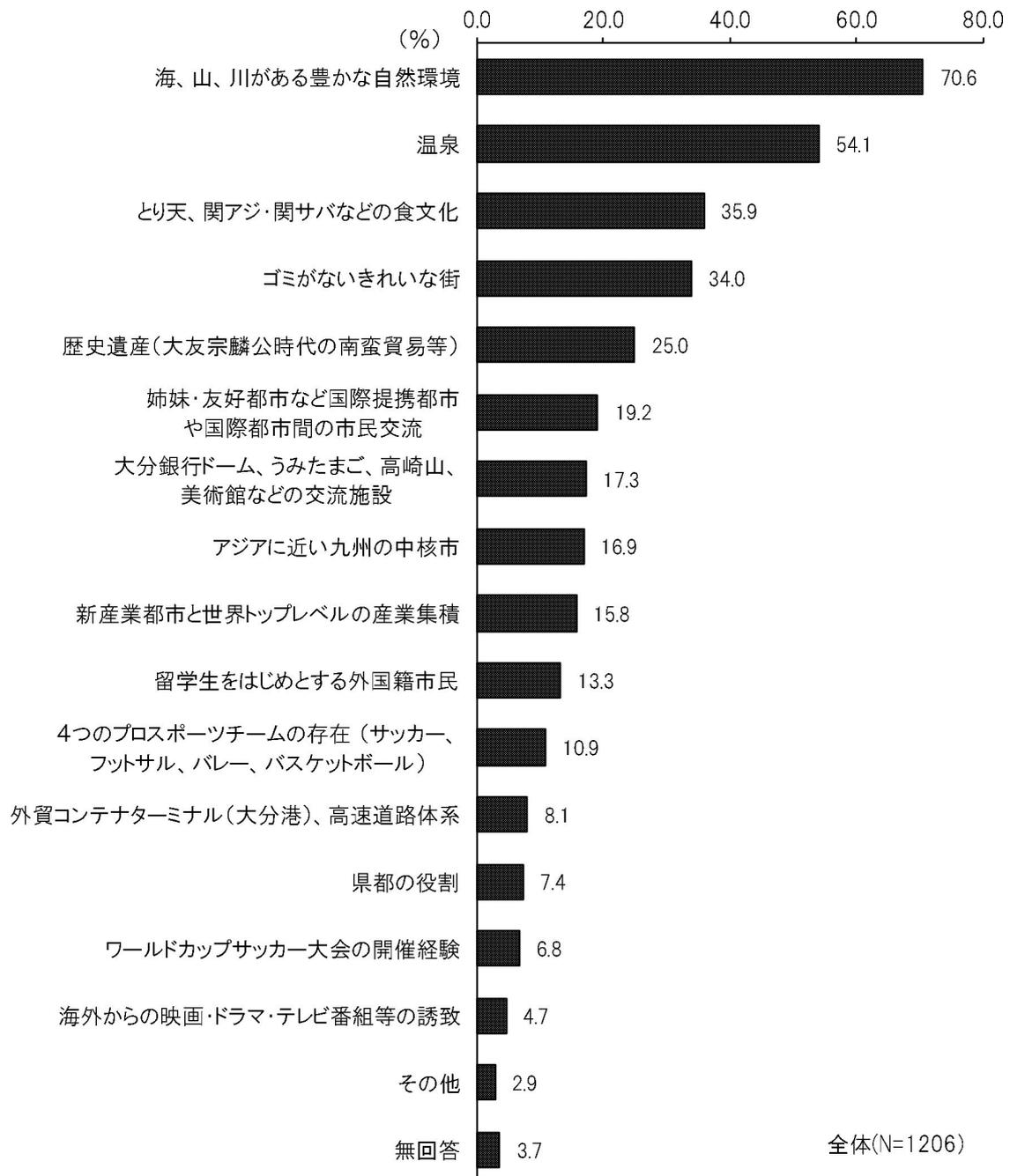


4 その他について

1. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと(問14)

問14 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことは何ですか？(複数回答可)

国際化計画をつくる際に大切にしたい大分市固有の特色や特徴については、「海、山、川がある豊かな自然環境」が70.6%と最も高く、次いで「温泉」(54.1%)、「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」(35.9%)、「ゴミがないきれいな街」(34.0%)の順となっている。



性別では、男性は「アジアに近い九州の中核市」「新産業都市と世界トップレベルの産業集積」、女性は「温泉」「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」がそれぞれ高くなっている。

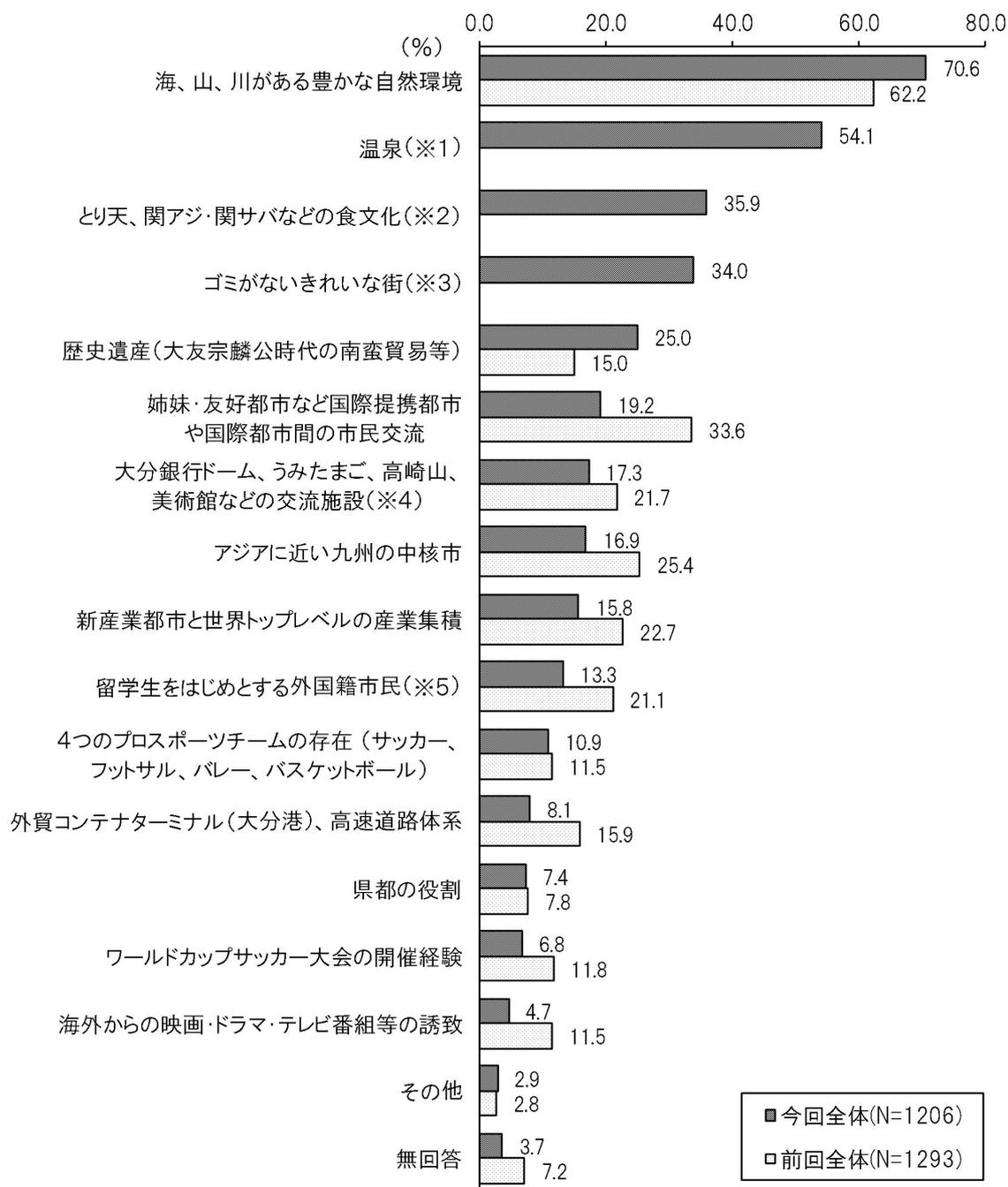
年齢別では、年齢が若い層ほど「温泉」「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」が高く、年齢が上がるほど「ゴミがないきれいな街」「歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)」「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」が高くなる傾向にある。

単位(%)		海、山、川がある豊かな自然環境	温泉	とり天、関アジ・関サバなどの食文化	ゴミがないきれいな街	歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)	姉妹・友好都市や国際都市間の市民交流	まごの交流施設、美術館など	大分銀行ドーム、美術館など	アジアに近い九州の中核市
全体(N=1206)		70.6	54.1	35.9	34.0	25.0	19.2	17.3	16.9	
性別	男性(n=803)	68.9	47.7	31.8	33.0	26.2	21.0	16.1	19.4	
	女性(n=398)	74.1	67.1	44.0	35.9	22.4	15.3	19.8	11.8	
年齢別	20歳代(n=55)	67.3	83.6	67.3	21.8	10.9	9.1	23.6	7.3	
	30歳代(n=102)	65.7	78.4	58.8	16.7	12.7	6.9	26.5	9.8	
	40歳代(n=120)	71.7	65.8	59.2	25.0	20.0	12.5	19.2	10.8	
	50歳代(n=126)	77.0	69.0	46.0	36.5	28.6	17.5	13.5	15.9	
	60歳代(n=423)	72.8	47.5	29.1	36.6	26.0	18.9	12.3	18.2	
	70歳以上(n=379)	67.5	42.0	22.2	39.6	29.6	27.2	20.3	21.1	

単位(%)		新産業都市と世界トップレベルの産業集積	留学生をはじめとする外国籍市民	4つの存在(スポーツ、ホール、パビリオン、バスケットボール、サッカー、バレーボール)	外貿コンテナターミナル系(大分港)、高速道路ナ体	県都の役割	ワールドカップサッカー大会の開催経験	海外からの映画・番組等の誘致	その他
全体(N=1206)		15.8	13.3	10.9	8.1	7.4	6.8	4.7	2.9
性別	男性(n=803)	19.3	12.8	10.8	9.0	7.7	6.5	4.5	3.0
	女性(n=398)	8.8	13.8	11.1	6.5	6.8	7.3	5.3	2.8
年齢別	20歳代(n=55)	3.6	14.5	20.0	3.6	3.6	12.7	7.3	1.8
	30歳代(n=102)	7.8	8.8	11.8	2.9	2.0	9.8	9.8	2.9
	40歳代(n=120)	8.3	12.5	21.7	11.7	5.0	10.8	7.5	3.3
	50歳代(n=126)	13.5	11.9	11.9	11.9	3.2	4.8	4.8	3.2
	60歳代(n=423)	17.3	12.5	7.1	6.6	8.0	5.0	3.8	2.8
	70歳以上(n=379)	21.4	15.8	9.8	9.5	10.8	6.6	3.2	2.9

前回調査との比較をみると、今回調査では「海、山、川がある豊かな自然環境」「歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)」が増加し、「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」「アジアに近い九州の中核市」「新産業都市と世界トップレベルの産業集積」「留学生をはじめとする外国籍市民」などが低下した。

◆前回調査との比較◆



※1～3: 前回調査では選択肢に無い

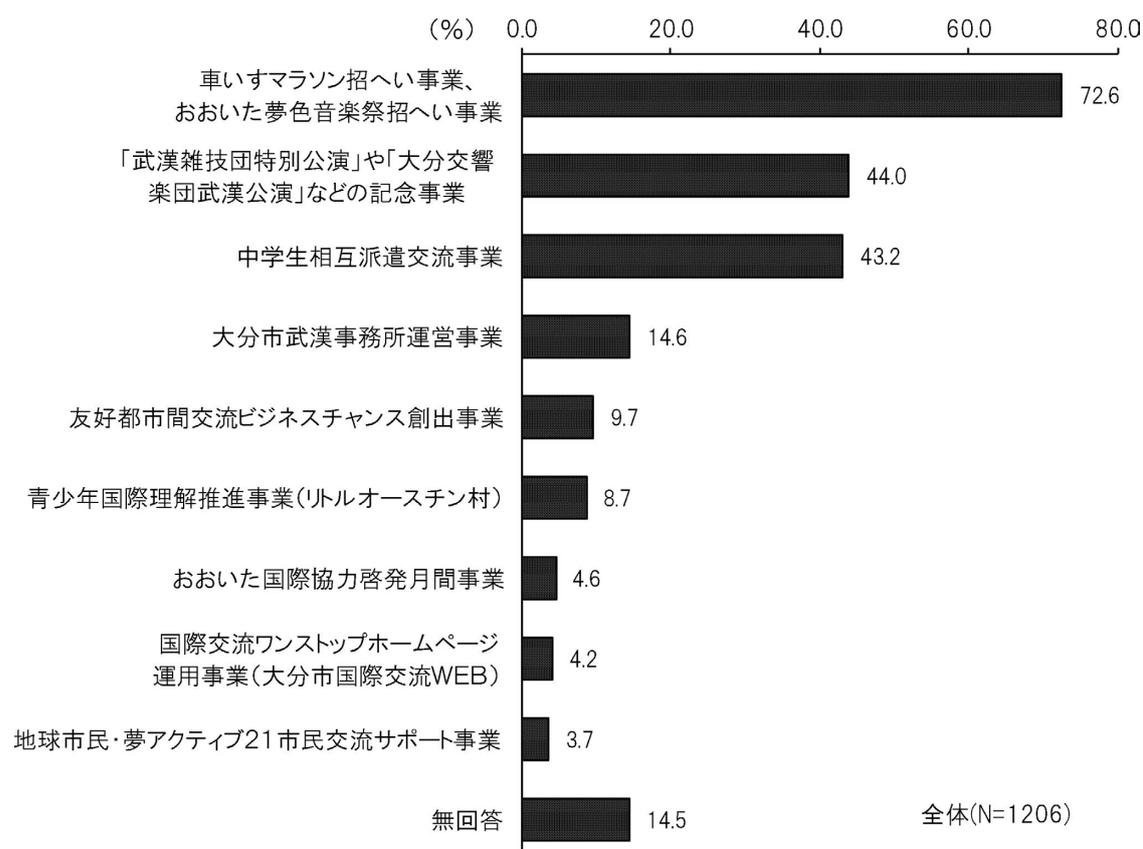
※4: 前回調査では「九州石油ドーム、うみたまご、高崎山などの交流施設」

※5: 前回調査では「増加する留学生をはじめとする外国籍市民」

2. 現在、実施している事業について(問15)

問15 次の事業で、知っている事業がありますか？(複数回答可)

現在、実施している事業については、「車いすマラソン招へい事業、おおいた夢色音楽祭招へい事業」が72.6%と突出して最も高く、次いで「『武漢雑技団特別公演』や『大分交響楽団武漢公演』などの記念事業」(44.0%)、「中学生相互派遣交流事業」(43.2%)の順となっており、このほかの事業の認知は相対的に低い。



性別では、男性は女性に比べて特に『武漢雑技団特別公演』や『大分交響楽団武漢公演』などの記念事業」「大分市武漢事務所運営事業」が高くなっている。

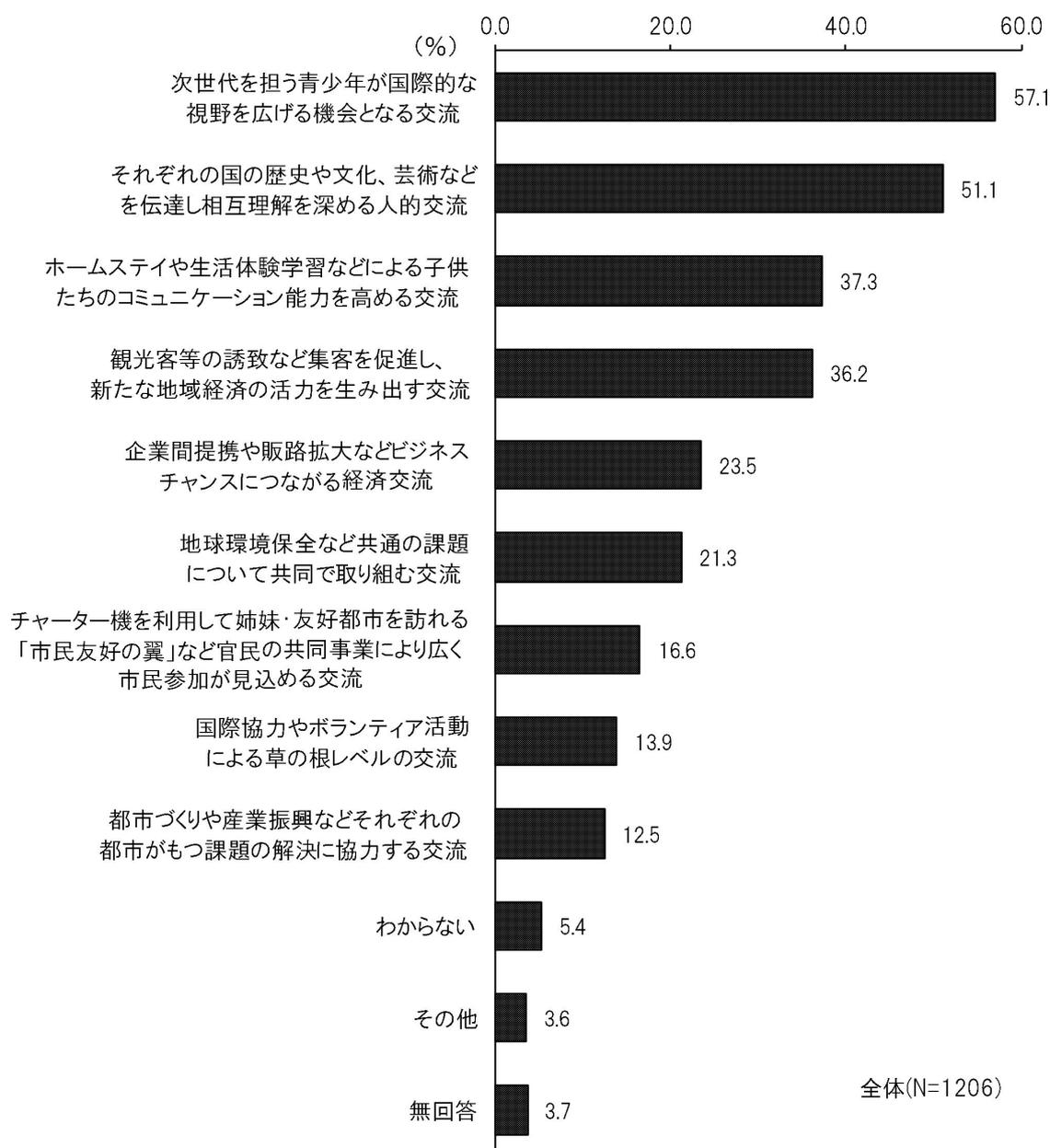
年齢別では、70歳以上で特に『武漢雑技団特別公演』や『大分交響楽団武漢公演』などの記念事業」「中学生相互派遣交流事業」が他の年齢層に比べて高い。

単位(%)		へい事業	車いすマラソン色音楽祭招	なごの記念事業	「武漢雑技団特別公演」や	中学生相互派遣交流事業	大分市武漢事務所運営事業	手好都市間交流ビジネス	青少年国際理解推進事業(リトルオーステン村)	事業	おいた国際協力啓発月間	国際交流ワンストップホ	1地球市民・夢サポート事業
全体(N=1206)		72.6	44.0	43.2	14.6	9.7	8.7	4.6	4.2	3.7			
性別	男性(n=803)	72.4	49.1	45.0	17.7	11.8	9.2	4.1	4.0	3.9			
	女性(n=398)	73.1	33.9	40.2	8.5	5.5	7.8	5.5	4.8	3.5			
年齢別	20歳代(n=55)	56.4	9.1	16.4	5.5	1.8	5.5	1.8	1.8	1.8			
	30歳代(n=102)	64.7	17.6	33.3	2.9	2.0	8.8	2.9	2.9	1.0			
	40歳代(n=120)	71.7	27.5	33.3	9.2	4.2	10.0	2.5	5.0	2.5			
	50歳代(n=126)	71.4	34.9	35.7	7.1	6.3	8.7	7.1	7.1	6.3			
	60歳代(n=423)	72.1	48.7	44.7	18.4	11.6	6.1	4.3	3.3	4.0			
	70歳以上(n=379)	78.1	59.1	53.8	19.0	13.7	11.6	5.5	4.7	4.0			

3. 姉妹・友好都市との交流において、望ましいこと(問17)

問17 姉妹・友好都市との交流において、どのようなものが望ましいと考えますか？
(複数回答可)

姉妹・友好都市との交流において、望ましいことについては、「次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流」が57.1%と最も高く、次いで「それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流」(51.1%)、「ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流」(37.3%)、「観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流」(36.2%)の順となっている。



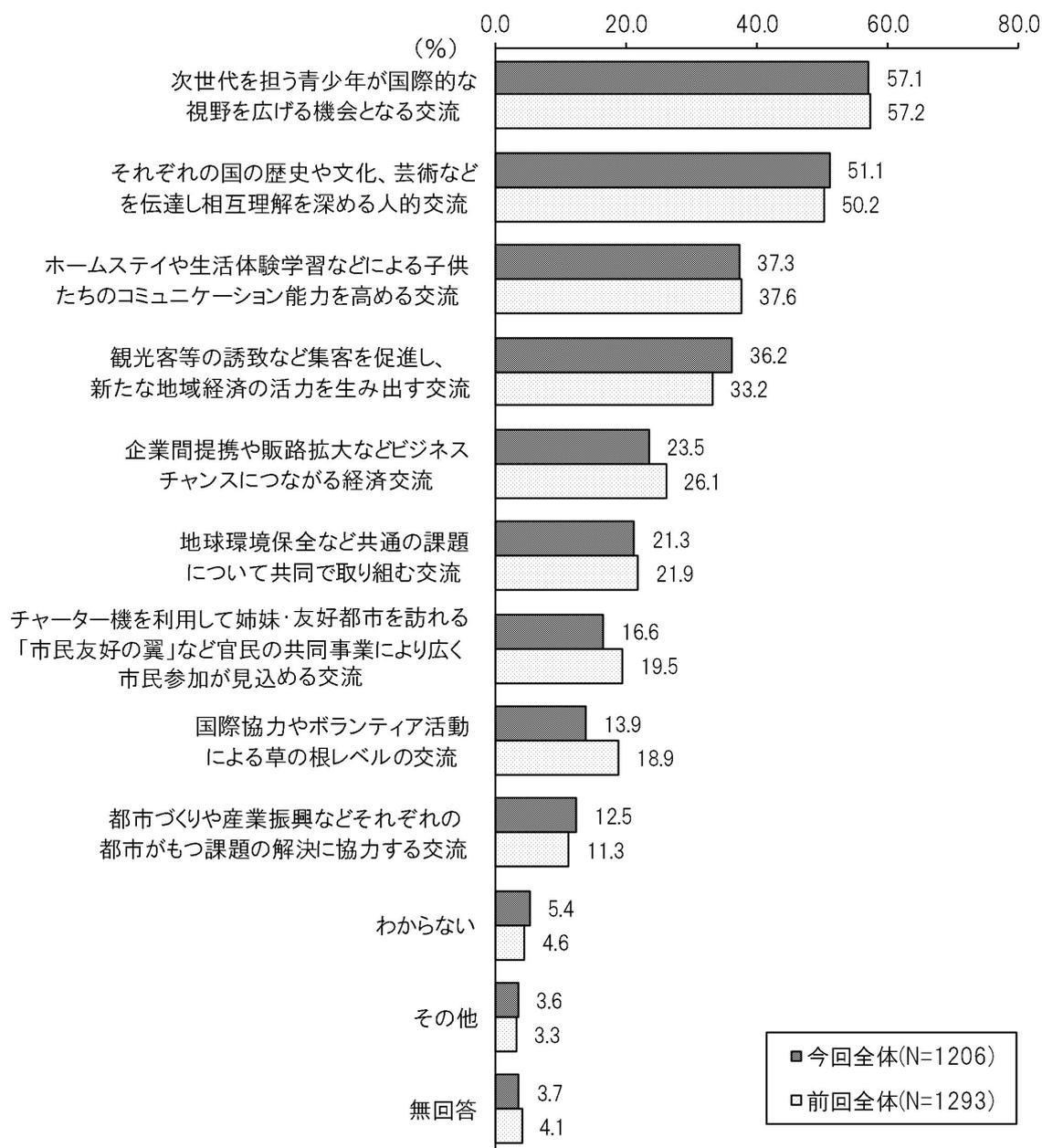
性別では、男性は「観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流」、女性は「ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、20歳代で「それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流」「ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流」、70歳以上で「観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流」などが他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

単位(%)		次世代を担う青少年が国際的な視野を広げる機会となる交流	それぞれの国の歴史や文化、芸術などを伝達し相互理解を深める人的交流	ホームステイや生活体験学習などによる子供たちのコミュニケーション能力を高める交流	観光客等の誘致など集客を促進し、新たな地域経済の活力を生み出す交流	企業間提携や販路拡大などビジネスチャンスにつながる経済交流	地球環境保全など共通の課題について共同で取り組む交流	訪れる「市民友好の翼」など官民の共同事業により広く市民参加が見込める交流	チャーター機を利用して姉妹・友好都市を訪問する「市民友好の翼」など官民の共同事業により広く市民参加が見込める交流	国際協力やボランティア活動による草の根レベルの交流	都市づくりや産業振興などそれぞれの都市がもつ課題の解決に協力する交流	わからない	その他
	全体(N=1206)	57.1	51.1	37.3	36.2	23.5	21.3	16.6	13.9	12.5	5.4	3.6	
性別	男性(n=803)	56.4	50.7	34.4	39.1	22.7	22.5	17.9	14.7	13.9	4.7	4.1	
	女性(n=398)	58.8	52.0	43.2	30.4	24.9	18.8	14.1	12.6	9.8	6.8	2.5	
年齢別	20歳代(n=55)	36.4	60.0	50.9	32.7	29.1	18.2	10.9	12.7	10.9	3.6	3.6	
	30歳代(n=102)	53.9	51.0	46.1	35.3	36.3	9.8	9.8	8.8	5.9	3.9	4.9	
	40歳代(n=120)	57.5	53.3	37.5	34.2	25.0	15.0	17.5	16.7	9.2	5.0	2.5	
	50歳代(n=126)	54.0	55.6	40.5	25.4	19.8	22.2	12.7	20.6	19.0	9.5	4.0	
	60歳代(n=423)	56.7	50.1	34.0	33.3	22.0	22.7	15.6	13.5	13.5	6.6	3.3	
	70歳以上(n=379)	62.5	48.8	35.6	44.1	21.4	25.1	21.4	12.9	12.4	3.4	3.7	

前回調査との比較をみると、今回調査では「国際協力ボランティア活動による草の根レベルの交流」などがやや低下しているものの、大きな差は目立たない。

◆前回調査との比較◆



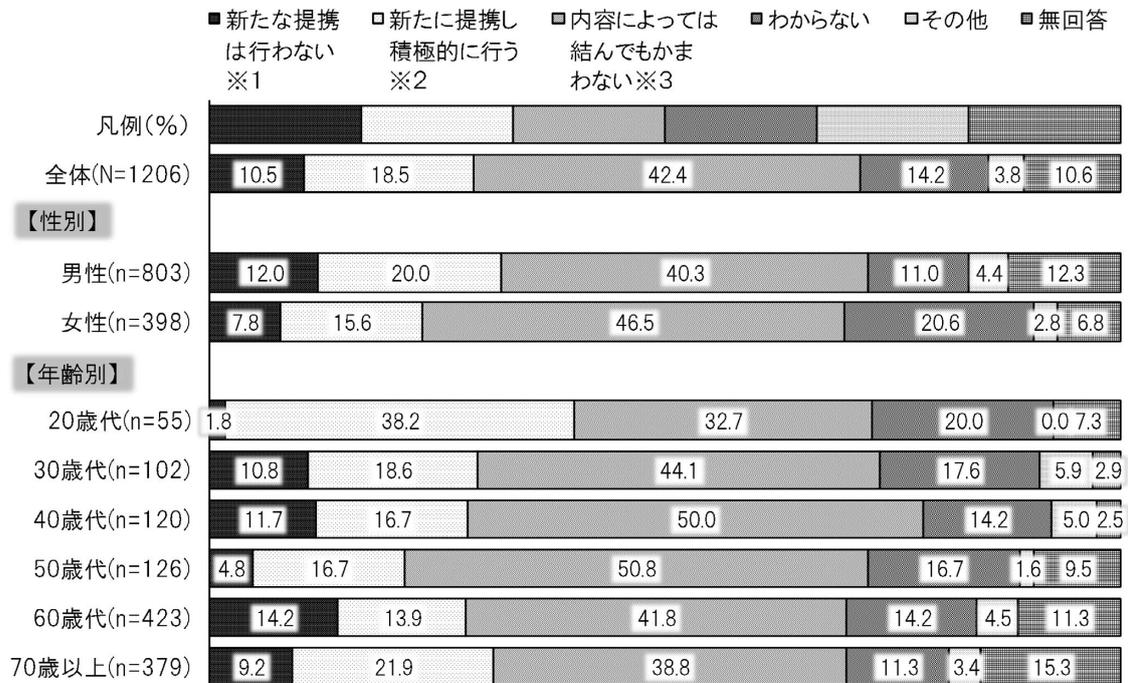
4. 新たな都市間提携について(問18)

問18 新たな都市間提携について、どのような方向性が望ましいと思われますか？

新たな都市間提携については、「内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない」が42.4%と最も高く、次いで「新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う」(18.5%)の順となっている。

性別では、男性は「新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う」、女性は「内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない」及び「わからない」がそれぞれ高くなっている。

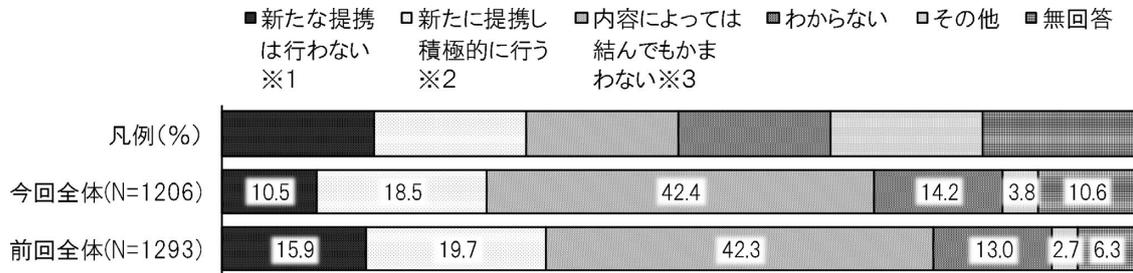
年齢別では、20歳代で「新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う」が他の年齢層に比べて高く、40～50歳代では「内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない」が過半数を占めている。



※1：既存の姉妹・友好都市との市民交流の促進に重点を置き、新たな姉妹・友好都市の提携は行わない
 ※2：新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う
 ※3：内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない

前回調査との比較をみると、今回調査では「既存の姉妹・友好都市との市民交流の促進に重点を置き、新たな姉妹・友好都市の提携は行わない」が低下した。

◆前回調査との比較◆



※1：既存の姉妹・友好都市との市民交流の促進に重点を置き、新たな姉妹・友好都市の提携は行わない

※2：新たに姉妹・友好都市提携を結び積極的に交流を行う

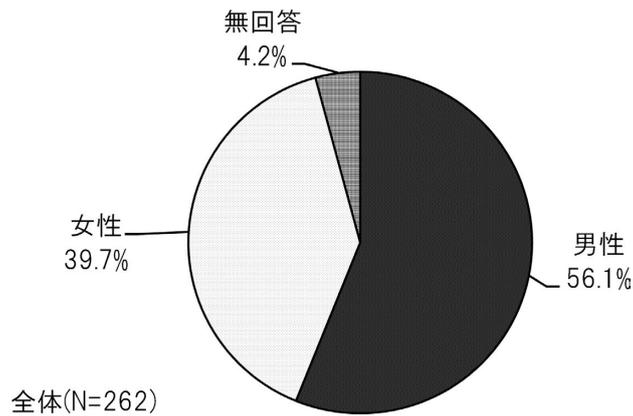
※3：内容によっては、新たに姉妹・友好都市提携を結んでもかまわない

Ⅲ 留学生調査結果

1 回答者の属性

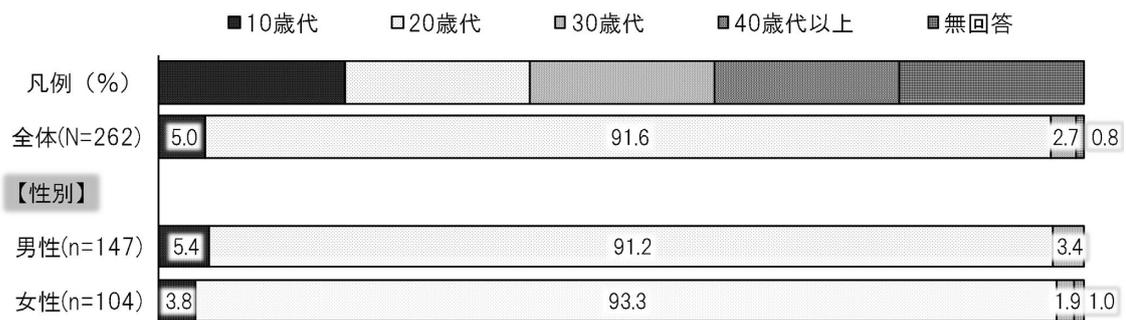
1. 性別構成比(問1)

対象者の性別構成比は、男性が56.1%、女性が39.7%となっている。



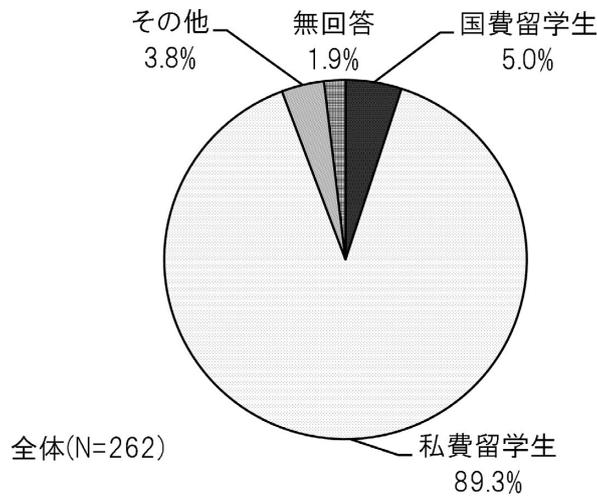
2. 年齢別構成比(問2)

対象者の年齢別構成比は、「20歳代」の割合が9割以上(91.6%)と大半を占めており、性別でみても大きな差は目立たない。



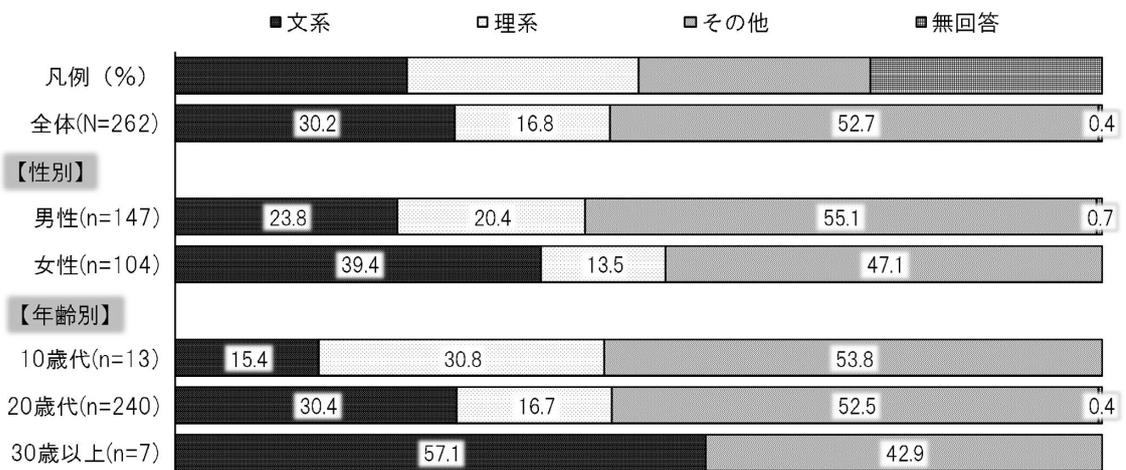
3. 留学生の種類(問3)

種類については、「私費留学生」が9割近く(89.3%)と大半を占めている。



4. 専攻(問4)

専攻については、「その他」が過半数(52.7%)を占め最も高く、次いで「文系」(30.2%)、「理系」(16.8%)の順となっている。

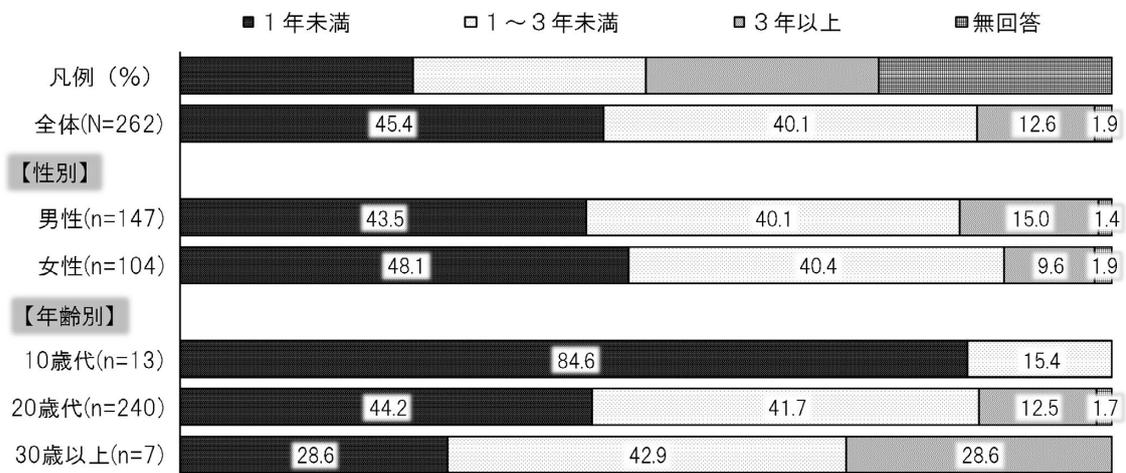


注：年齢別の「30歳以上」は該当数(n)が少ないため、参考値として参照。以下同様。

5. 居住年数(問5)

居住年数については、「1年未満」が45.4%と最も高く、次いで「1～3年未満」が40.1%で続いている。「3年以上」は12.6%となっている。

年齢別では、10歳代で「1年未満」が大半を占めている。



2 国際交流の実態や意識について

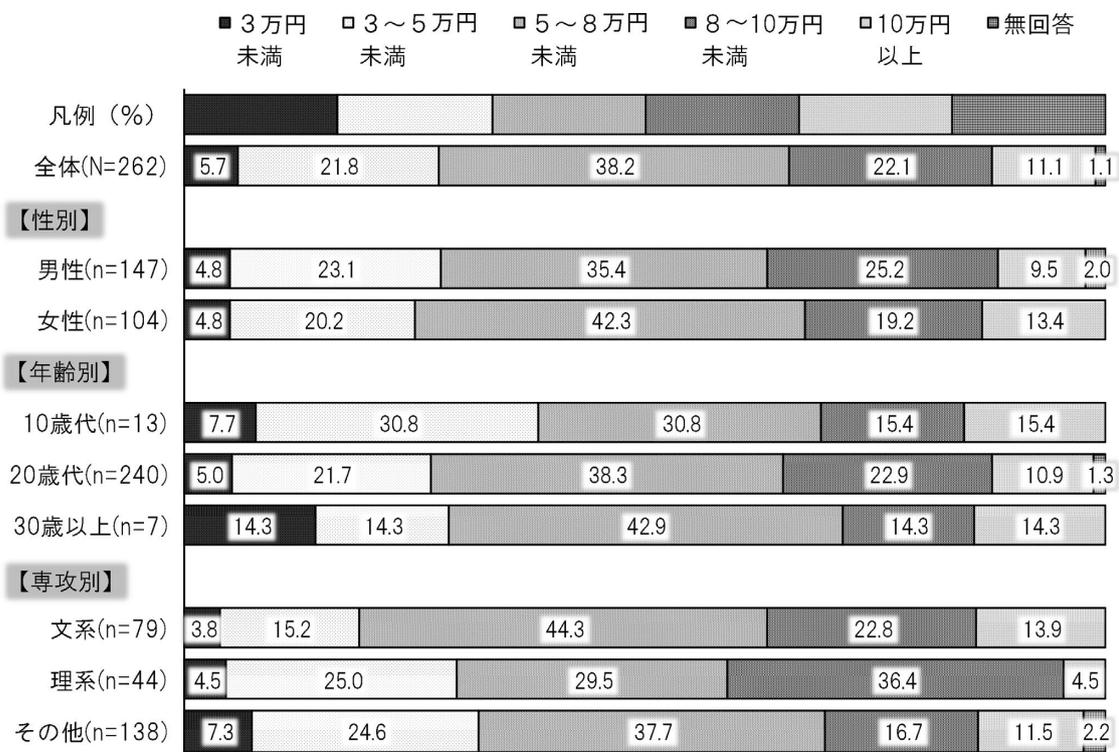
1. 1カ月の生活費(問6)

問6 授業料をのぞいて、1カ月に生活費としてどのくらい支払っていますか？

1カ月の生活費については、「5～8万円未満」が38.2%と最も高く、次いで「8～10万円未満」(22.1%)「3～5万円未満」(21.8%)の順となっている。

性別では、男性は「8～10万円未満」、女性は「5～8万円未満」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では10歳代で「3～5万円未満」、専攻別では「理系」で「8～10万円未満」がそれぞれ高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「8～10万円未満」が増加し、「3～5万円未満」が低下した。

◆前回調査との比較◆



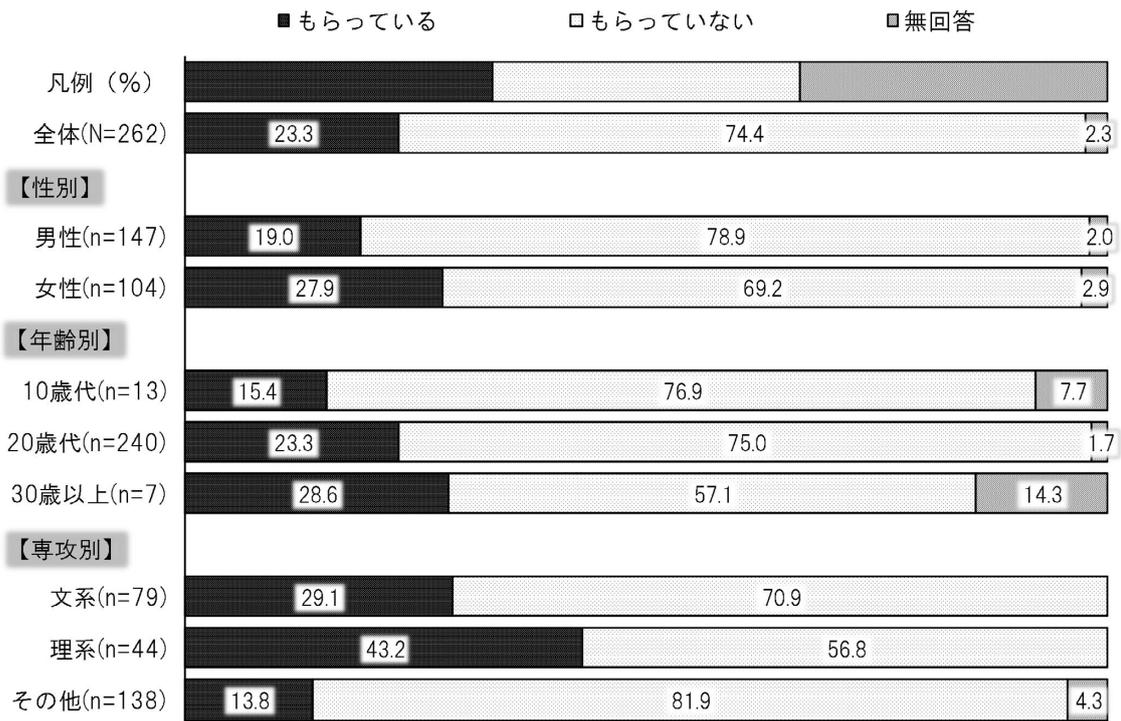
2. 奨学金や住宅助成金の受給状況(問7)

問7 奨学金や住宅助成金などをもらっていますか？

奨学金や住宅助成金の受給状況については、約2割(23.3%)が受給している。

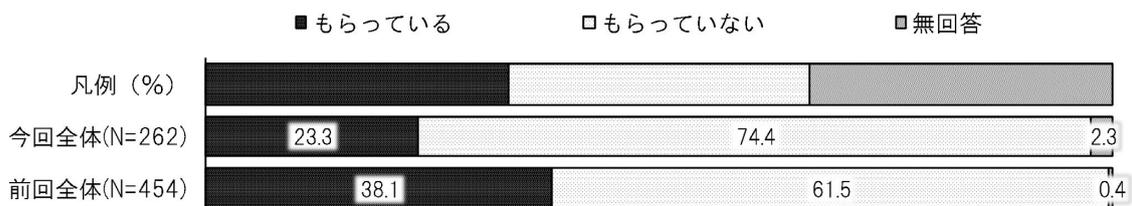
性別では、女性は男性に比べて受給者が多く、年齢別では、年齢が上がるほど受給率も高くなる傾向にある。

専攻別では、「理系」で受給者は4割以上と高い。



前回調査との比較をみると、今回調査では受給率は低下した。

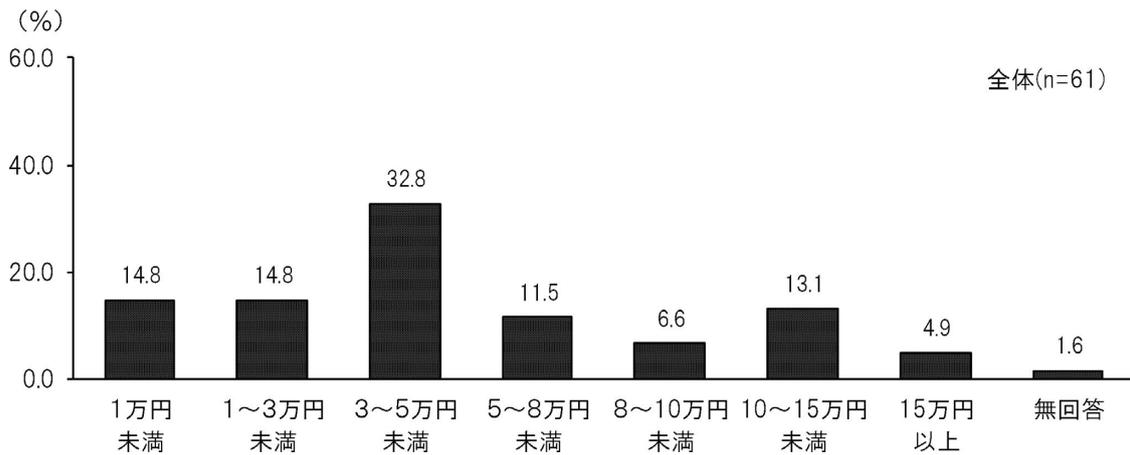
◆前回調査との比較◆



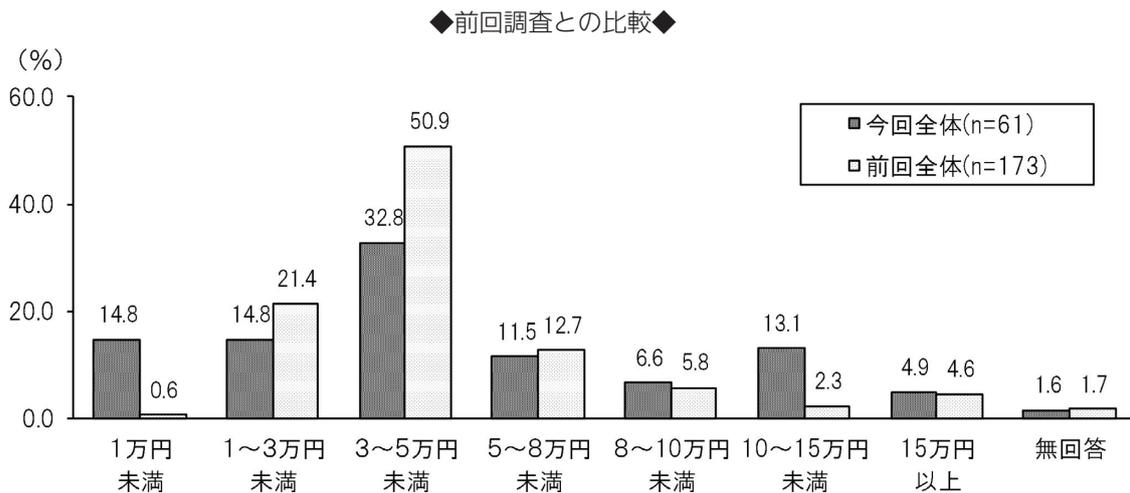
3. 1カ月当たり奨学金・住宅助成金の受給額(問8)

問8 奨学金や住宅助成金などをもらっている方にお聞きます。1カ月、どのくらいもらっていますか？

1カ月当たり奨学金・住宅助成金の受給額については、「3～5万円未満」が32.8%と最も高く、次いで「1万円未満」「1～3万円未満」(各14.8%)、「10～15万円未満」(13.1%)の順となっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「1万円未満」「10～15万円未満」が増加し、「3～5万円未満」が低下した。

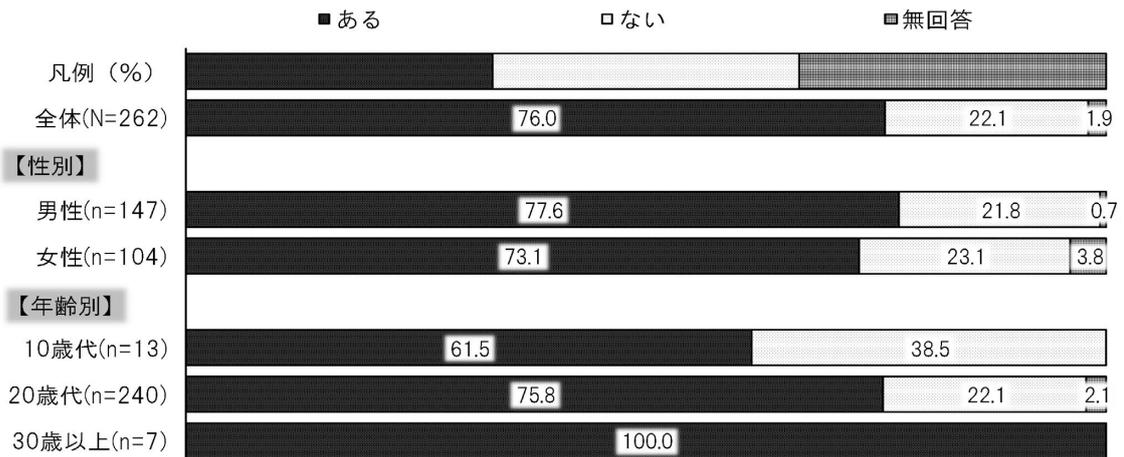


4. アルバイト経験(問9)

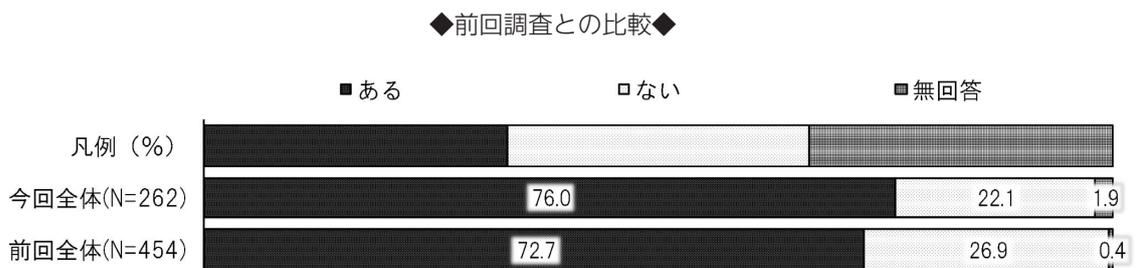
問9 アルバイトをしたことがありますか？

アルバイト経験については、7割以上(76.0%)が経験ありと回答している。

性別では、男性は女性に比べてアルバイト経験者がやや多く、年齢別では、年齢が上がるほどアルバイト経験者も多くなる傾向にある。



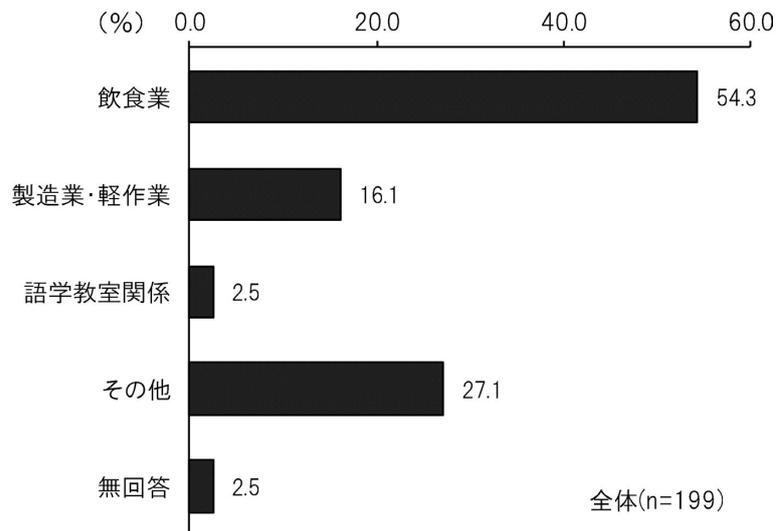
前回調査との比較をみると、今回調査ではアルバイト経験者はやや増加した。



5. アルバイトの種類(問10)

問10 どんなところでアルバイトをしていましたか？

アルバイトの種類については、「飲食業」が54.3%と突出して最も高く、次いで「その他」(27.1%)、「製造業・軽作業」(16.1%)の順となっている。



6. アルバイトに対する希望(問11)

問11 アルバイトをする場合の希望はありますか？(職種、給料、労働時間など)

自由回答

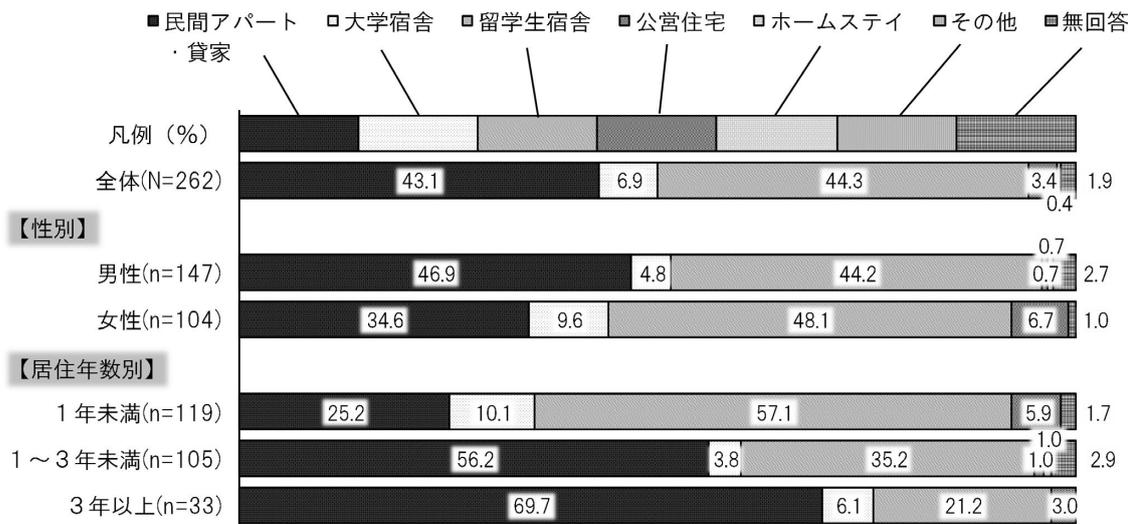
7. 住居形態(問12)

問12 どのような住宅に住んでいますか？

住居形態については、「留学生宿舎」(44.3%)と「民間アパート・貸家」(43.1%)にはほぼ二分されている。

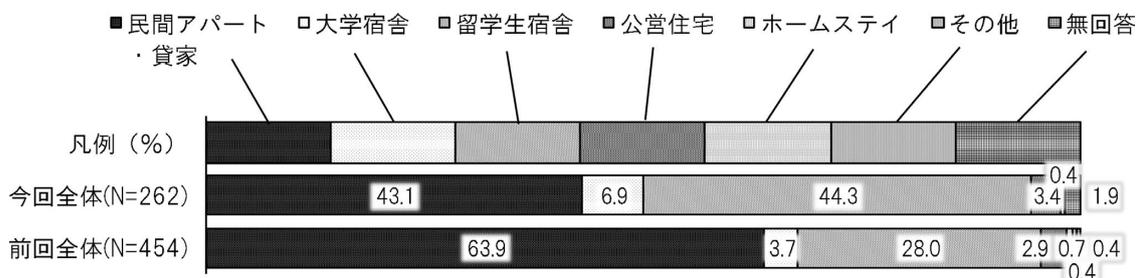
性別では、男性は「民間アパート・貸家」、女性は「留学生宿舎」がそれぞれ高くなっている。

居住年数別でみると、居住年数が長い層ほど「民間アパート・貸家」が高く、居住年数が短い層ほど「留学生宿舎」が高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「留学生宿舎」が増加し、「民間アパート・貸家」が低下した。

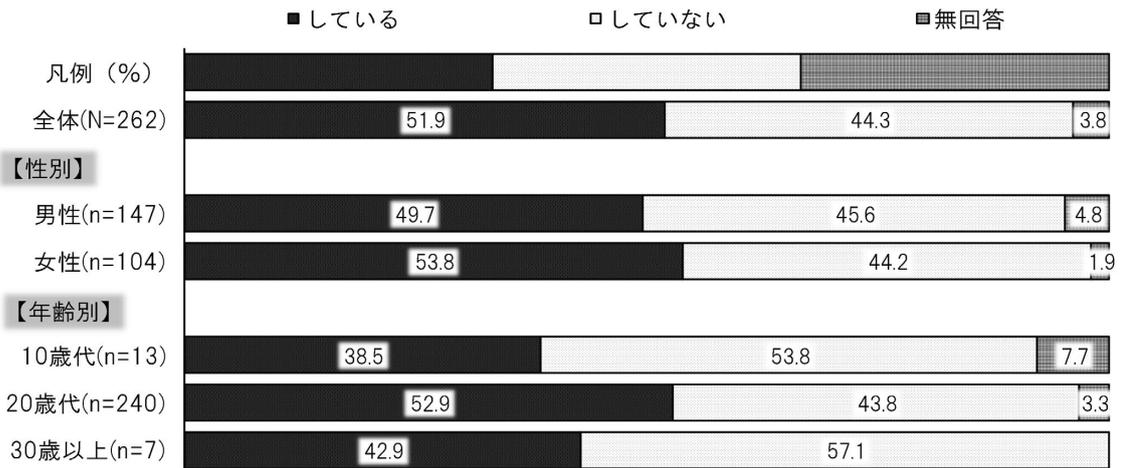
◆前回調査との比較◆



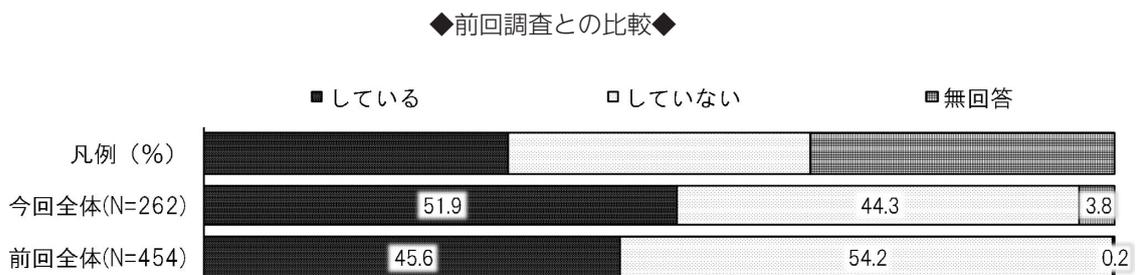
8. 同居者(ルームシェア等)の有無(問13)

問13 友人などと一緒に暮らしていますか？(ルームシェアをしていますか？)

同居者(ルームシェア等)の有無については、過半数(51.9%)が「している」と回答している。性別では、女性は男性に比べて「している」がやや高く、年齢別では、10歳代で「していない」が高い。



前回調査との比較をみると、今回調査では「している」が増加した。



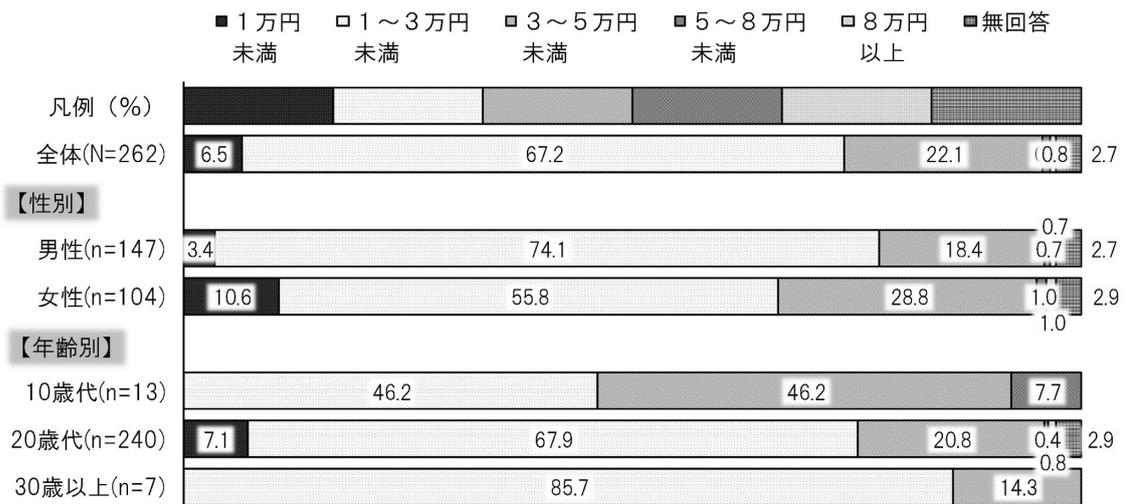
9. 1カ月の家賃(問14)

問14 礼金、敷金を除く、1カ月の家賃はどのくらいですか？

1カ月の家賃については、「1～3万円未満」が67.2%と最も高く、「3～5万円未満」が22.1%で続いており、両者で全体の大半を占めている。

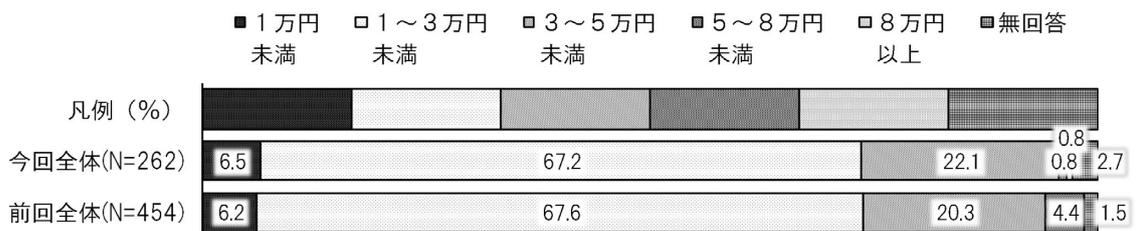
性別では、男性は「1～3万円未満」、女性は「3～5万円未満」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「3～5万円未満」が高くなる傾向にある。



前回調査との比較をみると、大きな差は目立たない。

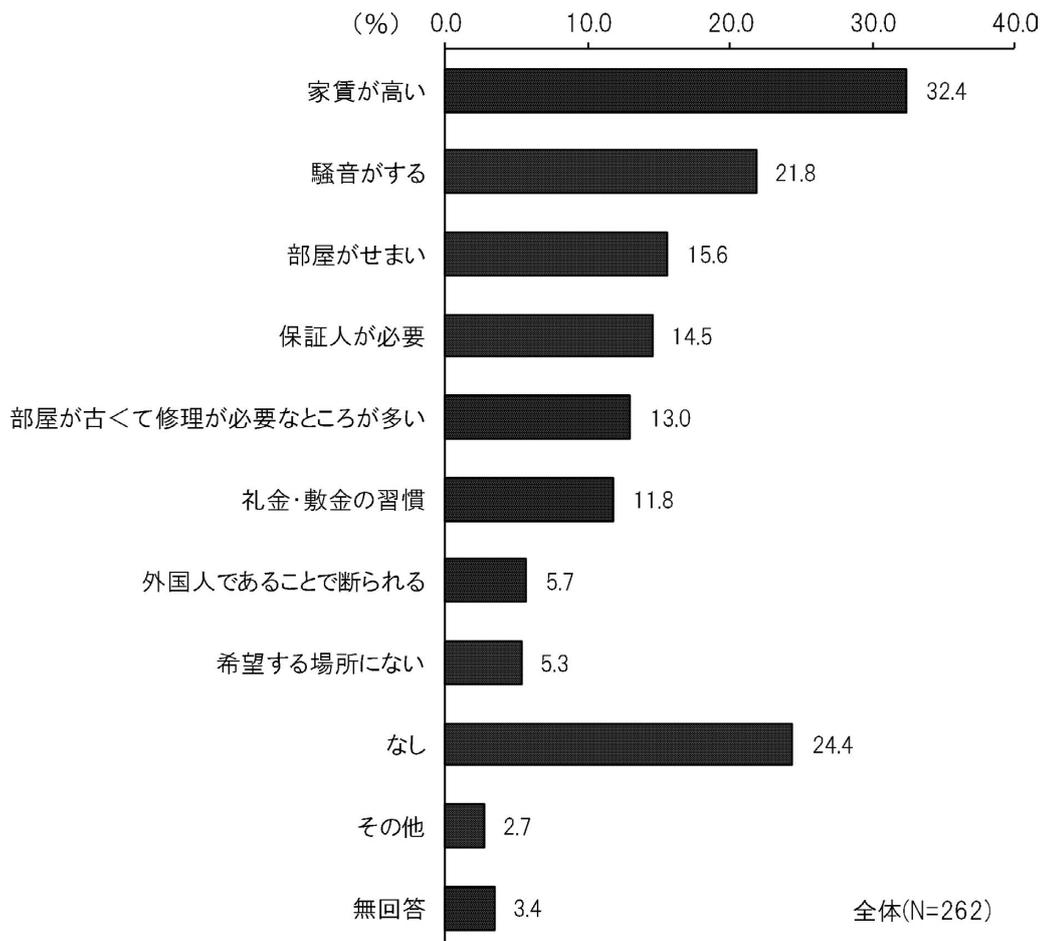
◆前回調査との比較◆



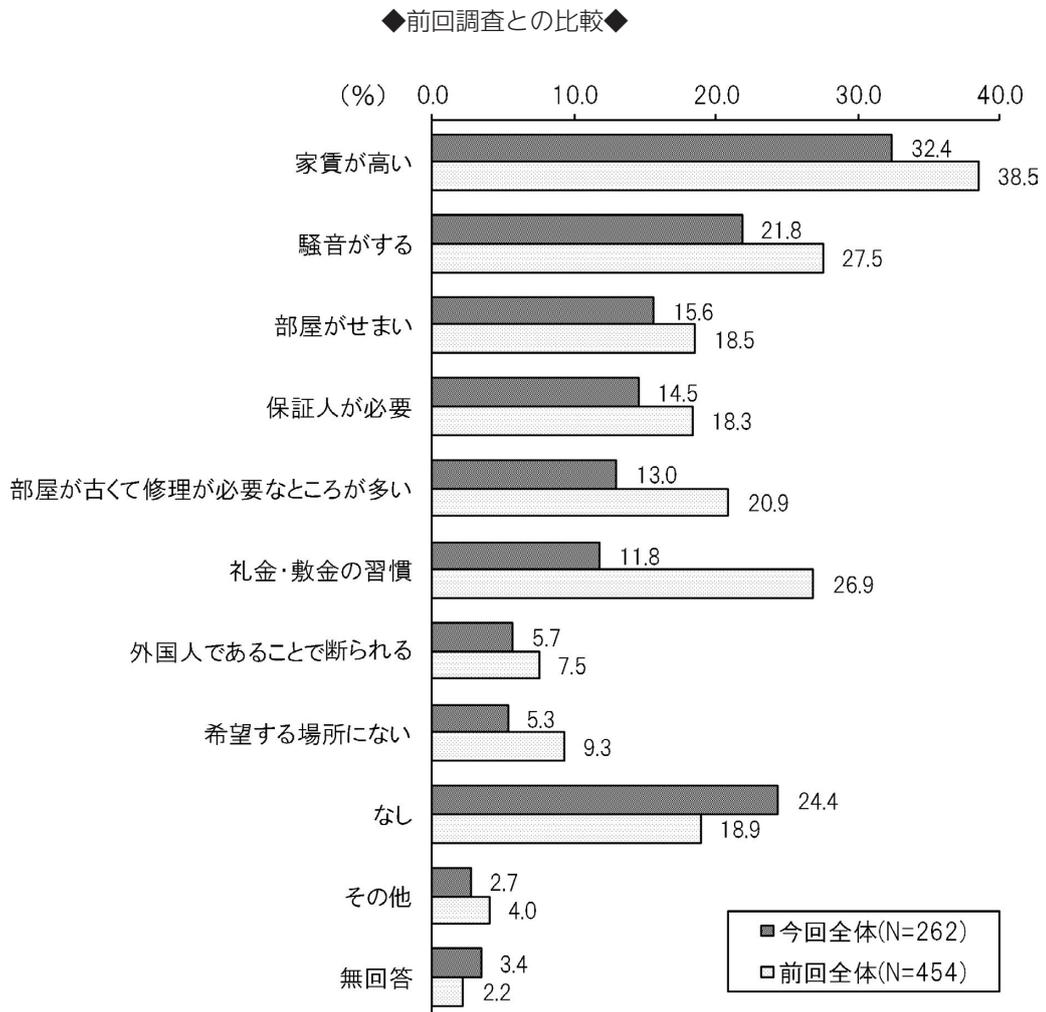
10. 住居の不満(問15)

問15 住居への不満がありましたら、3つ以内でお答えください。

住居の不満については、「なし」が24.4%であることから、全体の7割程度が何らかの不満を感じているとみられる。不満の理由は、「家賃が高い」が32.4%と最も高く、次いで「騒音がする」(21.8%)、「部屋がせまい」(15.6%)、「保証人が必要」(14.5%)、「部屋が古くて修理が必要なところが多い」(13.0%)、「礼金・敷金の習慣」(11.8%)の順となっている。



前回調査との比較をみると、今回調査ではほぼすべての項目で低下しており、特に「礼金・敷金の習慣」は大きく低下した。



11. 勉強や仕事以外での日本人との交流(問16)

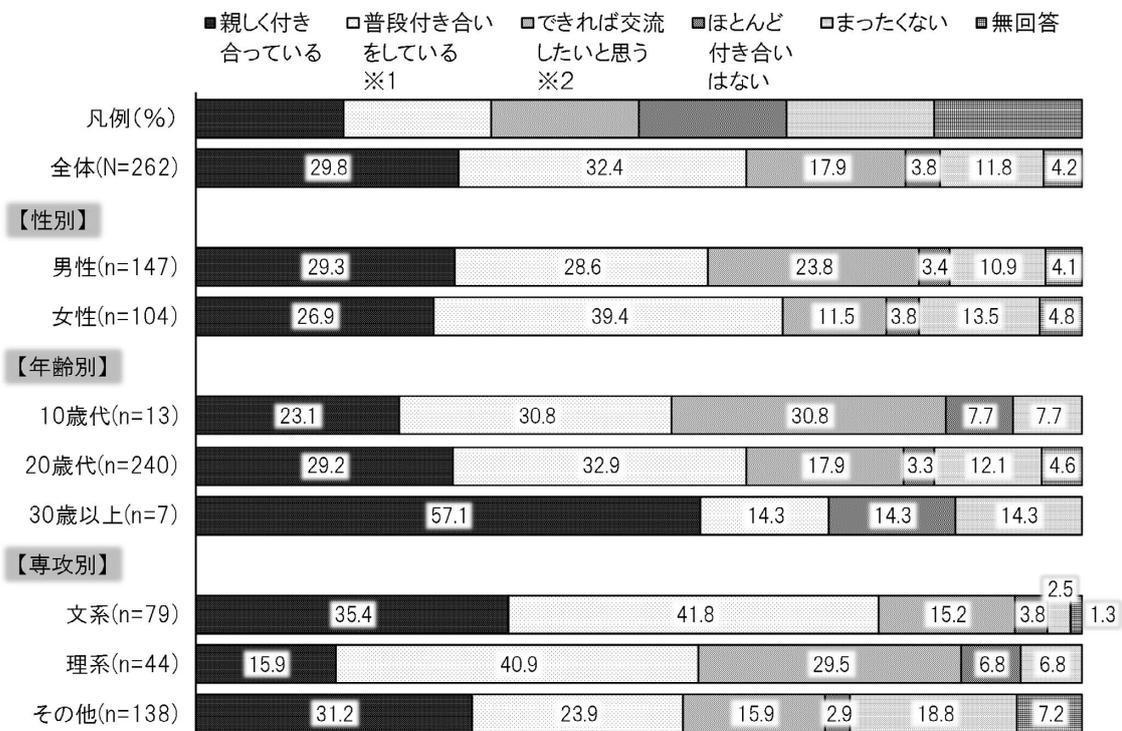
問16 勉強や仕事以外で日本人との交流がありますか？

勉強や仕事以外での日本人との交流については、「親しいわけではないが、普段付き合いをしている」が32.4%と最も高く、次いで「親しく付き合っている」が29.8%となっている。

性別では、男性は「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」、女性は「親しいわけではないが、普段付き合いをしている」がそれぞれ高くなっている。

年齢別では、年齢が若い層ほど「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」が高くなる傾向にある。

専攻別では、理系で「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」が他の専攻に比べて高い。

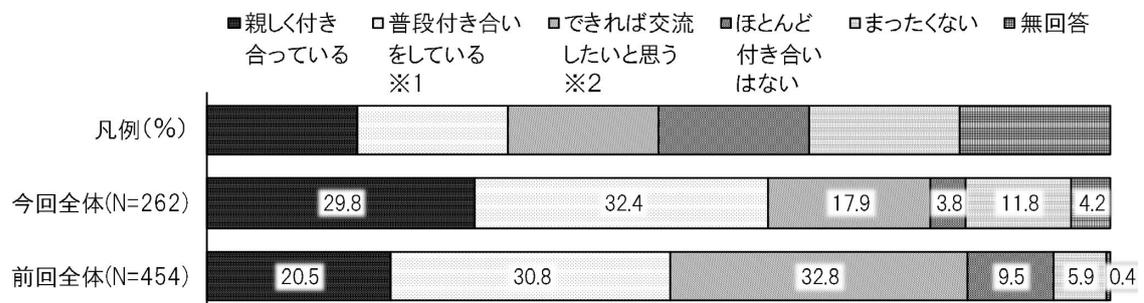


※1: 親しいわけではないが、普段付き合いをしている

※2: ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う

前回調査との比較をみると、今回調査では「親しく付き合っている」「まったくない」が増加し、「ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う」が低下した。

◆前回調査との比較◆



※1: 親しいわけではないが、普段付き合いをしている
 ※2: ほとんど付き合いはないが、できれば交流したいと思う

3 国際交流に対する意識や意向などについて

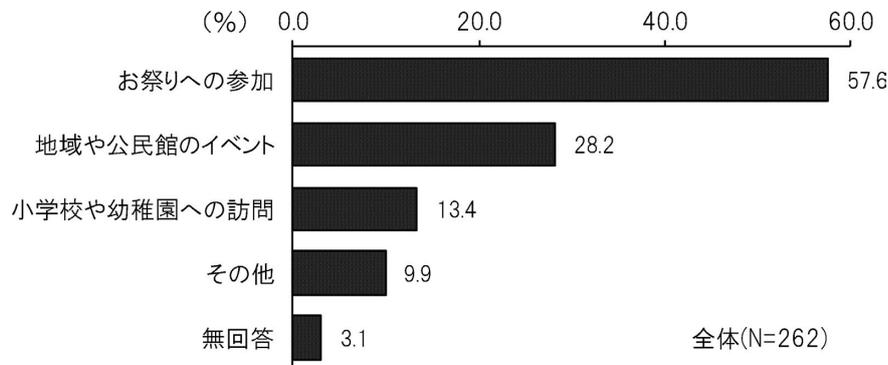
1. 市民との国際交流の希望 (問17)

問17 市民との国際交流は何を望みますか？

市民との国際交流の希望については、「お祭りへの参加」が57.6%と最も高く、次いで「地域や公民館のイベント」(28.2%)、「小学校や幼稚園への訪問」(13.4%)の順となっている。

性別では、女性は男性に比べて「お祭りへの参加」が高く、居住年数別では、居住年数が長いほど「お祭りへの参加」「地域や公民館のイベント」が高くなる傾向にある。

日本人との交流別では、普段付き合い程度の層で「お祭りへの参加」、ほとんど付き合いが無い層で「小学校や幼稚園への訪問」がそれぞれ高くなっている。



単位 (%)		お祭りへの参加	地域や公民館のイベント	小学校や幼稚園への訪問	その他
全体(N=262)		57.6	28.2	13.4	9.9
性別	男性(n=147)	54.4	28.6	14.3	10.9
	女性(n=104)	64.4	26.9	12.5	7.7
居住年数別	1年未満(n=119)	52.1	26.1	16.0	12.6
	1～3年未満(n=105)	62.9	29.5	10.5	8.6
	3年以上(n=33)	63.6	33.3	12.1	3.0
日本人との交流別	親しい(n=78)	56.4	30.8	12.8	9.0
	普段付き合い程度(n=85)	65.9	28.2	12.9	9.4
	できれば交流したい(n=47)	63.8	23.4	19.1	6.4
	ほとんど付き合いが無い(n=10)	40.0	20.0	20.0	10.0
	まったくくない(n=31)	45.2	29.0	9.7	19.4

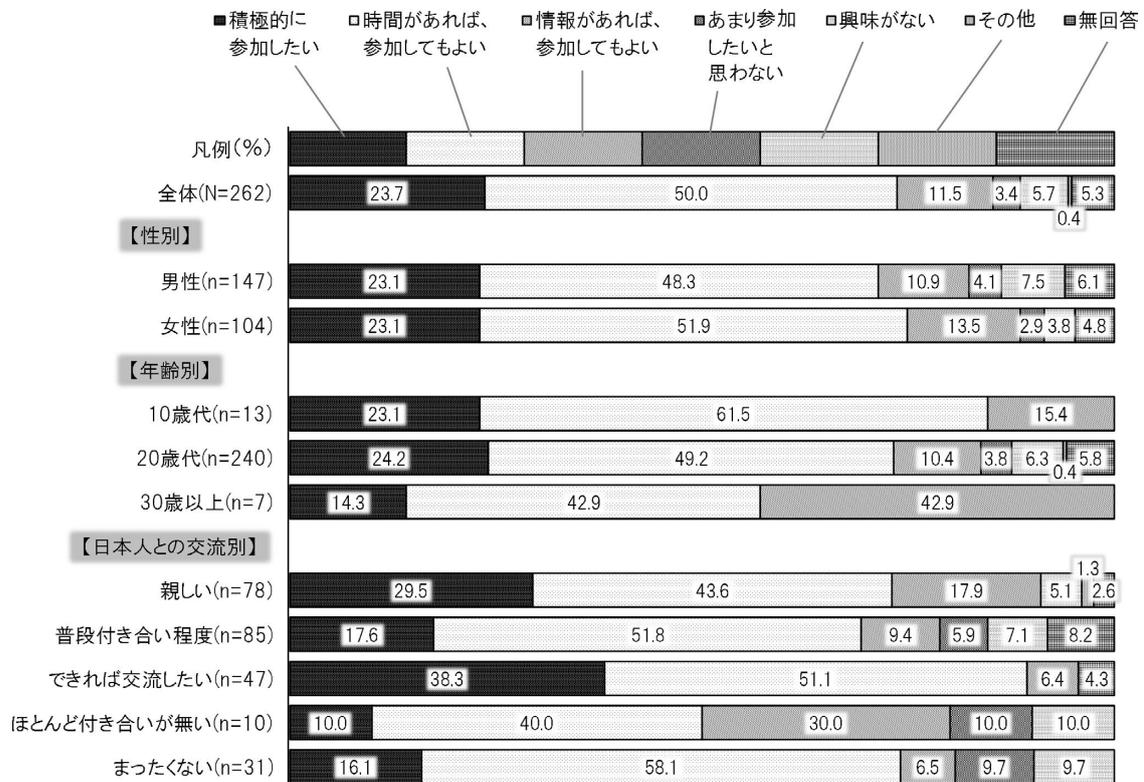
2. 国際交流やボランティア活動への関心(問18)

問18 国際交流やボランティア活動への参加に関心がありますか？

国際交流やボランティア活動への関心については、「時間があれば、参加してもよい」が半数(50.0%)と最も高く、「積極的に参加したい」が23.7%でそれに続き、両者で全体の7割以上を占めている。

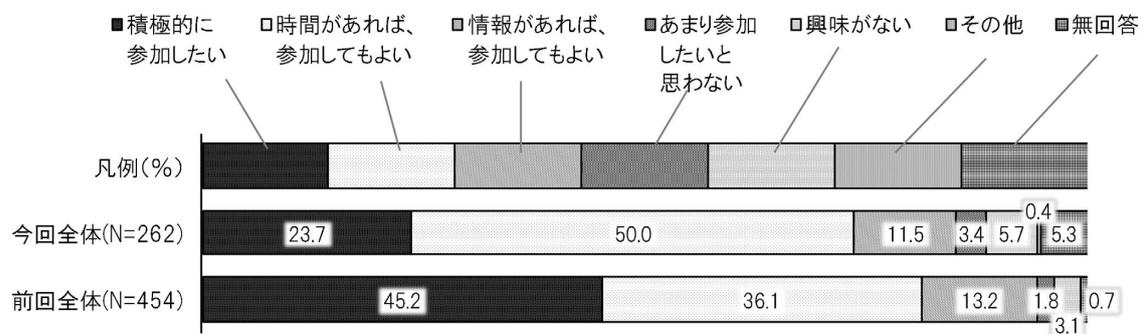
性別では大きな差は目立たないが、年齢別では10歳代で「時間があれば、参加してもよい」が他の年齢層に比べて高い。

日本人との交流別では、できれば交流したい層で「積極的に参加したい」が他の層に比べて高くなっている。



前回調査との比較をみると、今回調査では「時間があれば、参加してもよい」が増加し、「積極的に参加したい」が低下した。

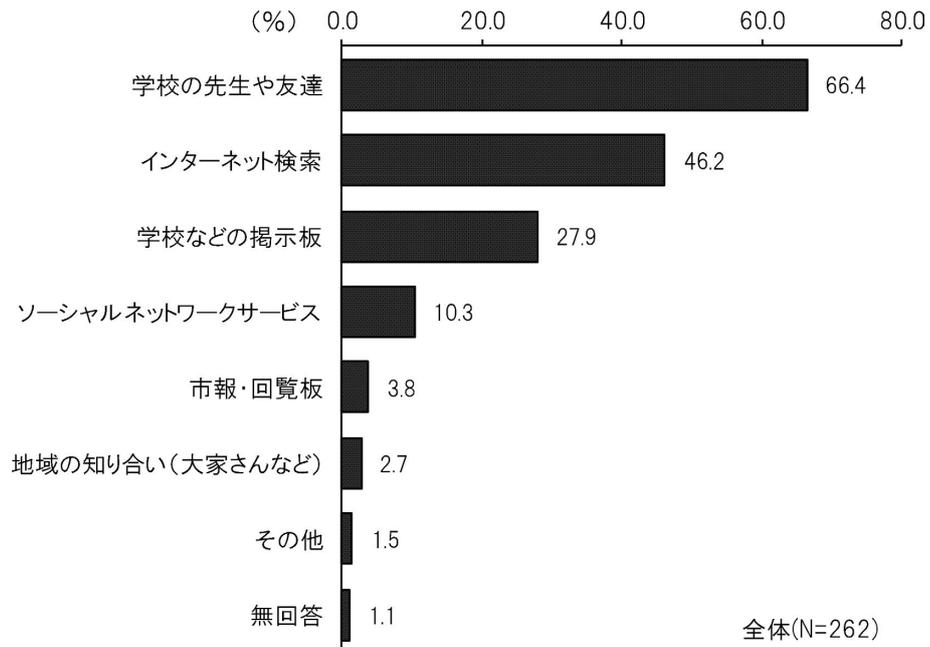
◆前回調査との比較◆



3. 必要な生活情報の入手先(問19)

問19 あなたが必要な生活情報は、主にどこから入手していますか？(2つ以内で回答)

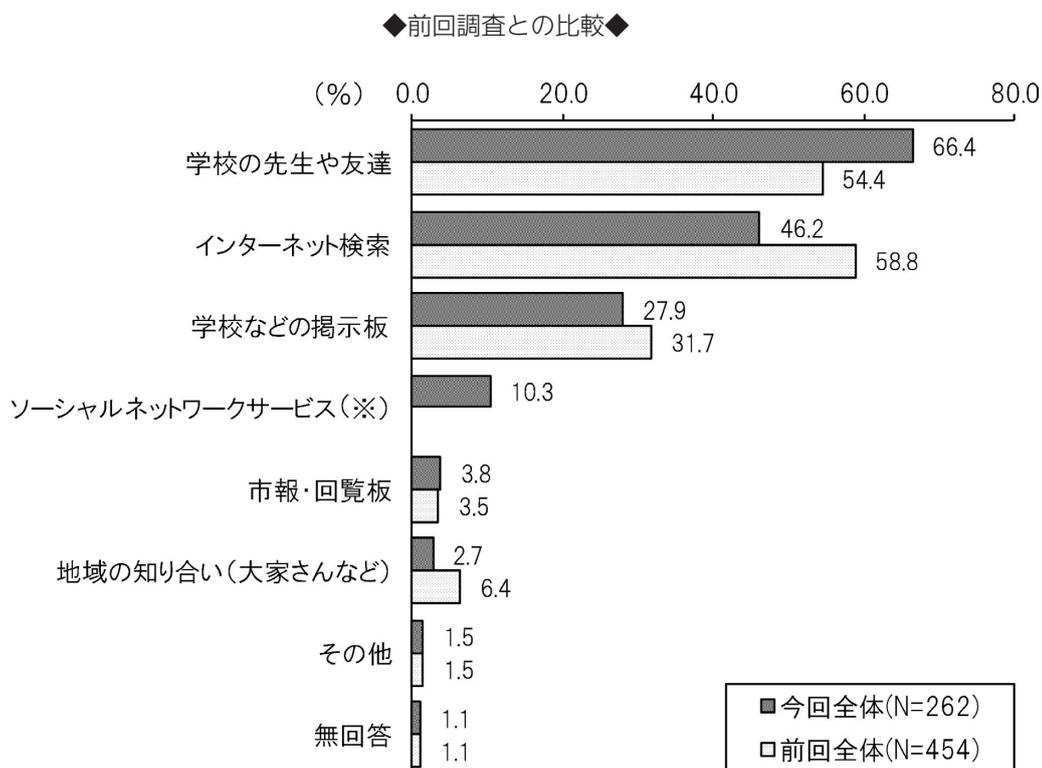
必要な生活情報の入手先については、「学校の先生や友達」が66.4%と最も高く、次いで「インターネット検索」(46.2%)、「学校などの掲示板」(27.9%)の順となっている。



性別では、女性は男性に比べて「学校の先生や友達」が高く、年齢別では10歳代で「ソーシャルネットワークサービス」が他の年齢層に比べて特に高い。専攻別では、その他の専攻で「学校の先生や友達」、文系で「学校などの掲示板」がそれぞれ高い。

単位(%)		学校の先生や友達	インターネット検索	学校などの掲示板	ソーシャルネットワークサービス	市報・回覧板	地域の知り合い(大家さんなど)	その他
全体(N=262)		66.4	46.2	27.9	10.3	3.8	2.7	1.5
性別	男性(n=147)	61.9	44.2	29.3	10.2	5.4	4.1	0.7
	女性(n=104)	75.0	50.0	25.0	11.5	1.9	0.0	1.9
年齢別	10歳代(n=13)	76.9	30.8	23.1	30.8	0.0	7.7	0.0
	20歳代(n=240)	65.4	46.7	27.9	9.6	4.2	2.5	1.7
	30歳以上(n=7)	85.7	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
専攻別	文系(n=79)	55.7	60.8	36.7	11.4	6.3	2.5	1.3
	理系(n=44)	56.8	65.9	20.5	9.1	0.0	6.8	2.3
	その他(n=138)	75.4	31.2	25.4	10.1	3.6	1.4	1.4

前回調査との比較をみると、今回調査では「学校の先生や友達」が増加し、「インターネット検索」が低下した。

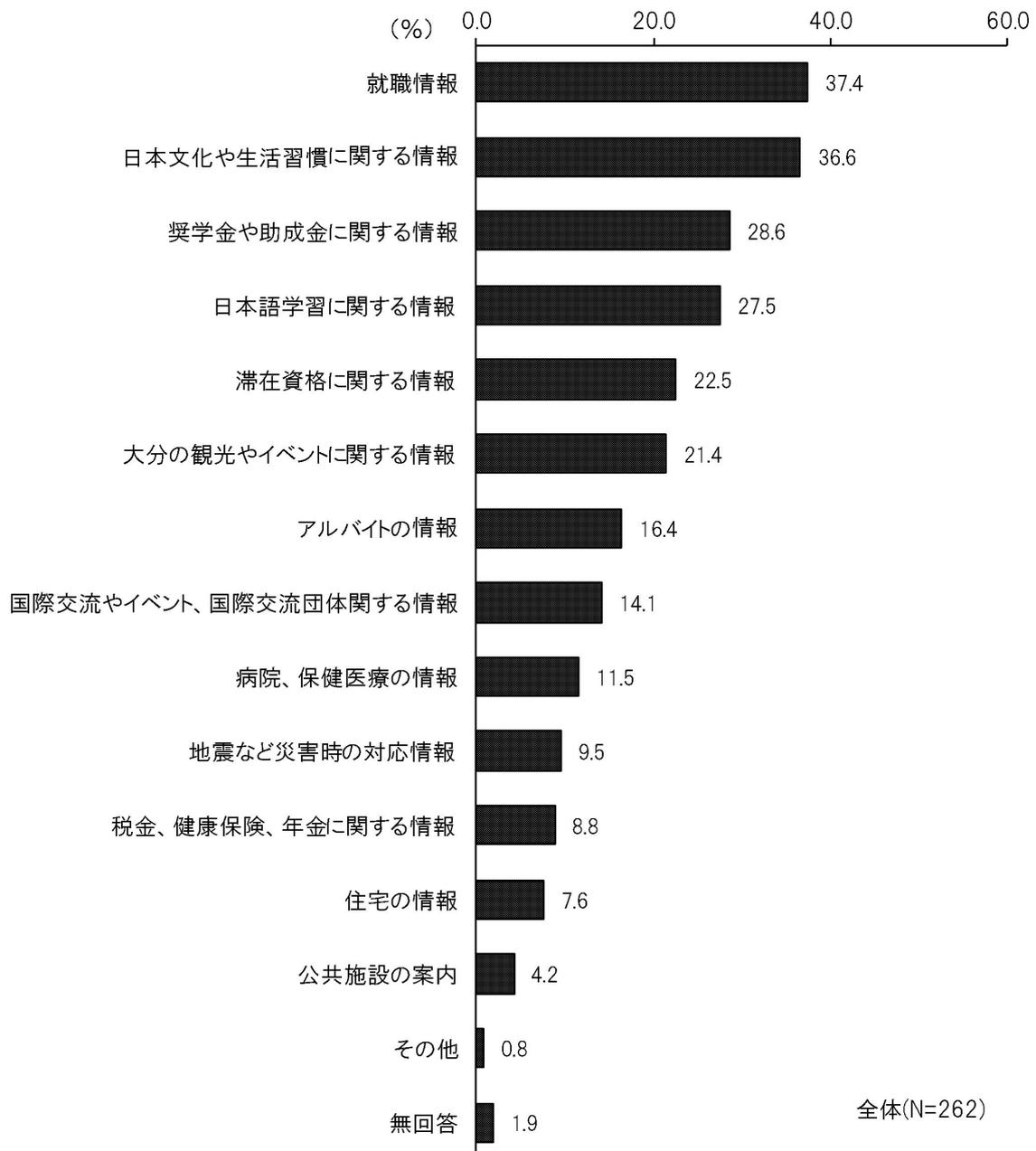


※前回調査では選択肢に無い

4. 現在、最も欲しいと思う情報(問20)

問20 あなたが現在、最も欲しいと思う情報は何か？(3つ以内で回答)

現在、最も欲しいと思う情報については、「就職情報」が37.4%と最も高く、ほぼ並んで「日本文化や生活習慣に関する情報」(36.6%)と続く。以下「奨学金や助成金に関する情報」(28.6%)、「日本語学習に関する情報」(27.5%)、「滞在資格に関する情報」(22.5%)、「大分の観光やイベントに関する情報」(21.4%)の順となっている。



性別では、男性は「日本文化や生活習慣に関する情報」、女性は「国際交流やイベント、国際交流団体に関する情報」「アルバイトの情報」がそれぞれ高くなっている。

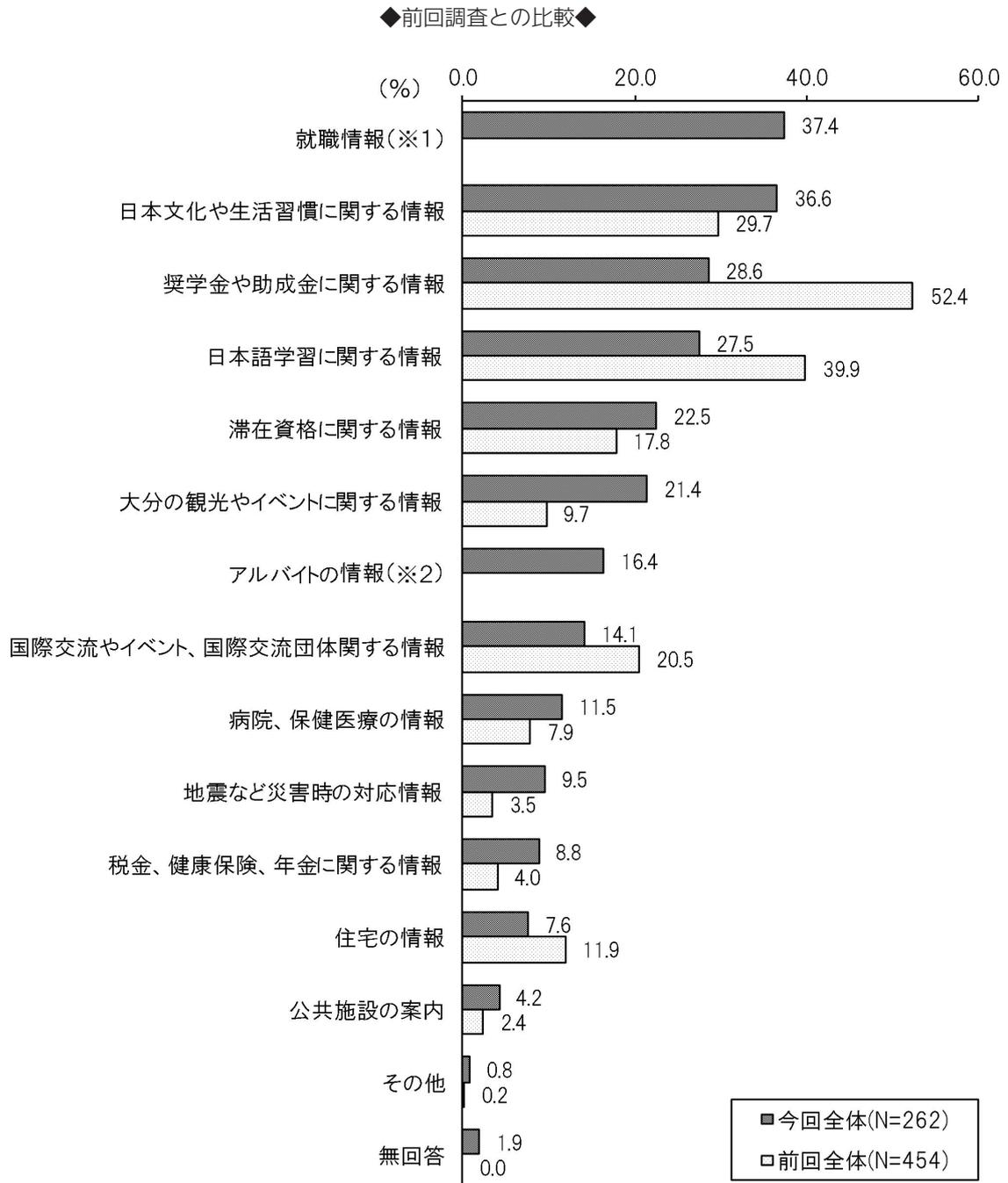
年齢別では、10歳代で「日本文化や生活習慣に関する情報」「奨学金や助成金に関する情報」「日本語学習に関する情報」「国際交流やイベント、国際交流団体に関する情報」、20歳代で「就職情報」が他の年齢層に比べてそれぞれ高い。

専攻別では、文系で「奨学金や助成金に関する情報」、その他の専攻で「滞在資格に関する情報」などがそれぞれ高くなっている。

単位(%)		就職情報	日本文化や生活習慣に関する情報	奨学金や助成金に関する情報	日本語学習に関する情報	滞在資格に関する情報	大分の観光やイベントに関する情報	アルバイトの情報	国際交流やイベントに関する情報	病院、保健医療の情報	地震など災害時の対応
全体(N=262)		37.4	36.6	28.6	27.5	22.5	21.4	16.4	14.1	11.5	9.5
性別	男性(n=147)	38.8	38.8	27.2	26.5	23.8	20.4	12.9	9.5	10.2	10.9
	女性(n=104)	38.5	31.7	31.7	29.8	20.2	25.0	19.2	21.2	14.4	8.7
年齢別	10歳代(n=13)	23.1	53.8	38.5	46.2	7.7	7.7	23.1	38.5	0.0	15.4
	20歳代(n=240)	39.2	35.8	27.9	26.3	22.9	22.9	16.3	12.9	12.5	9.2
	30歳以上(n=7)	14.3	28.6	28.6	28.6	42.9	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3
専攻別	文系(n=79)	41.8	27.8	41.8	22.8	12.7	27.8	12.7	17.7	10.1	5.1
	理系(n=44)	36.4	40.9	31.8	27.3	9.1	22.7	11.4	18.2	18.2	0.0
	その他(n=138)	35.5	40.6	20.3	30.4	31.9	17.4	20.3	10.9	10.1	15.2

単位(%)		税金、健康保険、年金に関する情報	住宅の情報	公共施設の案内	その他
全体(N=262)		8.8	7.6	4.2	0.8
性別	男性(n=147)	8.2	6.8	4.1	1.4
	女性(n=104)	8.7	7.7	3.8	0.0
年齢別	10歳代(n=13)	7.7	0.0	7.7	0.0
	20歳代(n=240)	7.9	7.5	4.2	0.8
	30歳以上(n=7)	28.6	28.6	0.0	0.0
専攻別	文系(n=79)	16.5	5.1	6.3	1.3
	理系(n=44)	9.1	0.0	6.8	0.0
	その他(n=138)	4.3	11.6	2.2	0.7

前回調査との比較をみると、今回調査では「日本文化や生活習慣に関する情報」「滞在資格に関する情報」「大分の観光やイベントに関する情報」が増加し、「奨学金や助成金に関する情報」「日本語学習に関する情報」が低下した。

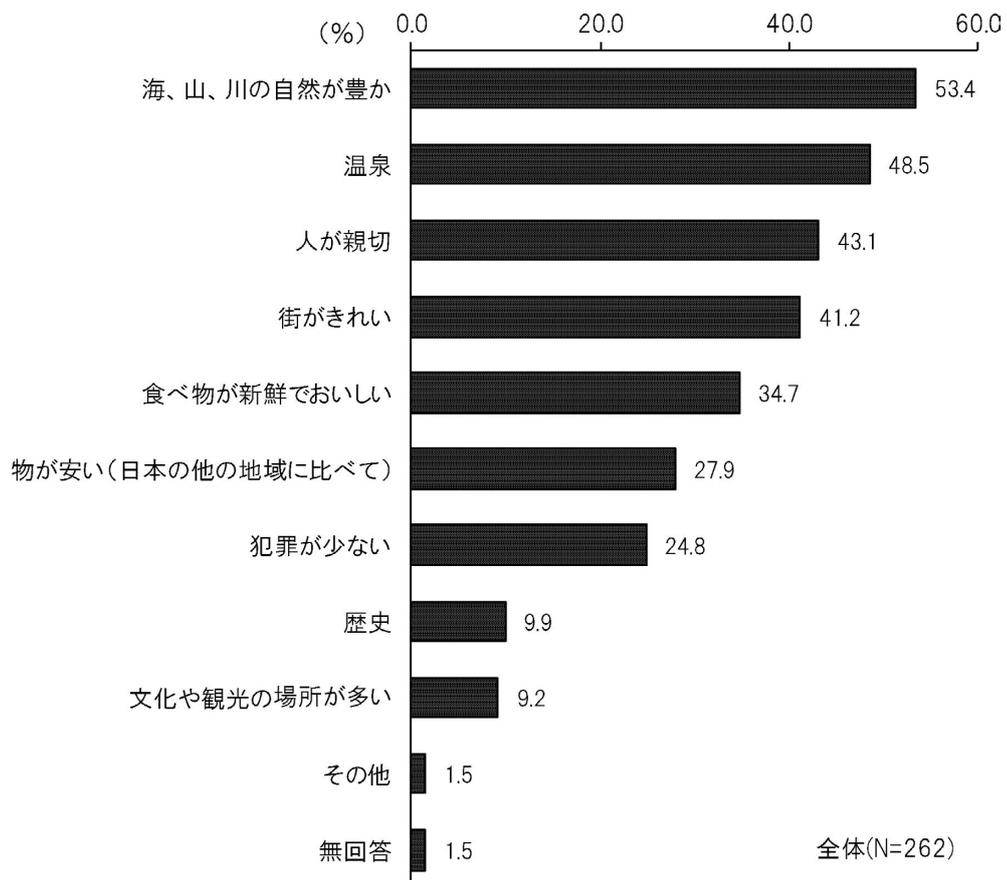


※1～2: 前回調査では「仕事、アルバイトの情報」(54.0%)

5. 大分市の好きなおところ(問21)

問21 大分の好きなおところは何ですか？(いくつでも可)

大分市の好きなおところについては、「海、山、川の自然が豊か」が53.4%と最も高く、次いで「温泉」(48.5%)、「人が親切」(43.1%)、「街がきれい」(41.2%)の順となっている。

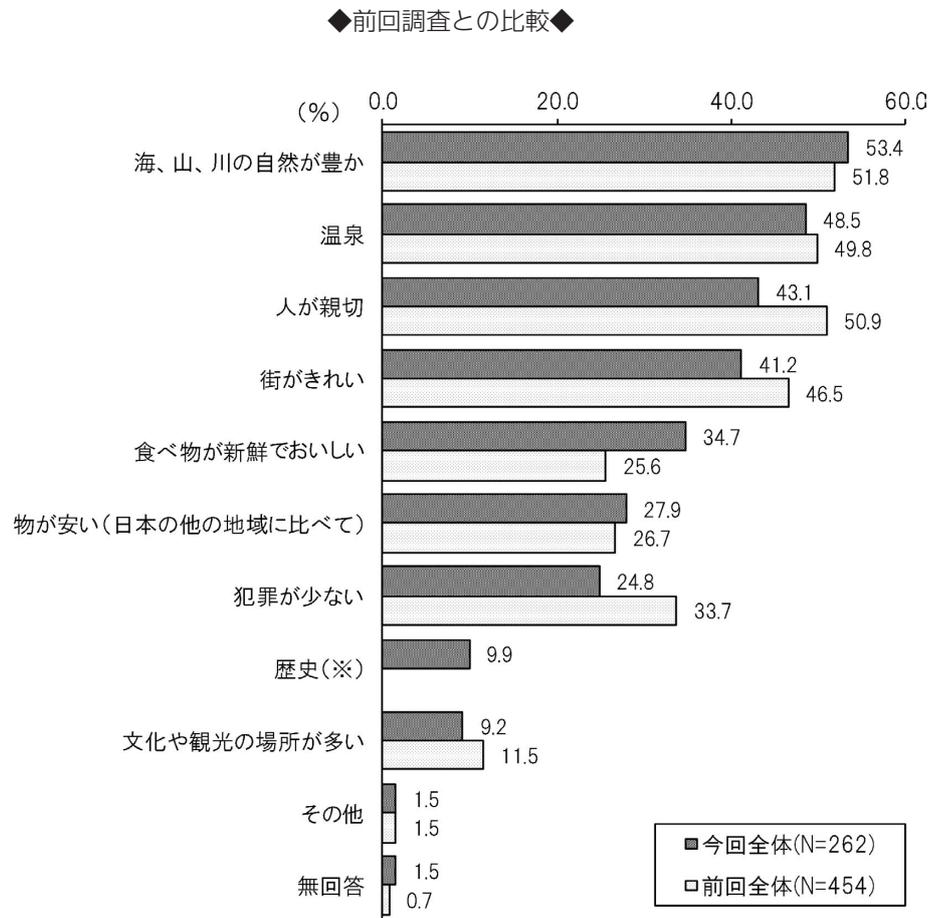


性別では、ほとんどの項目で女性は男性を上回っており、特に「海、山、川の自然が豊か」「人が親切」「街がきれい」「食べ物が新鮮でおいしい」「犯罪が少ない」の割合が高い。

年齢別では、10歳代で「物が安い(日本の他の地域に比べて)」が高く、居住年数別では、居住年数が長いほど「温泉」「物が安い(日本の他の地域に比べて)」「犯罪が少ない」が高くなる傾向にある。

単位(%)		豊海、山、川の自然が	温泉	人が親切	街がきれい	し食べ物が新鮮でおいしい	の物が安い(日本の他の地域に比べて)	犯罪が少ない	歴史	多文化や観光の場所が	その他
全体(N=262)		53.4	48.5	43.1	41.2	34.7	27.9	24.8	9.9	9.2	1.5
性別	男性(n=147)	49.7	46.9	38.1	35.4	30.6	30.6	20.4	10.2	8.8	2.7
	女性(n=104)	61.5	52.9	51.0	51.9	41.3	26.0	31.7	8.7	9.6	0.0
年齢別	10歳代(n=13)	30.8	46.2	38.5	38.5	7.7	61.5	7.7	0.0	7.7	0.0
	20歳代(n=240)	54.2	49.2	42.9	41.7	36.3	26.7	25.4	10.4	9.6	1.7
	30歳以上(n=7)	71.4	42.9	57.1	28.6	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0
居住年数別	1年未満(n=119)	53.8	47.9	42.9	38.7	30.3	26.1	21.8	7.6	8.4	0.8
	1～3年未満(n=105)	54.3	41.0	45.7	45.7	40.0	27.6	23.8	12.4	10.5	2.9
	3年以上(n=33)	45.5	75.8	36.4	36.4	33.3	36.4	39.4	6.1	9.1	0.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「食べ物が新鮮でおいしい」が増加し、「人が親切」「街がきれい」「犯罪が少ない」が低下した。



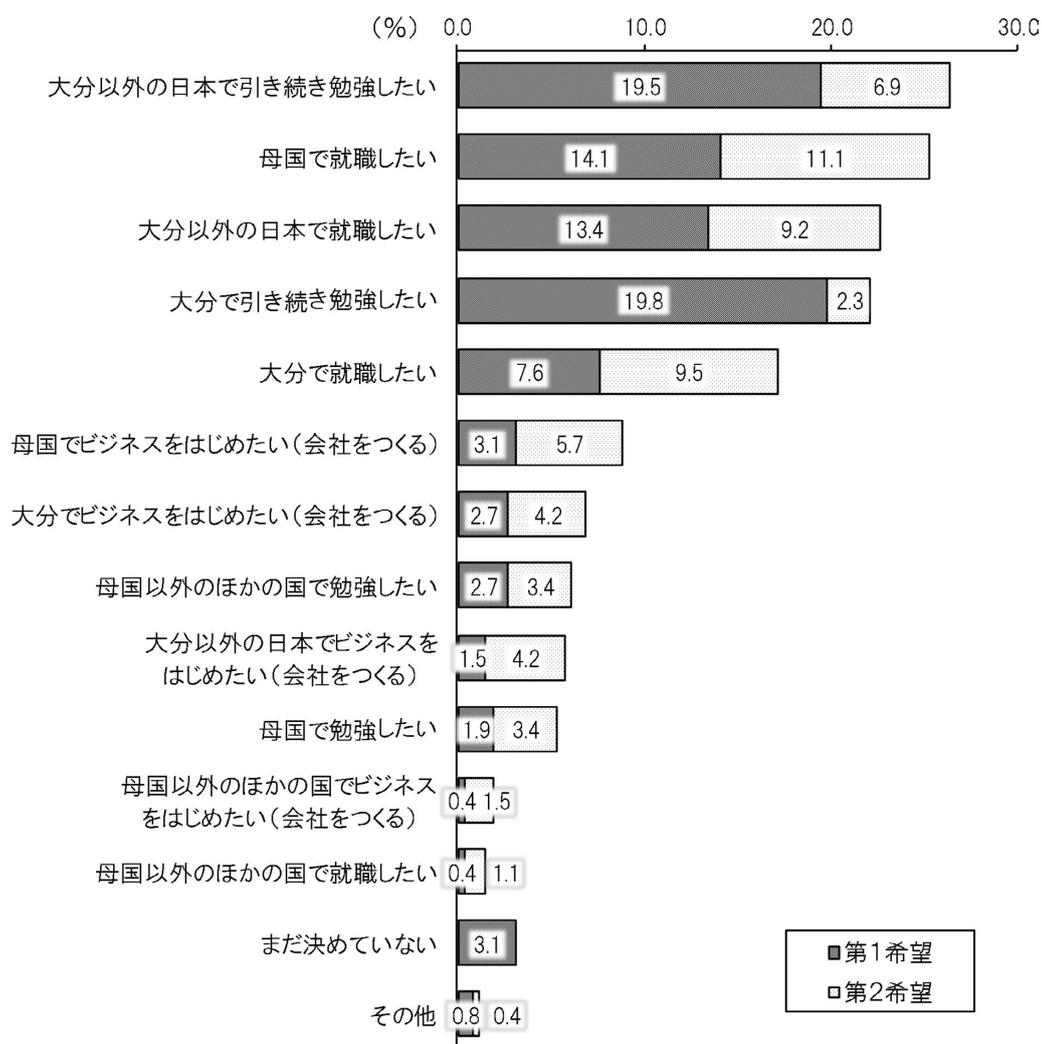
※前回調査では選択肢に無い

6. 卒業後の進路希望 (問22)

問22 卒業した後、どのような進路を希望しますか？ 優先順に2つ以内で選んで、解答欄に番号でご回答ください。

卒業後の進路希望に関する「第一希望」をみると、「大分で引き続き勉強したい」が19.8%と最も高く、ほぼ並んで「大分以外の日本で引き続き勉強したい」(19.5%)と続く。以下「母国で就職したい」(14.1%)、「大分以外の日本で就職したい」(13.4%)の順となっている。

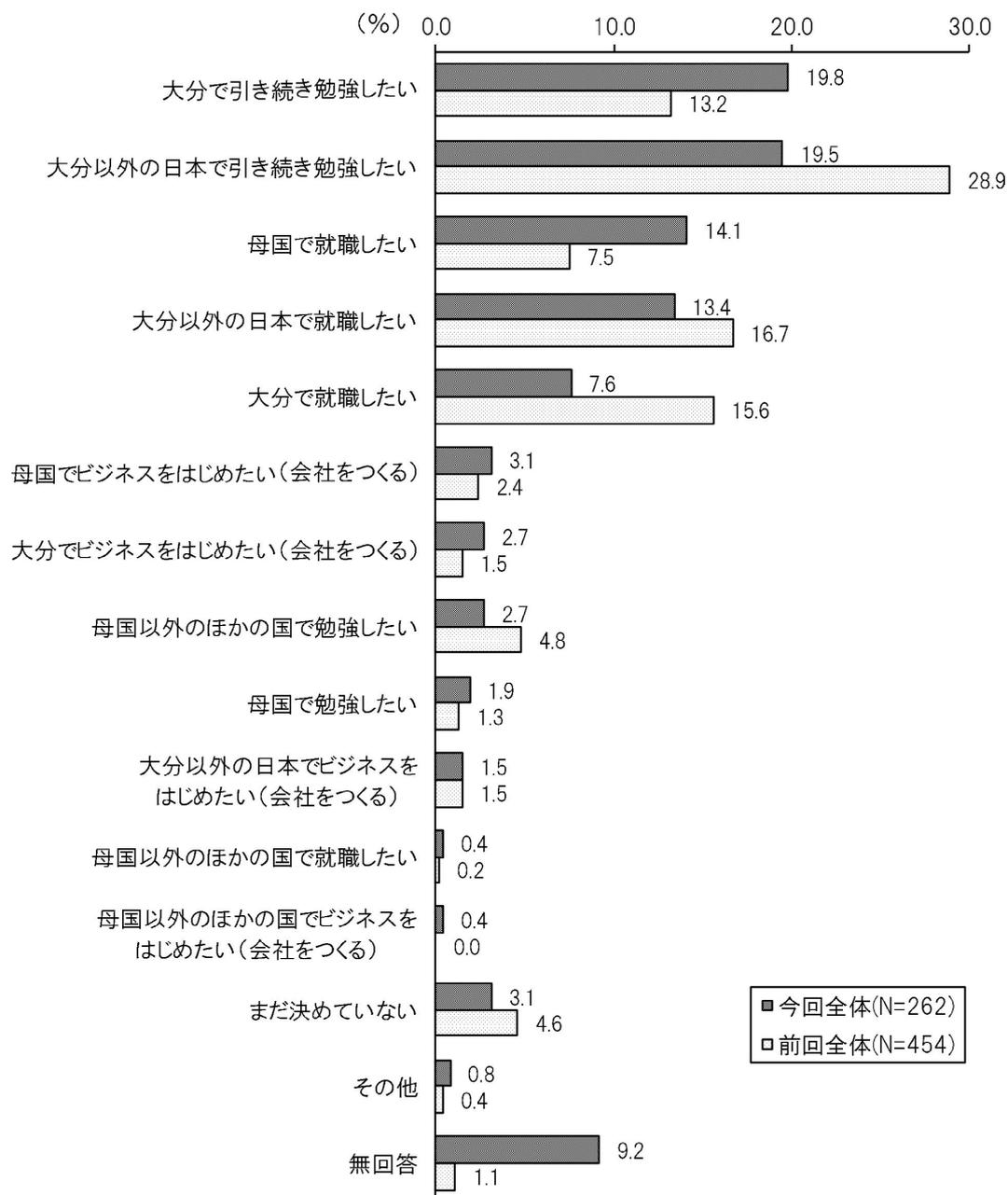
「第一希望」と「第二希望」を合計すると、「大分以外の日本で引き続き勉強したい」、「母国で就職したい」、「大分以外の日本で就職したい」など大分以外での進路を希望する意見が多く、次いで「大分で引き続き勉強したい」、「大分で就職したい」となっている。



注：「無回答」を除いて表記

前回調査との第一希望の比較をみると、今回調査では、「大分で引き続き勉強したい」「母国で就職したい」が増加し、「大分以外の日本で引き続き勉強したい」「大分以外の日本で就職したい」「大分で就職したい」が低下した。

◆前回調査との比較◆

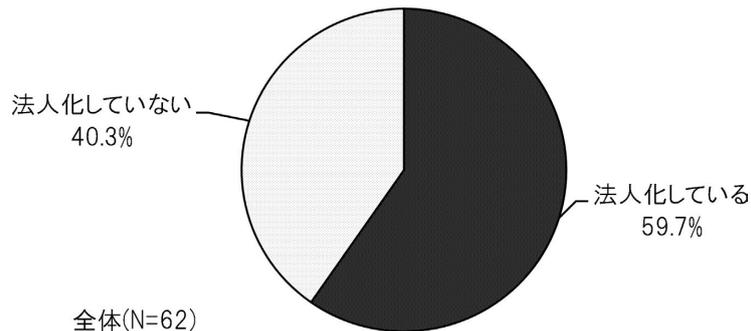


IV 国際交流団体調査結果

1 団体の属性

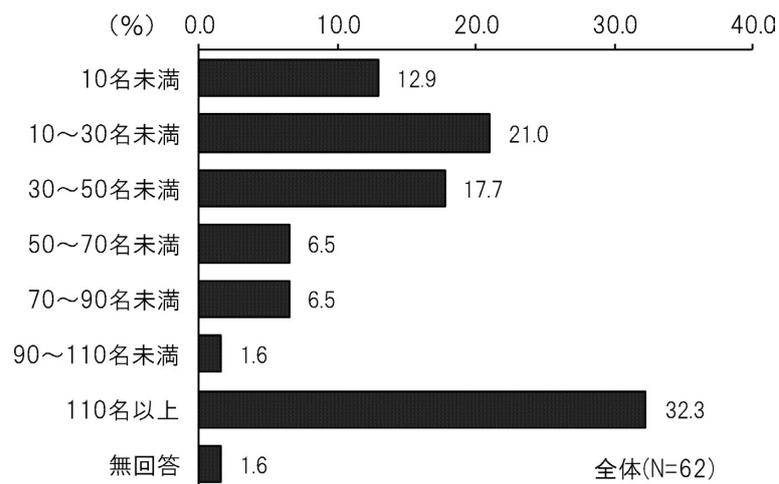
1. 団体の形態(問1)

団体の形態は、「法人化している」が59.7%、「法人化していない」が40.3%で、およそ6:4の構成となっている。



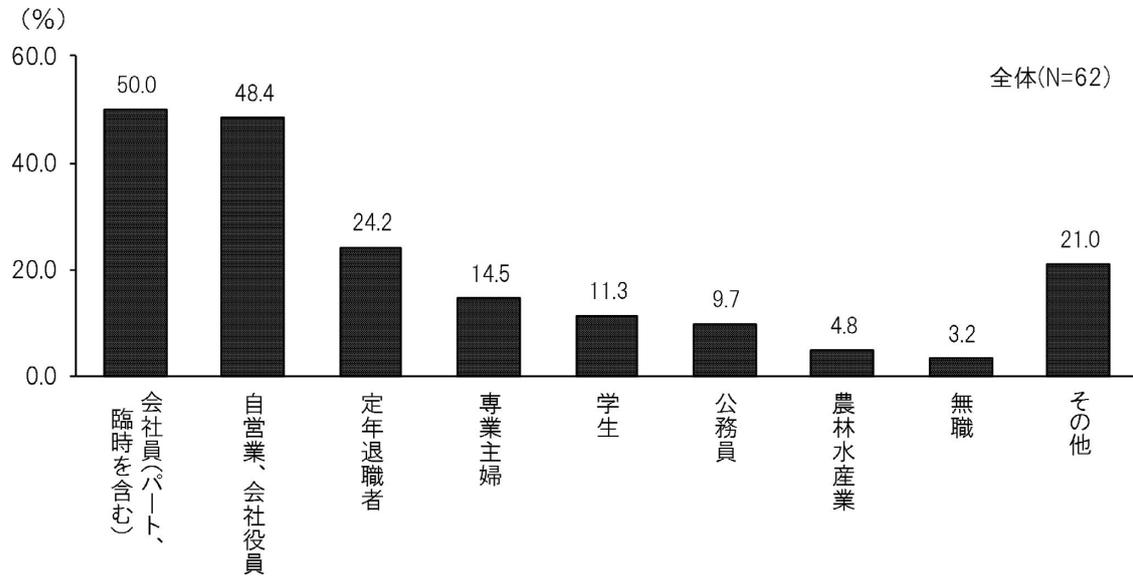
2. 会員数(問2)

会員数は、「110名以上」が32.3%と最も高く、次いで「10～30名未満」(21.0%)、「30～50名未満」(17.7%)、「10名未満」(12.9%)と続いている。



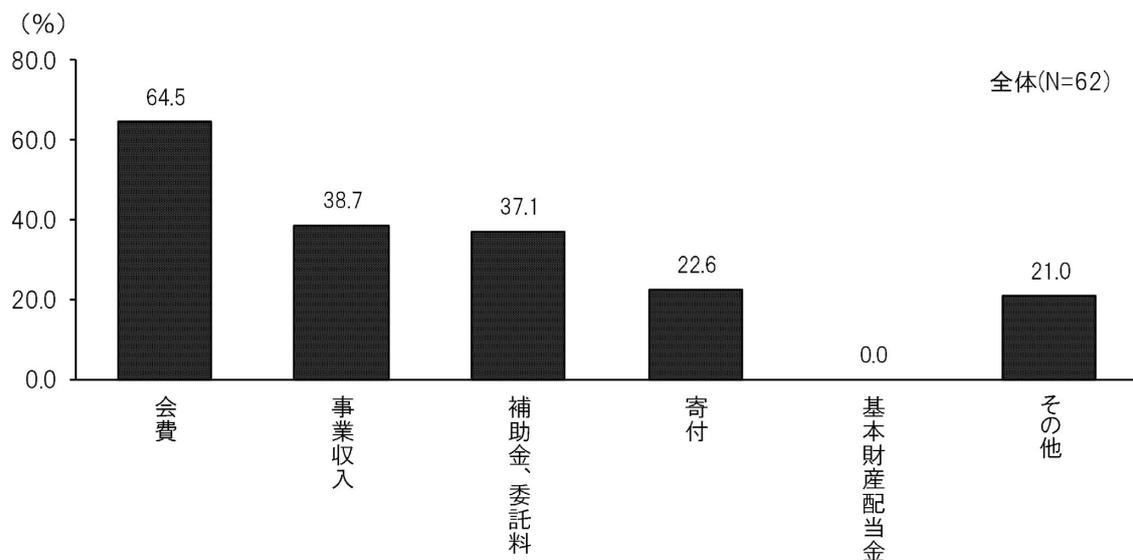
3. 会員の主な職業(問3)

会員の主な職業は、「会社員(パート、臨時を含む)」が50.0%と最も高く、ほぼ並んで「自営業、会社役員」が48.4%となっており、以下「定年退職者」(24.2%)、「専業主婦」(14.5%)の順となっている。



4. 団体運営の主な財源(問4)

団体運営の主な財源は、「会費」が64.5%と最も高く、次いで「事業収入」(38.7%)、「補助金、委託料」(37.1%)の順となっている。

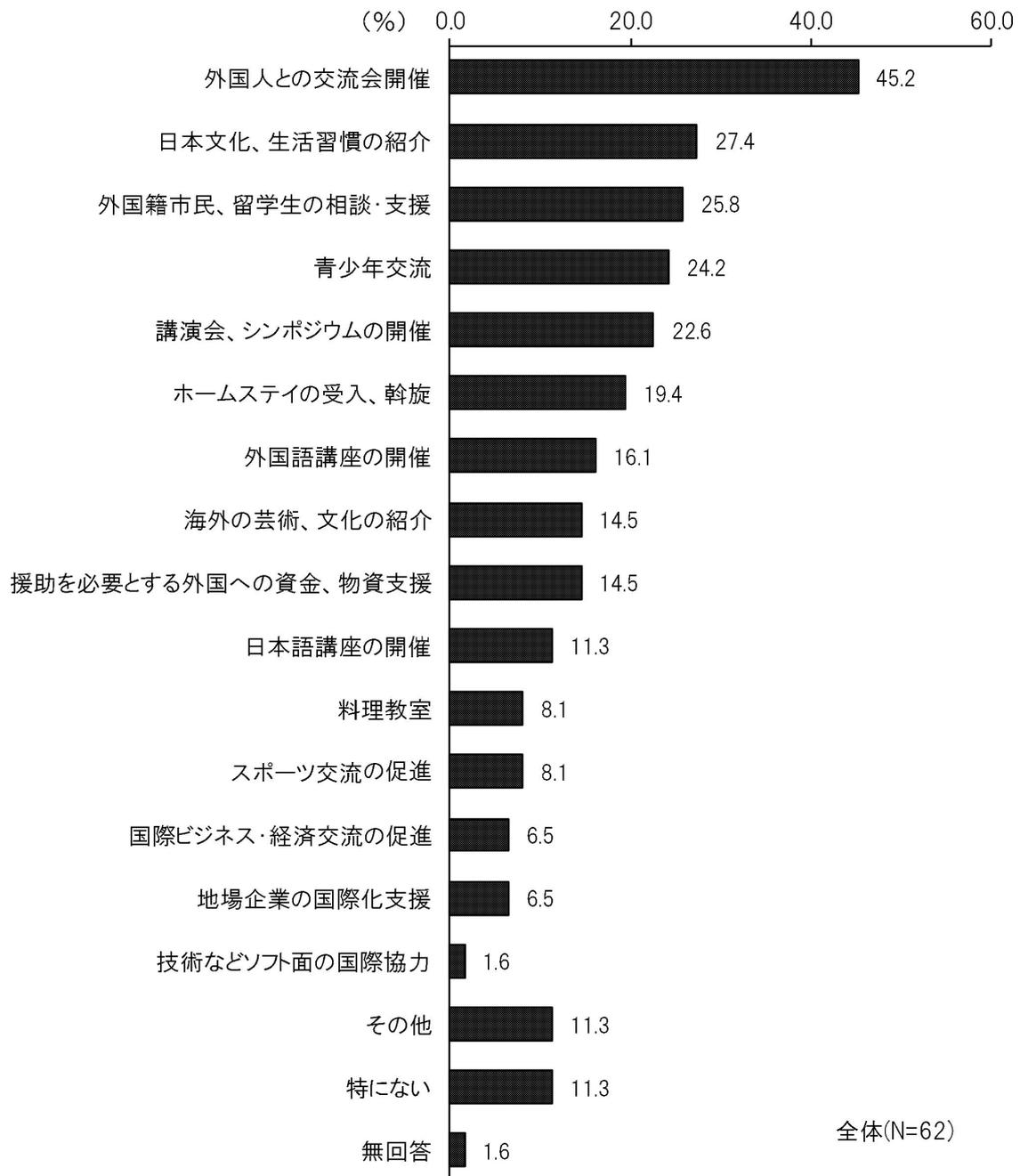


2 活動について

1. 国際交流・協力活動(問5)

問5 国際交流・協力活動の主なものは何ですか？(該当5つ以内で回答)

国際交流・協力活動については、「外国人との交流会開催」が45.2%と最も高く、次いで「日本文化、生活習慣の紹介」(27.4%)、「外国籍市民、留学生の相談・支援」(25.8%)、「青少年交流」(24.2%)、「講演会、シンポジウムの開催」(22.6%)などの順となっている。



形態別では、法人で「青少年交流」「海外の芸術、文化の紹介」「日本語講座の開催」「スポーツ交流の促進」「国際ビジネス・経済交流の促進」「地場企業の国際化支援」、非法人で「ホームステイの受入、斡旋」がそれぞれ高くなっている。

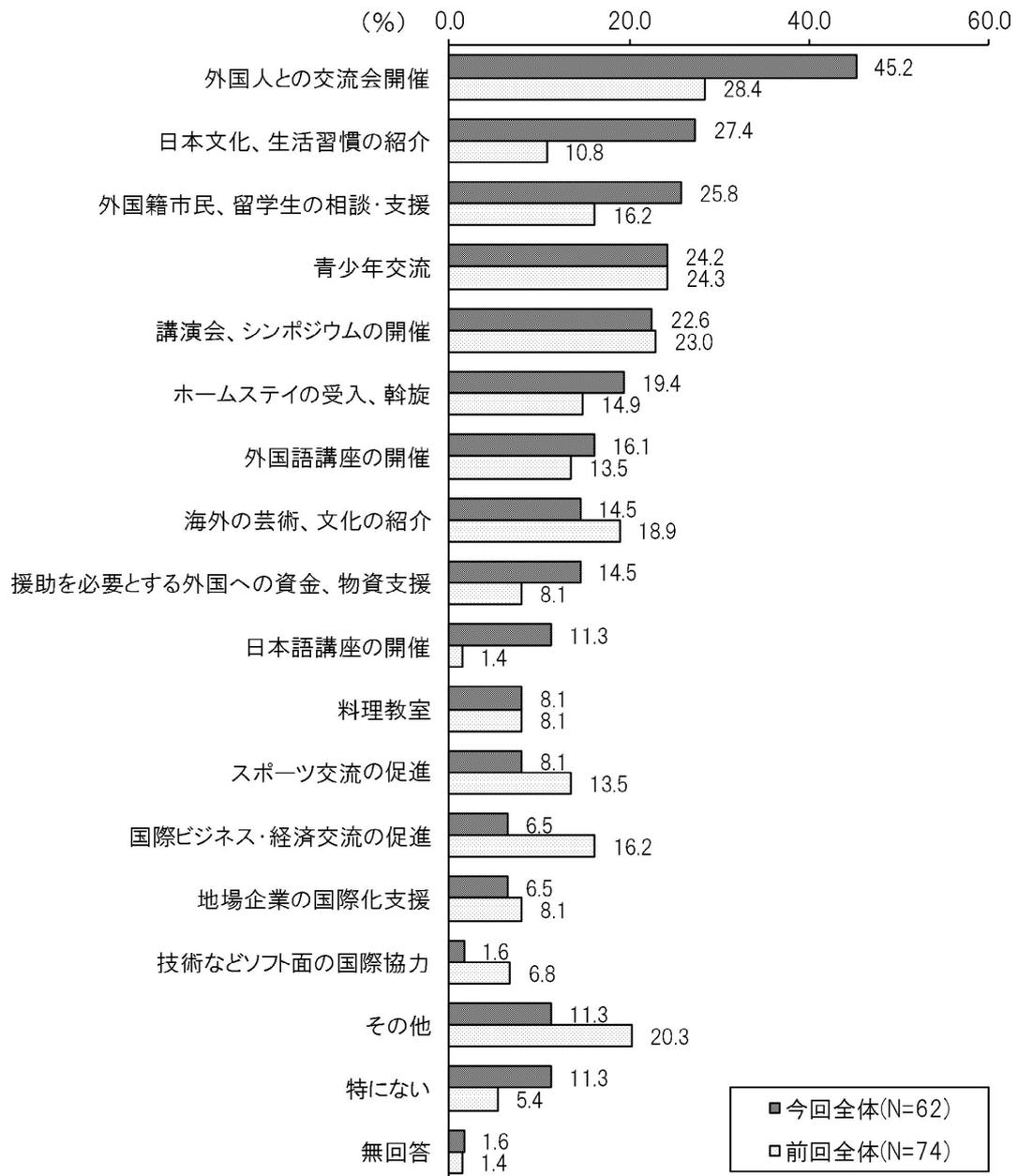
会員数別では、110名以上で特に「外国人との交流会開催」「日本文化、生活習慣の紹介」「海外の芸術、文化の紹介」などが高くなっている。

単位(%)	外国人との交流会開催	日本文化、生活習慣の紹介	外国籍市民、留学生の相談・支援	青少年交流	講演会、シンポジウムの開催	ホームステイの受入、斡旋	外国語講座の開催	海外の芸術、文化の紹介	援助を必要とする外国への資金、物資支援	日本語講座の開催
全体(N=62)	45.2	27.4	25.8	24.2	22.6	19.4	16.1	14.5	14.5	11.3
形態別	法人(n=37)	43.2	29.7	24.3	27.0	21.6	16.2	18.9	13.5	16.2
	非法人(n=25)	48.0	24.0	28.0	20.0	24.0	24.0	16.0	8.0	4.0
会員数別	30名未満(n=21)	42.9	28.6	23.8	28.6	9.5	9.5	14.3	4.8	9.5
	30～110名未満(n=20)	40.0	20.0	35.0	15.0	30.0	25.0	15.0	10.0	10.0
	110名以上(n=20)	55.0	35.0	20.0	25.0	30.0	25.0	20.0	25.0	15.0

単位(%)	料理教室	スポーツ交流の促進	国際ビジネス・経済交流の促進	地場企業の国際化支援	技術などソフト面の国際協力	その他	特になし
全体(N=62)	8.1	8.1	6.5	6.5	1.6	11.3	11.3
形態別	法人(n=37)	8.1	13.5	10.8	10.8	2.7	13.5
	非法人(n=25)	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0
会員数別	30名未満(n=21)	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0	14.3
	30～110名未満(n=20)	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	10.0
	110名以上(n=20)	10.0	15.0	10.0	10.0	5.0	20.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「外国人との交流会開催」「日本文化、生活習慣の紹介」「外国籍市民、留学生の相談・支援」などが増加し、「海外の芸術、文化の紹介」「スポーツ交流の促進」「国際ビジネス・経済交流の促進」などが低下した。

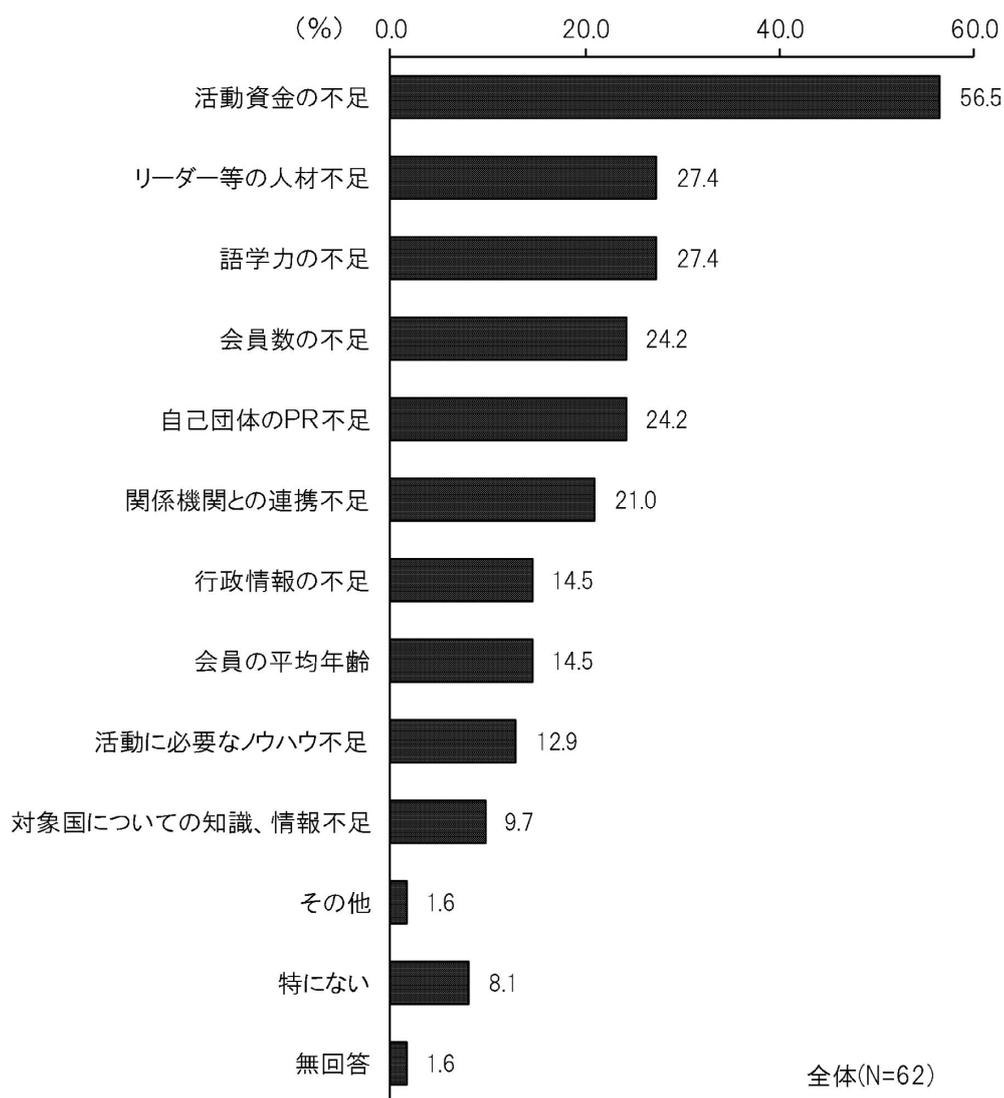
◆前回調査との比較◆



2. 活動上の問題点や課題(問6)

問6 活動をするうえで、問題点や課題があるとすれば何ですか？(該当5つ以内で回答)

活動上の問題点や課題は、「活動資金の不足」が56.5%と突出して最も高く、次いで「リーダー等の人材不足」「語学力の不足」(各27.4%)、「会員数の不足」「自己団体のPR不足」(各24.2%)、「関係機関との連携不足」(21.0%)の順となっている。



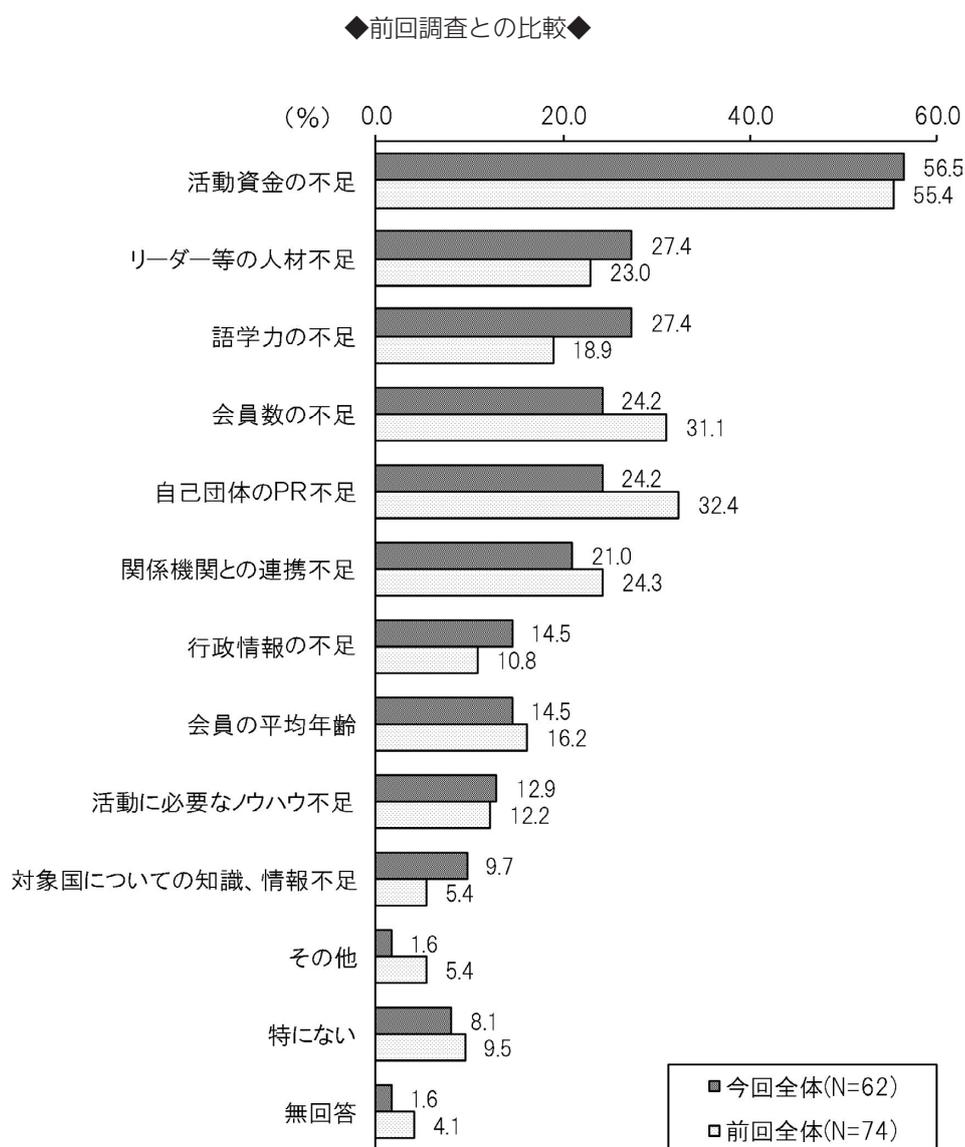
形態別では、法人で「活動資金の不足」「会員数の不足」「自己団体のPR不足」「活動に必要なノウハウ不足」、非法人で「リーダー等の人材不足」「行政情報の不足」「会員の平均年齢」がそれぞれ高くなっている。

会員数別では、規模が小さくなるほど「活動資金の不足」「会員数の不足」などが高くなる傾向にある。また110名以上で特に「行政情報の不足」が高い。

単位(%)		活動資金の不足	リーダー等の人材不足	語学力の不足	会員数の不足	自己団体のPR不足	関係機関との連携不足	行政情報の不足	会員の平均年齢	活動に必要なノウハウ不足	対象国についての知識不足
全体(N=62)		56.5	27.4	27.4	24.2	24.2	21.0	14.5	14.5	12.9	9.7
形態別	法人(n=37)	59.5	24.3	29.7	27.0	29.7	18.9	10.8	5.4	16.2	10.8
	非法人(n=25)	52.0	32.0	24.0	20.0	16.0	24.0	20.0	28.0	8.0	8.0
会員数別	30名未満(n=21)	66.7	23.8	28.6	38.1	14.3	14.3	14.3	19.0	9.5	9.5
	30～110名未満(n=20)	50.0	25.0	20.0	20.0	30.0	25.0	5.0	15.0	15.0	10.0
	110名以上(n=20)	50.0	35.0	35.0	15.0	30.0	20.0	25.0	10.0	15.0	10.0

単位(%)		その他	特にない
全体(N=62)		1.6	8.1
形態別	法人(n=37)	2.7	10.8
	非法人(n=25)	0.0	4.0
会員数別	30名未満(n=21)	0.0	9.5
	30～110名未満(n=20)	0.0	5.0
	110名以上(n=20)	5.0	10.0

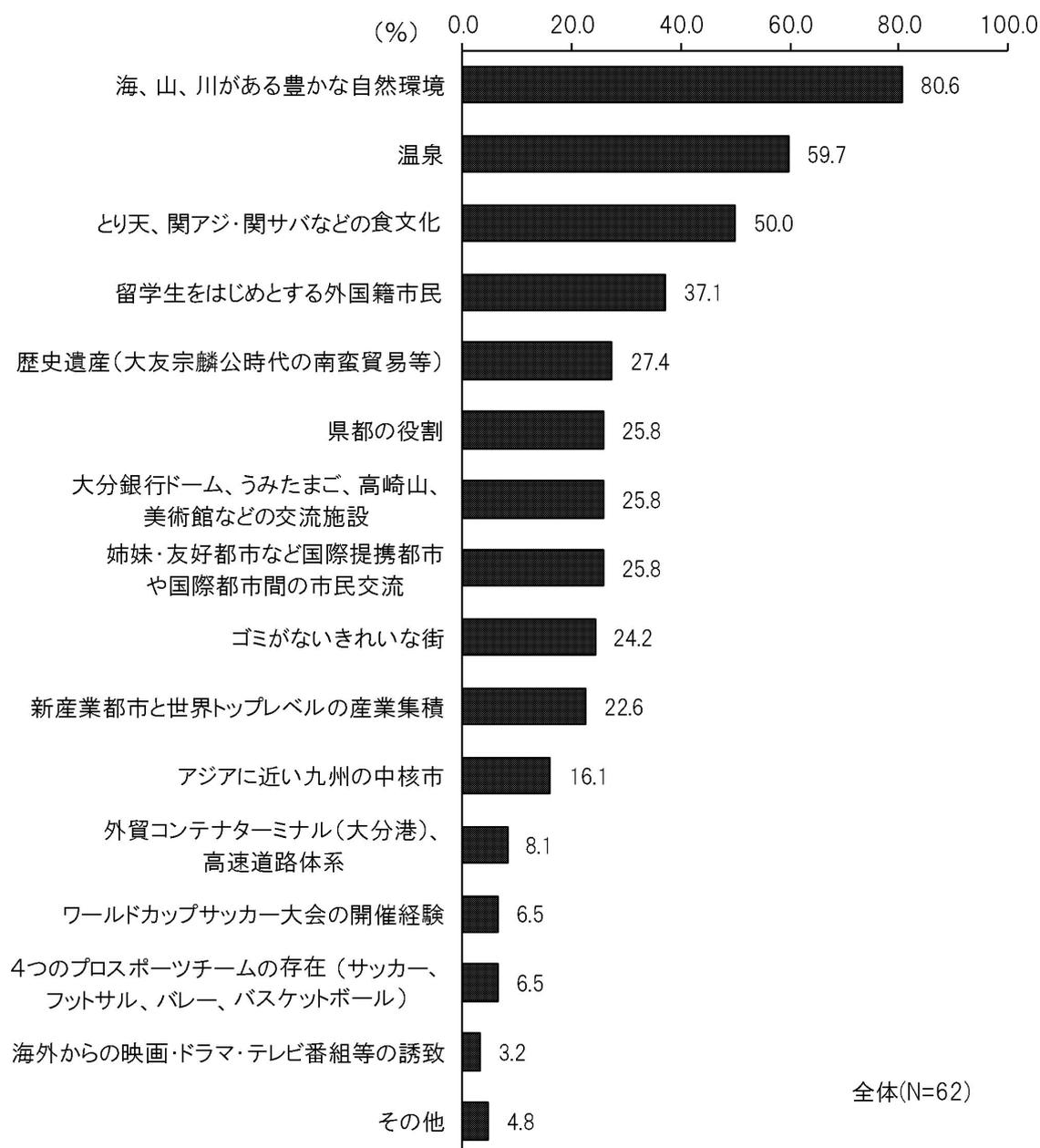
前回調査との比較をみると、今回調査では「リーダー等の人材不足」「語学力の不足」などが増加し、「会員数の不足」「自己団体のPR不足」などが低下した。



3. 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいこと(問7)

問7 大分市固有の特色や特徴で大切にしたいことは何ですか？(複数回答可)

国際化計画をつくる際に大切にしたい大分市固有の特色や特徴については、「海、山、川がある豊かな自然環境」が80.6%と突出して最も高く、次いで「温泉」(59.7%)、「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」(50.0%)、「留学生をはじめとする外国籍市民」(37.1%)の順となっている。



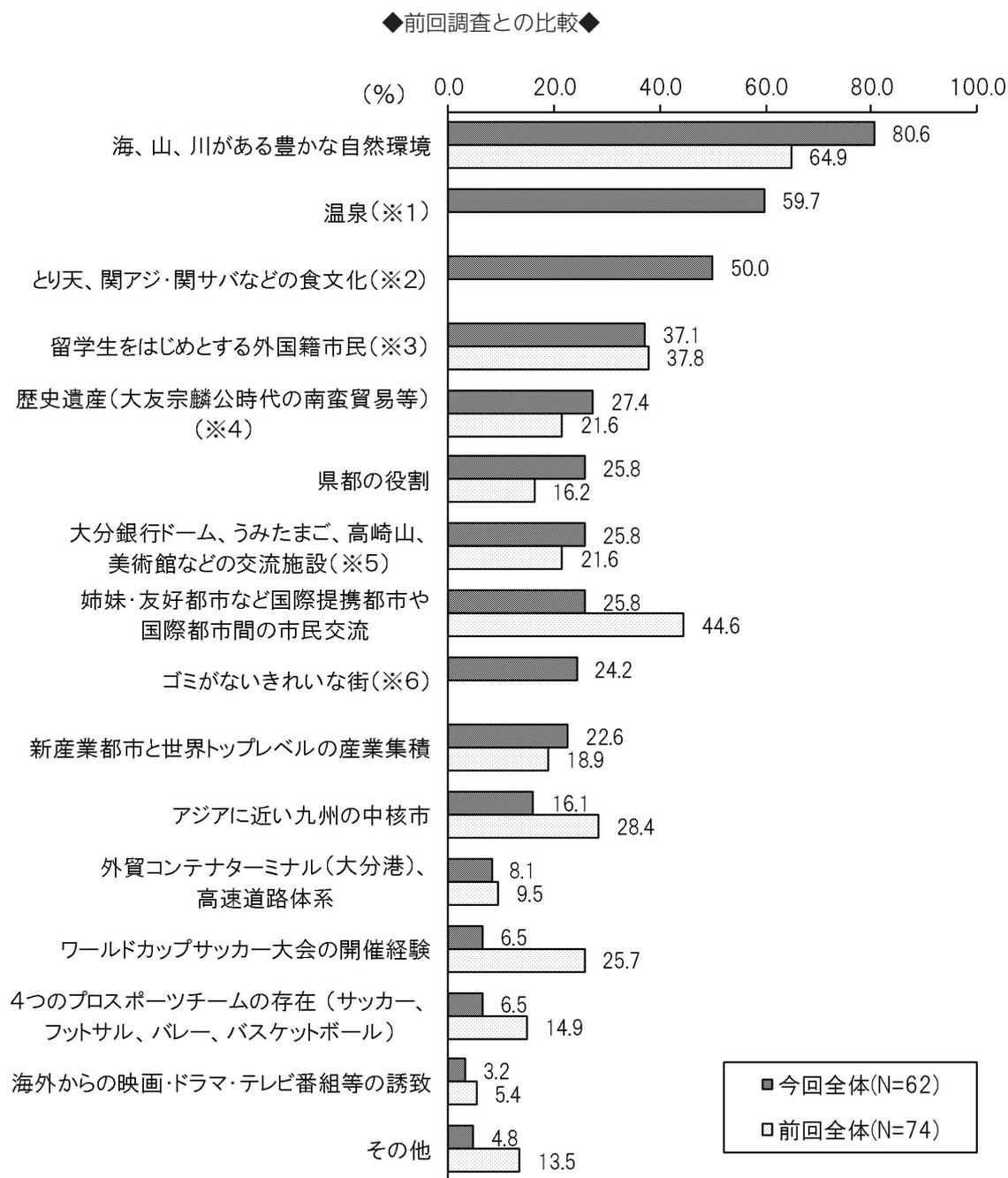
形態別では、法人で「ゴミがないきれいな街」「アジアに近い九州の中核市」「外貿コンテナターミナル(大分港)、高速道路体系」「ワールドカップサッカー大会の開催経験」、非法人で「とり天、関アジ・関サバなどの食文化」「大分銀行ドーム、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設」「4つのプロスポーツチームの存在(サッカー、フットサル、バレー、バスケットボール)」がそれぞれ高くなっている。

会員数別では、規模が大きくなるほど「歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)」「大分銀行ドーム、うみたまご、高崎山、美術館などの交流施設」「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」などが高くなる傾向にある。

単位(%)		海、山、川がある豊かな自然環境	温泉	食とり文化	民留学生をはじめとする外国籍市民	歴史遺産(大友宗麟公時代の南蛮貿易等)	県都の役割	高崎山、美術館などの交流施設	大分銀行ドーム、うみたまご	姉妹・友好都市など国際提携都市	ゴミがないきれいな街	新産業都市と世界トップレベル
全体(N=62)		80.6	59.7	50.0	37.1	27.4	25.8	25.8	25.8	24.2	22.6	
形態別	法人(n=37)	78.4	62.2	40.5	35.1	29.7	24.3	21.6	27.0	27.0	24.3	
	非法人(n=25)	84.0	56.0	64.0	40.0	24.0	28.0	32.0	24.0	20.0	20.0	
会員数別	30名未満(n=21)	81.0	71.4	52.4	42.9	9.5	14.3	14.3	14.3	33.3	9.5	
	30～110名未満(n=20)	85.0	40.0	40.0	35.0	25.0	30.0	25.0	20.0	20.0	30.0	
	110名以上(n=20)	75.0	70.0	55.0	35.0	50.0	30.0	40.0	45.0	20.0	25.0	

単位(%)		アジアに近い九州の中核市	外貿コンテナターミナル(大分港)	ワールドカップサッカー大会の開催経験	4つのプロスポーツチームの存在(バレー、バスケットボール、フットサル)	海外からの映画・ドラマ・テレビ番組等の誘致	その他
全体(N=62)		16.1	8.1	6.5	6.5	3.2	4.8
形態別	法人(n=37)	21.6	13.5	10.8	2.7	5.4	5.4
	非法人(n=25)	8.0	0.0	0.0	12.0	0.0	4.0
会員数別	30名未満(n=21)	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
	30～110名未満(n=20)	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	110名以上(n=20)	15.0	10.0	5.0	10.0	10.0	5.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「海、山、川がある豊かな自然環境」「歴史遺産（大友宗麟公時代の南蛮貿易等）」「県都の役割」などが増加し、「姉妹・友好都市など国際提携都市や国際都市間の市民交流」「アジアに近い九州の中核市」ワールドカップサッカー大会の開催経験」などが低下した。

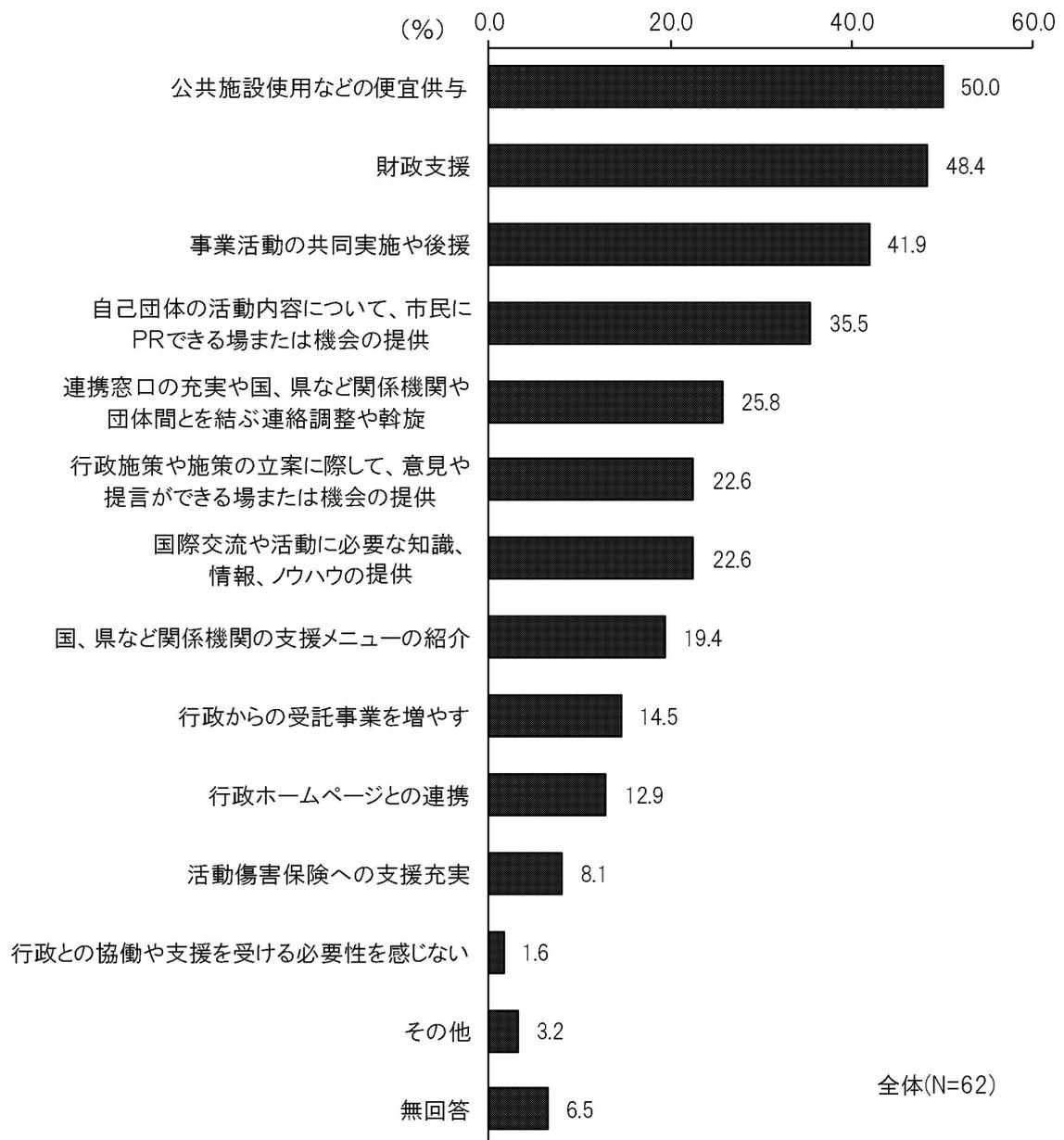


※1～2、※6：前回調査では選択肢に無い
 ※3：前回調査では「増加する留学生をはじめとする外国籍市民」
 ※4：前回調査では「大友宗麟公時代の南蛮貿易」
 ※5：前回調査では「九州石油ドーム、うみたまご、高崎山などの交流施設」

4. 国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望(問8)

問8 国際交流・協力を行う場合、行政にどのような協働(連携)を望みますか？
(該当5つ以内で回答)

国際交流・協力を行う場合の行政に対する希望は、「公共施設使用などの便宜供与」が50.0%と最も高く、ほぼ並んで「財政支援」が48.4%と続き、以下「事業活動の共同実施や後援」(41.9%)、「自己団体の活動内容について、市民にPRできる場または機会の提供」(35.5%)の順となっている。



形態別では、法人で「財政支援」「行政からの受託事業を増やす」、非法人で「自己団体の活動内容について、市民にPRできる場または機会の提供」「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」「国、県など関係機関の支援メニューの紹介」がそれぞれ高くなっている。

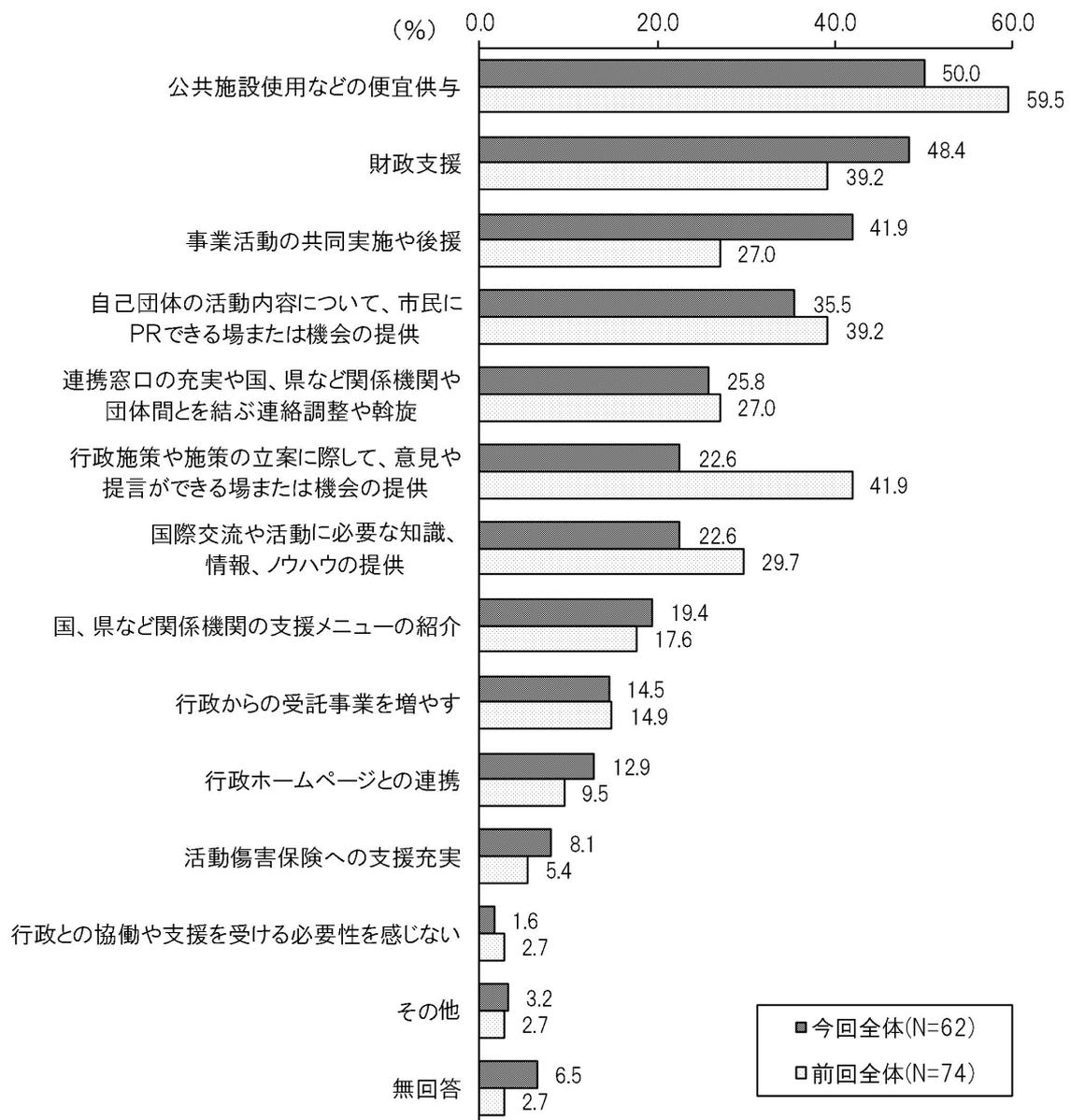
会員数別では、30名未満で「事業活動の共同実施や後援」、30～110名未満で「公共施設使用などの便宜供与」、110名以上で「行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供」がそれぞれ高くなっている。また、規模が大きくなるほど「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」「国、県など関係機関の支援メニューの紹介」が高くなる傾向にある。

単位(%)	公共施設使用などの便宜	財政支援	事業活動の共同実施や後援	自己団体の活動内容に関するPR提供	関係機関や団体間の連携調整	連携窓口の充実や国、県など関係機関の紹介	行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供	国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供	国、県など関係機関の紹介	行政からの受託事業を増やす	行政ホームページとの連携
全体(N=62)	50.0	48.4	41.9	35.5	25.8	22.6	22.6	19.4	14.5	12.9	
形態別											
法人(n=37)	48.6	56.8	43.2	32.4	24.3	24.3	16.2	16.2	21.6	13.5	
非法人(n=25)	52.0	36.0	40.0	40.0	28.0	20.0	32.0	24.0	4.0	12.0	
会員数別											
30名未満(n=21)	33.3	47.6	52.4	42.9	23.8	23.8	9.5	4.8	19.0	9.5	
30～110名未満(n=20)	70.0	50.0	30.0	30.0	35.0	10.0	25.0	20.0	20.0	20.0	
110名以上(n=20)	45.0	45.0	40.0	35.0	20.0	35.0	35.0	30.0	5.0	10.0	

単位(%)	実活動傷害保険への支援充	行政との協働や支援を受けなければならないと感じない	その他
全体(N=62)	8.1	1.6	3.2
形態別			
法人(n=37)	8.1	0.0	0.0
非法人(n=25)	8.0	4.0	8.0
会員数別			
30名未満(n=21)	9.5	4.8	4.8
30～110名未満(n=20)	0.0	0.0	0.0
110名以上(n=20)	15.0	0.0	5.0

前回調査との比較をみると、今回調査では「財政支援」「事業活動の共同実施や後援」が増加し、「公共施設使用などの便宜供与」「行政施策や施策の立案に際して、意見や提言ができる場または機会の提供」「国際交流や活動に必要な知識、情報、ノウハウの提供」などが低下した。

◆前回調査との比較◆



V フリーアンサー集約結果

1 個人／現在、実施している事業に対する意見等(問16)

大分市では、現行の「第2次大分市国際化推進計画」に基づき、様々な国際化及び国際交流事業を実施しています。これらの事業についてお尋ねします。

問16 上記の事業に関して、自由なご意見をお聞かせください。

現在、実施している事業については、自由記述によって尋ねたところ、次のような意見があげられた。

- ・あまり聞いたことのない事業ばかり(男性20歳代)
- ・観光客のマナー向上が急務(男性20歳代)
- ・様々な交流する機会があつてとても良いことだと思います。また、対象が中学生というのもあり次世代を担う若い年齢層の育成は大事だと思います。もっと大分から飛び出し海外を実際に感じる機会があるとなお良いのではないかと。(男性20歳代)
- ・知らない(男性20歳代)
- ・動員で満席になる事業でなく魅力あるイベントで、多くの市民が行ってみたいと思えるものへ変わることを期待しています(男性20歳代)
- ・マナーのよい外国人が来ることには賛成する(男性20歳代)
- ・興味の無い人は私同様全く知らないのもう少し情報を発信すべきである。(女性20歳代)
- ・車いすマラソンなどで世界に「大分」を知ってもらえるのはうれしく思います。世界におんせん県大分をもっと広めていただきたい(女性20歳代)
- ・知らない事業が多い(女性20歳代)
- ・武漢市との交流を多くされていますが、あまり武漢市のことについて知らない人も多いと思います。人がいっぱい集まる大手スーパーなどで武漢市の物産展や例えば独特のダンスを披露するなどの催しをみるとより親近感がわくのではないかと思います。(女性20歳代)
- ・もっと周知させたほうが良いと思います。CMやニュースで多く取り上げてください。全く知らない事業ばかりでした。(女性20歳代)
- ・私自身、興味を持って知ろうとしないのも原因の一つですが、上記イベントや事業があることをTVなどのメディアをもっと使って存在をアピールして強くプッシュするのも興味を持ってもらう方法だと思います。「おんせん県おいた」とPRしたような変化球のCMを流すのもいいと思います。(女性20歳代)
- ・21世紀はスポーツよりも音楽、絵画、演劇などの芸術に力をいれるべき。(男性30歳代)
- ・あまり知られてる大きなイベントが少ない。地理的に不利な面もある。大分市が空港から遠すぎる。(男性30歳代)

- ・大分国際車いすマラソンのようにスポーツの良さをいかして交流を増やしてもらいたい。(男性30歳代)
- ・行っている事業に対しての報道が少ない。事前に情報発信してほしい。(男性30歳代)
- ・偏った地域との交流の様な気がする。するからには、まんべんなく地域と交流を設けた方がいいかと(男性30歳代)
- ・車いすマラソン大会の国際招待選手の拡大・賞金を増やす努力が必要だと思う。障害者スポーツを大分の宝として打ち出すために国際レースとして価値を高めることは大分だからできること。(男性30歳代)
- ・今後すすむであろう少子高齢化に対し、外国人の移住や産業の流入、輸出、技術の海外への伝達など必須になってくると思います。国全体で考えないといけないお金(税金や国債)の問題など外国の方々の力が必要と思われるのでぜひとも促進をお願いしたいです。(男性30歳代)
- ・知っている事業はない。市民に対しやっているという感覚でいるのではなく、知ってもらおう努力をしてもらいたい。(情報発信が重要)(男性30歳代)
- ・市民の民度や所得、助成を見直ししない限り無駄だと思う(男性30歳代)
- ・長期的な視点で経済発展と恩恵をもたらす事業を始めるべき(男性30歳代)
- ・武漢市、武漢市とよく聞くが効果はほとんどなく税金の無駄使い。行政の自己満足である。(男性30歳代)
- ・ホームページに記載されていても興味がなければ誰も見ない。それでは意味がないので回覧板などで回すなどほかの手段も考慮してはいかが。(男性30歳代)
- ・大分市に30年以上住んでいながら知らないことが多かった(女性30歳代)
- ・大分に来て半年ですが国際交流や推進について何も感じたことがない。(女性30歳代)
- ・広報活動がないように思える。一部の市民しか知らないのではないか?もっとアピールを。(女性30歳代)
- ・国際交流や国外に目を向けることも大事だと思うが、もっともっと小さい範囲である大分市内に目を向けることの方が大事である。(女性30歳代)
- ・こんなにも多くの事業をしているとは知らなかった(女性30歳代)
- ・上記事業が行われていることを全く知りませんでした。とても素晴らしい取り組みですね。特にリトルオースチン村には興味があります。(女性30歳代)
- ・上記事業はまったく知りませんでした。知らない人が多いと思います。現在、小学校にあがれば充実した英語生活ができなくなることがすごく不安です。公立小学校にも早期に英語を取り入れてほしいと思います。小学校でも毎日英語を話すというのが理想です。(女性30歳代)
- ・武漢市と友好都市なのは武漢の森で知っているが何の活動をしているのか全く知らない。(女性30歳代)
- ・私が中学生の頃、体験入学で来られた中国の生徒がいましたが違うクラスであったため、あまり話をしたりする機会がありませんでした。クラス数多かったので仕方なかったのですが、すごく貴重な体験なのでこういう機会が増えると良いと思いました。(女性30歳代)

- ・ オースチン・武漢・NPO等聞いたことがある程度でどういった内容なのか周知されていないように思われます。国際交流等もっと身近に感じられるようになるとよいと思います。(男性40歳代)
- ・ 外国籍市民による犯罪の増加(男性40歳代)
- ・ 偏った地域だけの交流に感じる(男性40歳代)
- ・ 残念ながら知っている事業はありません。(男性40歳代)
- ・ 自動翻訳などハード、ソフトの開発提供(男性40歳代)
- ・ 少子高齢化で人口が減っていきます。GDPも減っていきます。人口が減るからといって外国人労働者が増えれば大分市民の失業者が増えていきます。つまり、目的の無いただの国際交流では意味ないということです。今後は、大分に限らず日本の企業はクリエイティブで新しい価値を生み出す企業を促進するようなグローバリゼーションが必要だと考えます。例えばアップル社のような大分発の世界企業を生み出すことができるような目的や計画を立ててほしいです。大分の企業や産業が一步踏み出すグローバリゼーションを期待します。(男性40歳代)
- ・ 知りませんでした(男性40歳代)
- ・ 何も聞いたことがない。情報発信が不足している。魅力的なホームページや「大分市アプリ」などがあると若者へ浸透するのではと思うが。(男性40歳代)
- ・ 予算はいくら(男性40歳代)
- ・ あまり把握できていない事業が多い。もっと情報提供してほしいです。(女性40歳代)
- ・ 大分は住みやすくとてもいい場所だと思います。ただ、国際化となると空港の便が悪く、少し遠いかなと思います。もっと早く気軽に足を運ぶというのは他県に負けているかなと思います。別府・湯布院など素敵な場所があるのでまだまだ伸ばせると思います。(女性40歳代)
- ・ 興味が無いこともあり、現状もあまり知らないのが事実です(女性40歳代)
- ・ 興味関心のある市民が気軽に(一人でも)参加できる交流イベントの開催。例えば、料理、キャンプ、教室、体験活動。また、情報発信にも力をいれて。(女性40歳代)
- ・ 車いすマラソン毎年楽しみにしています。大変良いことだと思っています。(女性40歳代)
- ・ 知っている事業がない(女性40歳代)
- ・ 上記事業について知っているの方が少ないと思います。情報発信の仕方について考えるべきではないかと思います。ニュースや市報、ホームページだけでなく各地域イベントなどに出展してみても。(女性40歳代)
- ・ 上記のどれも知りませんでした。どの程度広報されているんでしょう。(女性40歳代)
- ・ 知らない事業が多い。ホームページを見るまでしないのもっと違うPRも必要(女性40歳代)
- ・ テレビを見た程度で難しいことはわからない(女性40歳代)
- ・ どれも余り知らない。地元のニュースなどでもっと情報などが出るとわかるかもしれませんが。ペーパーは読まないで情報を映像などで伝えてほしい。(女性40歳代)
- ・ 武漢雑技団の素晴らしい公演を見ました。もっと多くの人たちにみてほしいですね。雑技団の若い同いぐらいの年代の交流会があると良い刺激になると思います。また、武漢市の中学生がとても頭がいいと聞きました。指導される先生方のお話も聞いてみたいです。(女性40歳代)

- ・ 武漢市とオースチン市が姉妹友好都市であることはずいぶん前から知っているが実際にどのような活動をしているのかあまり周知されていないように思う。車いすマラソンのような全国的にメディアで目に触れるようなものは印象に残る。もっと教育などに生かせないか。(女性40歳代)
- ・ 武漢市との交流は盛んに行われているが、オースチン市が姉妹都市といわれるまで知らなかった。車いすマラソンに参加される海外の方に大分の宣伝を帰国してからもお願いしてほしい。そこから、その方だけでなくその国との交流が自然に生まれれば良いと思います。(女性40歳代)
- ・ 武漢の森の近くに住んでいるので友好都市なのは知っていますがその活動をよく知りません。もっとアピールして欲しいし、武漢の森をもっと活用して欲しいし、市民のみなさんに知ってもらいたいです。(女性40歳代)
- ・ 目的は何なのか、本当に必要な事業なのかをしっかりと話し合ってもらいたい。ずっと続けているからなどという理由ではなくそのあたりをきちんとしてほしい。内容に関しても費用に関しても私たちの税金を使用しているのだから、きちんと意義を話し合い有意義な事業にしてほしい。何でも始めたらやめられないのではなく、必要がないものはやめることも必要。(女性40歳代)
- ・ 大分県の海外戦略からいえることは、これからますます外国人(特にアジア)との交流が盛んになると思われます。外国人との文化交流は学校教員である私にとっては重要なことだと思います。互いの文化を尊重していろんな国の人が大分市に来られても住みやすい環境をつくることだと思います。(男性50歳代)
- ・ 大分市のどこの機関がどのような活動をしているのか全くわからない。(男性50歳代)
- ・ 交流都市を増やしたい(男性50歳代)
- ・ CMが不足(何も考えてない人が知るくらい必要)(男性50歳代)
- ・ 市報などを利用してもっとアピールしてほしい(男性50歳代)
- ・ 市役所が予算を確保してやるべきではない。民間団体への補助金等にすべき。(男性50歳代)
- ・ 全然知らなかったことに驚いております。(男性50歳代)
- ・ 相互理解の観点から言うと、近隣国だけでなく遠くても親日国への積極的な国際交流事業展開が必要であると思う。(男性50歳代)
- ・ 単発的なイベントに力を集約するよりも長期的に見て何が必要なのかを重要視してPDCAの管理手法等を駆使しながら効果を最大化していくことが、これからの事業運営に求められるのではないかと思います。(男性50歳代)
- ・ もっと市民が知ることができるようPRすべき(男性50歳代)
- ・ もっと市民全員参加型の国際化に取り組んでいる一大イベントを開催してほしい。たとえば、各地の祭りや踊りを終結させ、そこに友好都市の祭りもきて、人も来てもらう。秋に行うのが良い。(男性50歳代)
- ・ もっと宣伝してください。ほとんど知らない。(男性50歳代)
- ・ ルーマニアのバカウシティ在住の女性、子どもとの交流をしていますが、同じ人間外国人だからといって特別変わることはないと思う。文化の違い、言葉の違いはあってもなんら日本人と変わらないですよ。(男性50歳代)

- ・以前にアペイロ市へ音楽交流で訪問した折、先方の役所の方が関わって準備をしてくださいました。が、内容については丸投げ状態で失望の連続でした。きっと、役所同士または協会同士などの交流ならもっと丁寧に関わってくれるのか、と思いました。中高生も参加していたのでとても残念でした。アペイロ市は小さな町なので職員も少ないとは思いますが、交流は形式ではないということをはっきり認識した思い出があります。(女性50歳代)
- ・大分の農業もすばらしいので外国に輸出できるようにしたらどうか。地域によっては外国からの子どもがいる場所もあるようなのでもう少し子育てにやさしい大分市にしてほしい(女性50歳代)
- ・聞いたことはいくつかあるが、自身関わっていないため無関心でした。まずは居住地を優先で考えていました。少しでも情報があれば協力できるかも。(女性50歳代)
- ・車いすマラソン大会では外国の方々の生き生きとした姿に感動しています。身近な友人もボランティアに参加し話を聞いたりすることで、国際事業の活動を陰で支えてくださっている方々の精神に深く感謝しているところです。(女性50歳代)
- ・国際交流では一方的な要求、要望をしたりまたそれを受け入れたりすることなく、相互に人と人として生きる地球人であることを大切に考えていくとよいと思います。(女性50歳代)
- ・事業としてのPR不足を感じます(女性50歳代)
- ・姉妹都市の件ですが、大分のテレビ等からは武漢市との交流ばかりニュースで出ますが、他都市のことはあまりありません。他都市との交流を行っているなら、もっと情報を流してください。偏っているのでは。(女性50歳代)
- ・台湾との交流はないのですか？(女性50歳代)
- ・長期間定着している事業は当然のように知っていますが、それにしても知らない事業が多すぎます。意識して知るようにしたい。(女性50歳代)
- ・テレビは福岡放送を見ることが多い。新聞は地元紙を購読していない。周りの人は大分についての話題が何一つない。この理由で情報がなかなかとれない。(女性50歳代)
- ・特に中国、朝鮮との交流は百害あって一利なし(女性50歳代)
- ・特にリトルオースチン、中学生相互派遣、武漢35周年は推進継続してほしいです。(女性50歳代)
- ・武漢市以外のことあまり知らないことが多かった。姉妹友好都市をもっと増やしてほしい。(女性50歳代)
- ・文化やスポーツ、ビジネスなど才能がある人が参加できる企画が多い気がしますが、もっと身近なテーマで交流できるような事業があればいいと思います。例) いっしょにダイエット、定年後の楽しみ方、大人の交換留学、自然エネルギー技術交流(家庭レベル)など(女性50歳代)
- ・韓国、台湾、インドネシア、ベトナムとの交流が今後大切になる。若い世代のホームステイの拡大で大分の若い世代の育成を！武漢市との交流に偏っている感がある。上海との交流も大切。(男性60歳代)

- ・ HPからの情報発信にはFBからの導入も併せて行う必要があり広く認知度をあげるにはツイッターではなくFBの効果は比べるまでもなく大きいものがあります。(男性60歳代)
- ・ あまり世間には知られていないようです。原因として考えられるのは①PRをしても特定の間人しか集合しないのもっと深く意義等で地域等の密着型の(体制作りがいるのでは)②一般地域性に合った普通の人が普通に活動できること。③現状では、企業の社長や公務員の長が旗振りでは人が関心を持たないので、地域に住むご近所からのスタートが大事だと思われる。(男性60歳代)
- ・ あまり身近に感じない(男性60歳代)
- ・ 今の市政は閉鎖的。なぜ交流が必要なのか考えてほしい。市民と対話する市政がほしい。(男性60歳代)
- ・ 今までどのようなメリットがあったのか(男性60歳代)
- ・ 大分市国際化推進の実施内容はPR不足でしょうか？(男性60歳代)
- ・ 大分の良さを文化交流、グローバル化を通じてさらに高め、若い世代が潤う、例えば別府のAPUのように交流によって生まれる知ってもらうことが大分のためになることがあります。多くの人に来てもらうようになると発展につながる。国際化は大いに賛成でき実行に実のあることを望みます。(男性60歳代)
- ・ 「おんせん県大分」を明確にし人と人の付き合い裸の付き合いを通じ差別の無い国際交流を希望します(男性60歳代)
- ・ 外国人は当然ですが日本人自身が日本の歴史を正しく認識するべきだと思います。また、各国の歴史、文化、生活習慣等を十分に理解したうえで海外旅行あるいは外国人と交際すべきだと思います。(男性60歳代)
- ・ 会社関係で中国、シンガポール、マレーシア、ヨーロッパに行きましたが日本のように治安が良くない。観光ではシンガポールやヨーロッパはよいですが、中国は考え方が違うので犯罪が起らないようにしてほしい。今はシンガポールなどは中国人が40～50%住んでいます。以上のことを考えビジネスや姉妹都市を考えてほしい。(男性60歳代)
- ・ 聞いたことはあるが具体的にはわからない(男性60歳代)
- ・ 気軽に市民が参加できる事業を多くし、国際交流を活発にしてもらいたい。そのため伝統芸能や民謡を一層活用してもらいたい。(男性60歳代)
- ・ 釘宮市長勇退を機に武漢市との関係にピリオドを打ってはどうでしょう。(男性60歳代)
- ・ 具体的に知らないし、参加したこともない(男性60歳代)
- ・ 車いすマラソン、夢色音楽祭は市民が身近に感じられることができ、大分市に根差した事業でもあるので大変良い。毎年、楽しみに応援、見物に出かけています。(男性60歳代)
- ・ 車いすマラソンは良い。ポルトガル、武漢は無駄。東南アジア方面が良い。(男性60歳代)
- ・ 交流状況を市報等でもっと市民に知らせるべき(男性60歳代)
- ・ 国際化推進計画といっても余り関心がないので私たちにアンケートしてくださいといってもよく返答できない。(男性60歳代)

- ・ 国際交流に関わることに對し、高齢化になるとなじめない人が多いのではなからうか。車いすマラソン、雑技団公演など参加しやすいが交流となるとなんかおおげさで参加しにくいので、もう少し参加するものがあっても良いのでは。(男性60歳代)
- ・ これからも積極的に取り組んでください。(男性60歳代)
- ・ これらの事業は市民にはまったく見えない。関心がない。このアンケート項目も「何を問うているのか」が不明。総花的では何も見えない。「的を絞り、見える化」を図るべき。(男性60歳代)
- ・ 今後も積極的にできることは広く継続して欲しいし、新規事業に取り組んでほしい。応援します。(男性60歳代)
- ・ こんな事業をしているんだということをアピールしてもらいたい。知らない人が多いと思う。(男性60歳代)
- ・ 市ができること、県がやるべきことを仕分けしても良いと思う。市の負担を軽く。(男性60歳代)
- ・ 事業を凍結し、JR大分駅～大分空港間の線路を完成すること。(男性60歳代)
- ・ 実績の上がってる事業に対して集中していく。インターネットを活用したアピールをする。(男性60歳代)
- ・ 市民として誰でも住みやすい町づくりをすることができればことさらイベントをしたり多額の予算を使って海外交流することはないと思う。外国籍市民も豊かに暮らせる街づくりを(男性60歳代)
- ・ 地元の新聞を読んで知っている。マスコミの効果は大きい。(男性60歳代)
- ・ 上記事業の活動情報その他に接する機会がない。このように興味を抱かないのは内容に欠けるからでしょうか。(男性60歳代)
- ・ 上記事業全く知りません(男性60歳代)
- ・ 上記事業を行うことで大分市の人口が増加するのであれば積極的に行うべきだが、そのようなことがないなら再考すべき(男性60歳代)
- ・ 市レベルでは特に国際交流は必要とは思えない(男性60歳代)
- ・ 成果について外部評価を公表したらどうでしょうか(男性60歳代)
- ・ 全然認識ありません。(男性60歳代)
- ・ 地方で育成した人材が都市へ流出するのではなく、流入する箱ものや企業、大学を誘致する。県、市の部長級以上昇進条件に外国人を2年以上ホームステイさせると英会話を必須条件に。観光産業の掘り起こしで、肌の色、言葉の違う人が行きかう町、村で外国人にふれあうことで外国を身近に感じる。国際化へつながる。(男性60歳代)
- ・ 中学生相互派遣事業は広く市民に知らせていない。以前、PTA連合会の関係で知っているがもっと多方面に知らせていく方がよい。(男性60歳代)
- ・ 中国、韓国は国の指導者の考え方で交流が左右される。政治に影響されない国との交流を優先し、当事国が民主化が進まない限り本当の文化理解はできないのでは。(男性60歳代)
- ・ 中国からの研修生の受け入れは大分市にとって相応する何か利益がないとそれは交流できない。大分市がなぜ中国とするのかわからない。大分市が持つノウハウが中国にとって必要なくなればそれで終わりになるのでは。(男性60歳代)

- ・できるだけ長期に渡り継続してほしい(男性60歳代)
- ・ どうして友好都市になったのかよく知りませんが提携や交流に対しどのような意義や効果があるのかもっと市民に訴えてはどうでしょうか。(男性60歳代)
- ・ 取り組みの成果について広報発表などがあるとより理解が深まると思う。(男性60歳代)
- ・ 内容の濃い事業と継続をお願いしたい。(男性60歳代)
- ・ 費用対効果の説明が一切ない。外から見れば旅行気分での視察にしか思えない。(男性60歳代)
- ・ 武漢市との交流で今までどんな成果があったかは不明。どの程度予算を使っているのかは不明。もう収束に向けた考えもあって良いのではないか。きれいごとばかり並べないでほしい。(男性60歳代)
- ・ 武漢市との交流本当に日本のためになっているのか。相手国のわがままにいつまでつきあっていくのか。国と国は別問題と考えているのか。(男性60歳代)
- ・ 武漢市は大分市を見ていない、新日鉄を見ている。訪問者は一度外国から日本、九州、大分を試してみる必要があり。もっと自由に訪問できる日本にする必要あり、上から目線ではダメ。(男性60歳代)
- ・ 武漢との交流に熱心のようにだが果たして武漢市民は大分市のことについて理解があるのか疑問(男性60歳代)
- ・ 文化交流は文化の交流だけにして(男性60歳代)
- ・ 友好都市のことなど初めて知りました。市民のどれぐらいの人が知っていますか(知りたい) (男性60歳代)
- ・ 一般市民も参加できる場を設けてほしい。市報等にイベント等を詳しく載せてほしい。(女性60歳代)
- ・ いろいろな事業が関係するところだけの行事になっている気がする。市報やHPの告知だけでは各年齢層に伝わりきれていないのではないかと思う。(女性60歳代)
- ・ インターネットを活用する機会が増えていく。これからの情勢に合わせた取り組みが必要となってくると思います。(女性60歳代)
- ・ 大分市が国際交流事業を行っていることをほとんど知りませんでした。新聞やニュースで紹介されていると思いますが注意がたりませんでした。(女性60歳代)
- ・ 大分市民でありながら1つしか回答できなかった。興味を持って大分市をもっと愛する心があればいろいろ知識を得たと思うが、今後は大いに関心を持って生活したい。(女性60歳代)
- ・ 国際車いすマラソンや夢色音楽祭へは参加しています。選手の息遣いが伝わる車いすマラソンは感動しています。夢色音楽祭は南こうせつのファンなの楽しみにしています。(女性60歳代)
- ・ 市報にて事業に参加した人の数、意見などもう少し載せてほしい。様々な事業を通じて新しく起業があったか教えてほしい。(女性60歳代)
- ・ 知らない事業が多い(女性60歳代)
- ・ なぜ反日、抗日の中国と交流するのか。市の一部の人間の思想的思惑があるのではないか。こんなことに税金を使わず市民の直接的な生活に使い。これで日中関係が良くなったのか。(女性60歳代)

- ・ 武漢市を通じて中国との国交関係が良好になればと願っています。(女性60歳代)
- ・ 若者を海外に参加させる事業を、市、県として力を入れてほしい。自分にできることはお手伝いしたい。(女性60歳代)
- ・ 一般市民は上記事業をほとんど知らない。効果的な情報発信が必要。(男性70歳以上)
- ・ いろいろな方面に向けてしっかりとした行事が行われていることを初めて知りました。ただ、勉強不足もありますが、知らないことばかりです。(男性70歳以上)
- ・ 大分市が中国武漢市との交流を図ることより日中関係の国交が少しでも柔らかくなることを期待しています。(男性70歳以上)
- ・ 大分市国際化推進計画の目的と意義、期待効果並びに成果が示されていないので、今後の進むべき方向について何をベースに回答していいのかわからない。(男性70歳以上)
- ・ 大分市は県都だけに多くの事業を展開していることは知っている。今後は全国的にも国際化の充実、拡大が進行することは明白である。このため、これらに向けた人材育成交流施設整備拡充等、地域社会づくりの推進を期待している。(男性70歳以上)
- ・ 大分の観光資源をさらに世界に向けて発信する必要がある。ただし、受け皿の準備を徹底的に実施しなければならない(男性70歳以上)
- ・ 大在埠頭に外国からの大型クルーズ船をつける(男性70歳以上)
- ・ 外国人が入ってくると日本人の負荷が大きくなるので慎重にお願いしたい。例えば、市報の多言語化。外国人教師の増加。(男性70歳以上)
- ・ 外国人数が住民数に対して非常に高い別府市を隣組に持っている大分市がもっと協力して良い方向へ持っていくことが「大切です」縄張り根性をなくせ。(男性70歳以上)
- ・ 外国人との交流は大切かもしれないが常識人ばかりとは限らず外国人の常識外犯罪に不安を覚える。生活保護を目的に入国する外国人が許せない。(男性70歳以上)
- ・ 外国の方と交流するにも外国語を話せない高齢者が多い。簡単な日常会話できるよう自治会単位で英会話教室を開いてもらいたい。英会話は認知症予防になるので多数参加すると思う。英会話教室に補助金が出れば自治会で開催したいと思います。(男性70歳以上)
- ・ 車いすマラソン、アルゲリッチ音楽祭など協働参加型の行事、イベントの掘り起こし市民、在日の方による運営、発展させていく。たとえば、トライアスロン、府内ばっちゃんの国際化など。(男性70歳以上)
- ・ 車いすマラソンにおける市民の協力は大切。これからも続けてほしい。(男性70歳以上)
- ・ 継続すべし(男性70歳以上)
- ・ 現在、中国との交流が中央政府との軋轢によって以前ほど活発さに欠けているようです。武漢市など相手とのパイプを太くすることが肝要です。(男性70歳以上)
- ・ 広報活動不足だと思います。中国より韓国、台湾、アメリカ、西欧のほうが親しまれるのでは。(男性70歳以上)
- ・ 交流窓口で外国語を話せる人を増やす運動必要と感じます(3か国語程度)(男性70歳以上)
- ・ 国際化推進計画に基づき種々の交流事業を実施されているようですが、問10、問14等で回答いたしておりますが、これらに関する情報が少々不足しているのではないのでしょうか、市民として理解が低いと思っておりますので、回答に最良の意見が出ますかねと疑問に思っております。(男性70歳以上)

- ・国際化について市民が関心できるような情報活動、情報が少ない。活動についての報告。ホームステイの取り組み。(男性70歳以上)
- ・国際交流が自分の生活、県、市、にとってどう変化し生まれるのか？または期待して活動していくのか。みんなが知る必要がある。市民が日常生活の中で自然に参加している「参加していた」といったようなうまい方法はありませんかね。県、市の将来を考えるとこの計画は良いことだと思います。(男性70歳以上)
- ・国際交流事業において一般市民が参加できる内容が非常に少ない。外国の文化、祭りなどの行事を数多くできるといいと思います。テーマ、情報内容が硬すぎる。行政文章。(男性70歳以上)
- ・国際交流は今後も大分にとって良いことだと思う。治安に関しては十分な対策をして欲しい。外国の方にもマナーは守っていただきたい。(男性70歳以上)
- ・国際的な視点に立った個性ある大分市の構築と街づくり。ビジュアル情報の積極的な発信(男性70歳以上)
- ・子どもに道徳教育を行ってほしい(男性70歳以上)
- ・このような事業での助成金はやめて、観光で来てもらいその中で大分県、大分市を知ってもらえばよい(男性70歳以上)
- ・最近中国との関係は悪化する一方で少し冷却期間を置くべきかと思う(男性70歳以上)
- ・市議の関係で武漢の関係は視察に参加したので知っています(男性70歳以上)
- ・事業がいろいろあるが浸透度がどこまでか、このアンケートで判明されると思うが、実施方法、結果把握を都度検討していただきたい。こちらが無関心だったのかもしれませんが。(男性70歳以上)
- ・事業実施は良いことだと思います(男性70歳以上)
- ・事業の周知説明案内不足。市報で特集を組む必要ありと感じる。(男性70歳以上)
- ・事業を知らなかった。市民の大半は認識がないと思う。もっとPRを(男性70歳以上)
- ・知っていますが今は自分たちの生活しか考えられません。(男性70歳以上)
- ・市の取り組みは評価するが、末端住民の立場では国際交流を意識したら何もできない。地域の地域に見合う行事や活動に、居住する外国人留学生も地域住民と同じレベルで参加する場機会を通じて結果として交流が促進されればそれでよいのではないか。それが地域の役割だと思う。(男性70歳以上)
- ・姉妹都市オースチン・武漢市等ありますが市民一般の方々はどのぐらい認識しているのでしょうか？(男性70歳以上)
- ・姉妹都市交流事業の充実。青少年に限らずに多くの世代の人々にも広げること(男性70歳以上)
- ・姉妹都市を多く作り青少年交流を定期的に行う、継続させる。外国を知ることは個のスキルアップとなる。(男性70歳以上)
- ・知らないことが多い、もっとPRしてほしい(男性70歳以上)
- ・大変良いことだと思います。(男性70歳以上)
- ・中高生を対象に1カ月程度外国に派遣し視野の広い青少年の育成に力を注いでください。5カ国に各20人程度、将来を担う若者に思い切った施策が必要。(男性70歳以上)

- ・ 中国、韓国との交流が本当に必要なのか。草の根活動は理解できるがそれよりも他の国との友好を進め、日本の文化、生活習慣を理解してもらい、第3国経由で中国、韓国に理解してもらえればいいのでは。(男性70歳以上)
- ・ 日常生活において外国人の姿を見ることが多く違和感をまったく感じない。自然環境を生かし文化、芸術を中心に自然に交流が増加するようになれば時間はかかるが長続きの交流ができると思います。よって、現状諸策を少しずつ強化していくことが良いと思っています。(男性70歳以上)
- ・ 恥ずかしいことですが理解度ゼロです。(男性70歳以上)
- ・ もっと情報発信してほしいです。(男性70歳以上)
- ・ 約27年前に我が家に武漢市の子供をホストファミリーとして受け入れ、その体験で以降国際交流を始めた。現在は娘が引き継いでいる。中学生の交流事業で自国の「良・悪」がそれなりに理解して、本人の成長と我が家の生活に大変役立ちました。ただ、ホストファミリーには経済的な問題も考える必要がある。(男性70歳以上)
- ・ リトルオースチン村について初めて知りました。詳しく知りたいです。(男性70歳以上)
- ・ 大分市国際化推進計画とは大きいものに思えるが、大分市のやることは小さくていいのではないか。全体をみて考えるべき。(女性70歳以上)
- ・ 経済発展の著しい中国の武漢市との経済面においての交流を積極的に行うべきだと思う。(女性70歳以上)
- ・ 現在の中国政府が変化なく続く限り、幅広い武漢市との交流を促進すべきである(女性70歳以上)
- ・ 事業については詳しくは知りません。もっと市民へ伝える手段を広めていくことが良いと思います。行政がせっかくやっていることは、市民に届くこと、市行政の大切なことだと思う。このアンケートで知ったことも多いです。私だけですかね？(女性70歳以上)
- ・ 事業名は知っているが活動内容まで知らない(女性70歳以上)
- ・ 小・中学校の子ども達が関わっていく事業活動を提供してほしい。(女性70歳以上)
- ・ 次の世代を生きていく若い人達に広く世界をみてもらいたい。そして自分の住んでいるこの大分市が自分の生活している場所がどれ程幸せな場所であることを自覚してもらいたい。(女性70歳以上)
- ・ 娘が2年間オースチンに住みましたが、外人が多く土地が広く住みよく生活が楽しかったと言っていました。大分にまだまだ外国人が住んでほしいです。空家対策。(女性70歳以上)
- ・ 良く知らない(女性70歳以上)
- ・ 私が50歳のときインドネシアの方が会社に2年間いました。日本語も早く覚えて、外国の方と楽しく作業ができました。(女性70歳以上)

2 留学生／アルバイトに対する希望(問11)

問11 アルバイトをする場合の希望はありますか？(職種、給料、労働時間など)

アルバイトをする場合の希望について、自由記述によって尋ねたところ、次のような意見があげられた。

- ・ いい仕事がしたい。給料は高い方がいい。(男性10歳代・1年未満)
- ・ コンビニ、スーパーでレジがしたい(男性10歳代・1年未満)
- ・ コンビニで働きたいですけど、時間があればあるほどいいです。(男性10歳代・1年未満)
- ・ 喫煙を自由にしたい(男性10歳代・1年未満)
- ・ 弁当つくる。給料8～8.5万。一日4時間(女性10歳代・1年未満)
- ・ 15時～19時まで(男性20歳代・1年未満)
- ・ 4～5時間(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ アルバイトしたくない(男性20歳代・3年以上)
- ・ アルバイト時間の延長(男性20歳代・1年未満)
- ・ アルバイト時間は週30時間がいい。時給1,000円(男性20歳代・1年未満)
- ・ アルバイト時間は週38時間がいい(男性20歳代・1年未満)
- ・ いいバイトをしたいです。時給800～900。(男性20歳代・1年未満)
- ・ いっしょに働く人がいい人であればなんでもいい(男性20歳代・1年未満)
- ・ お金(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ コンビニ(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ コンビニ(男性20歳代・1年未満)
- ・ コンビニ。週28時間。時給800円(男性20歳代・1年未満)
- ・ スーパーで働きたい(男性20歳代・1年未満)
- ・ スーパー惣菜であげながらつめる。時給700円。4時間(男性20歳代・1年未満)
- ・ デパートで仕事したいです(男性20歳代・1年未満)
- ・ どこでも役立つ仕事がしたい(男性20歳代・1年未満)
- ・ パソコン関係の仕事がしたい(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ ホテルの仕事(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ ラーメン屋でアルバイト。月10万(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ レストラン。18時～22時(男性20歳代・1年未満)
- ・ レストラン。時給850円。一日6時間。(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ レストランで午後2時からアルバイトをしたい(男性20歳代・1年未満)
- ・ 一週間28時間。時給1,000円(男性20歳代・1年未満)
- ・ 一日4時間。時給750円(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ 飲食業、30万ぐらい、一日7時間(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ 飲食業、時給800円、1日3時間(男性20歳代・1～3年未満)
- ・ 英語教える(男性20歳代・1年未満)

- ・外国人に対するアルバイト情報 (WEB サイト) があれば良いと思います (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・学校で勉強した知識を活かすことができるところ (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・楽しかったらなんでもいいです (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・給料 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・給料あげてもらいたい (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・教えること、時給 1,000 円 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・私たち外国人だからバイトすると厳しい。アルバイトの面接は自分でして OK になったらいい。今は保証人が必要です。私たちは保証人がいません。 (男性 20 歳代・年数不明)
- ・事務所のアルバイト。時給 1,000 円。4 ～ 8 時間 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・時給 1,000 円ほしい (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・時給 1,000 円以上。働く時間と賃金を増やしてほしい。 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・時給 750 円。4 時間 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・時給 800 円以上、労働時間 (夜、週末) (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・時給が高い方が良い (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・時給が高くて、時間も長い (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・時給の高いところ (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・時給を高くもらいたい (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・週 28 時間。 (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・週 28 時間。月給 7 万～ 9 万 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・情報系、国際交流 (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・静かなところで仕事がしたい (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・日本語ができればコンビニでバイトしたい。日本人と話すために時間はどれぐらいでもいいです。 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・日本語よく練習できる場所 (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・日本人と話しの時間や機会が多くなりたいです。給料が高くなってもいい。 (男性 20 歳代・1 年未満)
- ・勉強していることに関するバイトがしたい (男性 20 歳代・3 年以上)
- ・母語に関係する仕事がほしい (男性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・お魚をパック。月 6 ～ 7 万。13 ～ 17 時 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・コンビニ。給料は 800 ～ 1,000 円/時。時間は 4 時間。週 3 ～ 4 勤務。 (女性 20 歳代・1 年未満)
- ・コンビニのレジ。時給 1,000 円 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・サービス業、日本語力を高める (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・スーパーで惣菜のバイト。月 7 万。 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・ドラッグストア、時給 780 円、週 3 日× 4 時間 (女性 20 歳代・1 年未満)
- ・ものをつくる。月 7 万。週 25 時間 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・レジの仕事。夜 5 時～ 10 時。時給 700 円 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・レストラン。時給 1,200 円 (女性 20 歳代・1 年未満)
- ・レストランでアルバイト、1 日 4 時間、給料は月 7 ～ 8 万 (女性 20 歳代・1 ～ 3 年未満)
- ・レストランとか人と話せるところ (女性 20 歳代・1 年未満)

- ・ レストランのホールの仕事がしたい。時給850円以上ほしい(女性20歳代・1年未満)
- ・ 一日5時間ぐらい(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 飲食業(ホール)、語学教室(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 家庭教師、時給1,500、一回2時間、週2～3(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 休みを自分で決められるところ(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 給料(女性20歳代・3年以上)
- ・ 給料が高いところ(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 給料が高く、労働時間が調整できるところ(女性20歳代・1年未満)
- ・ 給料が高くなりたいです(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 給料は低い(女性20歳代・1年未満)
- ・ 近くて時給高い(女性20歳代・1年未満)
- ・ 工場の軽作業、語学教室、洋服屋、本屋。給料はできるだけ貰いたい。授業に支障のない週末に希望する。(女性20歳代・1年未満)
- ・ 今の時給が755円ですが800円に引き上げてくれたらいい。(女性20歳代・1年未満)
- ・ 時給1,000円以上(女性20歳代・1年未満)
- ・ 寿司とかデザートとか揚げ物をつくる。18～22時。月60,000円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 週27時間。レストラン。月75,000円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 洗い物。月6～7万。20～28時間(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 通訳(女性20歳代・3年以上)
- ・ 通訳、自分の国の言語を教えるバイト。労働時間4時間。時給700～1,000円(女性20歳代・年数不明)
- ・ 日本語を使うところで働きたい。時給900～1,200円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 半年以下の短期のバイトがしたい(女性20歳代・1年未満)
- ・ 病院(女性20歳代・1年未満)
- ・ 勉強が忙しくてわかりませんし、情報もありません(女性20歳代・1年未満)
- ・ 勉強や自分のプラスになること(女性20歳代・3年以上)
- ・ 弁当つくる。給料6万。1週間に20時間(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 弁当つめる。月58,000円。13時30分～5時半(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 留学生のできるアルバイト、時給1,000円(女性20歳代・1～3年未満)
- ・ 労働時間、週末朝8～5時(女性20歳代・1年未満)
- ・ 労働時間が1日4時間以内で一週間3日(女性20歳代・1年未満)
- ・ 飲食業、時給800円、1日4時間(性別不明20歳代・1～3年未満)
- ・ 寿司つくる。18～22時(性別不明20歳代・1～3年未満)
- ・ 日本語を良く使う仕事(性別不明20歳代・1～3年未満)
- ・ スーパーで一週間に28時間です(男性30歳代・1年未満)
- ・ なんでもいい(男性30歳代・1年未満)
- ・ レストランでアルバイト(ホールの仕事)。時間は6～10時まで。時給は700円です。(女性30歳代・1～3年未満)
- ・ 語学教室(女性30歳代・1～3年未満)
- ・ 時給900～1,200円(女性年齢不明・3年以上)
- ・ ホールの仕事。月給10万(性別不明年齢不明・年数不明)

3 国際交流団体／国際化や国際交流に関する意見(問9)

問9 国際化や国際交流・協力に関して自由なご意見をお聞かせください。

国際化や国際交流について、自由記述によって尋ねたところ、次のような意見があげられた。

- ・ 県内、あるいは市内の国際化や多文化共生の推進には今後とも関係機関の連携や協調が必要不可欠である。大分市のさらなる積極的な取り組みを期待します。(法人10名未満)
- ・ 行政が中心になって活動を活発化させることが必要だと思っています。民間中心ではまだ余裕がないのが現状(未法人10名未満)
- ・ 当団体に財政面でゆとりがなければ、なかなか交流協力ができないのが現状です。コツコツと支援を続けるためにも資金作りと助成金が必要だと感じています。(法人10～30名未満)
- ・ 我々のNPO法人の目的事業から見る場合、国際化や国際交流などよりも国内の地域・団体・行政との交流や協働をもっと活発にしたいと考えています。(法人10～30名未満)
- ・ 今後、東南アジア方面と姉妹友好都市として交流できればと願います。(未法人10～30名未満)
- ・ 大分に在住されている海外の人々の悩みやニーズの把握に努め、それらの情報を元に現在活動している国際交流団体へ意見や提言を行ってほしい。(法人30～50名未満)
- ・ さまざまなサービスを提供する国際センター(語学教室、交流の場、旅行の情報、国際理解講座)(未法人30～50名未満)
- ・ ライオンズクラブは社会奉仕をモットーとしておりますので、国際交流など協力できることはしたいと考えております。(未法人50～70名未満)
- ・ 姉妹友好都市への青少年交流(市民も含む)(以前に比べて海外への関心があまり感じられないのでぜひ海外経験をさせて関心を持ってもらい次世代のリーダーを育成したい。きっかけになるといいと思います)。市民、青少年が海外の方と交流できる場の充実(英語など話せるのに実際に使う機会がとても少ないと思います。もっと触れ合えたらいいと思います)。ワークショップや国際理解講座などの開催(小さな子ども参加できるような)。小・中・高生の海外ホームステイの補助(資金面など)(法人110名以上)
- ・ 中国、韓国とは毅然とした態度をとり、未来の子供たちのためにも終止符を打ってほしい(法人110名以上)
- ・ 中国武漢市との交流は重視しているが、是非この交流を幅広く展開してほしい(未法人110名以上)
- ・ 都市間交流もさることながら、在大分の外国人との交流が最優先されるべきではないでしょうか。在大分外国人から各交流都市への波及はインターネットの時代なので情報は早いものです。いていない110名以上)
- ・ ウォーターフロントにしても一部の企業の活動であり広がりが無い。大分市を未来的にグランドデザインが描かれていない。今春の高速道路開通、新大分駅OPEN、県美術館もすべて国、県事業で大分市との連携でどういうまちづくりか不明。ホルトホールにしても「スペース、席数不足」で中途半端で使えない。駅前広場も規制が多く使用しにくい。(法人会員数不明)

第3次大分市国際化推進計画

Third Oita City Internationalization Promotion Plan

めざそう！東九州の国際都市“OITA”

～ひろげよう！国際交流 つなげよう！世界と～

2016(平成28)年度～2020(平成32)年度

発行：2016(平成28)年3月

大分市文化国際課 国際化推進室

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL(097)537-5719 FAX(097)536-4044 E-Mail: kokusai@city.oita.oita.jp

